

# 調査のまとめ

## 県民のスポーツに関する 意識・活動調査

— 健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現を目指して —



平成20年 5月  
山梨県教育庁スポーツ健康課

## 目 次

○ 調査の概要	・・・・・・・・	p 1
1 一般県民	・・・・・・・・	p 2～16
2 小学生・中学生・高校生		p 17～21
3 競技団体	・・・・・・・・	p 22～26
4 競技指導者	・・・・・・・・	p 27～31
5 競技選手	・・・・・・・・	p 32～40
6 体育指導委員	・・・・・・・・	p 41～49
7 レクリエーション協会役員		p 50～58
8 市町村体育協会関係者	・・	p 59～68
9 市町村教育委員会	・・・・・・・・	p 69～84

## 県民のスポーツに関する意識・活動調査の概要

### 1 目的

本県のスポーツ活動の現状を総合的に把握し、スポーツ振興における課題を抽出する検討資料とする。

### 2 調査実施者

県教育委員会スポーツ健康課

### 3 調査方法

アンケート調査

### 4 調査時期

平成20年1月～2月

### 5 調査対象

対 象	対象者の内訳・回答数・抽出データ等
(1) 一般県民	20歳以上 370人（県政モニター）
(2) 小学生・中学生・高校生	新体力テスト・健康実態調査(H19) 学校保健統計調査(H19) 学校体育実態調査(H18) スポーツ大好きキッズ育成事業における調査(H19)
(3) 競技団体	40競技団体（国民体育大会出場競技）
(4) 競技指導者	監督・コーチ 125人（国民体育大会出場競技）
(5) 競技選手	選手 574人（国民体育大会候補選手）
(6) 体育指導委員	441人
(7) レクリエーション協会役員	18人
(8) 市町村体育協会関係者	180人
(9) 市町村教育委員会	28市町村教育委員会スポーツ主管課

# 「県民のスポーツに関する意識・活動調査」（一般県民） 調査のまとめ

## 1 調査の目的

一般県民のスポーツ活動・意識の現状を把握し、スポーツ振興における課題を抽出する検討資料とする。

## 2 調査項目

- (1) 健康・体力に関する意識
- (2) 運動・スポーツの実施状況
- (3) 地域スポーツ行事に関する意識
- (4) 学校時代の運動・スポーツに関する意識
- (5) スポーツクラブのあり方
- (6) スポーツ観戦・ボランティア・公的支援について
- (7) 地域スポーツの振興に期待すること

## 3 調査対象

20歳以上の県民（県政モニター）

## 4 調査時期

平成20年1月

## 5 調査方法

県政モニターによる調査

## 6 回答結果

- |           |       |
|-----------|-------|
| (1) 配布総数  | 465   |
| (2) 有効回答数 | 370   |
| (3) 有効回答率 | 79.6% |

## 県民のスポーツに関する意識・活動調査（一般県民）

\* 数値は、回答数／回答者数をパーセントで示しています。

\* 前回調査結果との比較

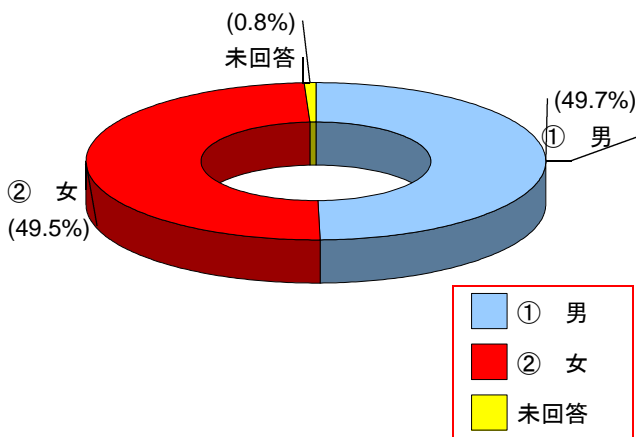
「県民のスポーツに関する意識・活動調査」 H14.1

\* 全国調査結果との比較

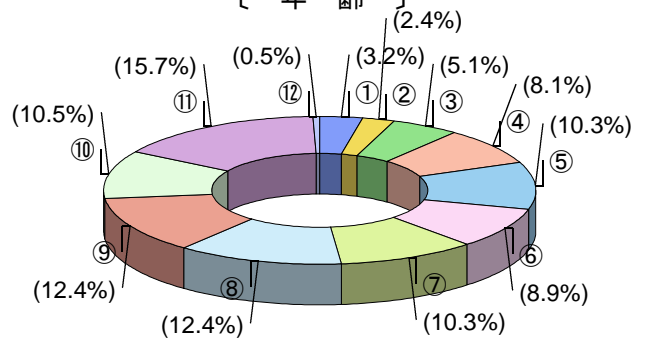
「体力・スポーツに関する世論調査」・内閣府 H18.8

「スポーツライフに関する調査」・SSF 笹川スポーツ財団 H18.6

〔性別〕

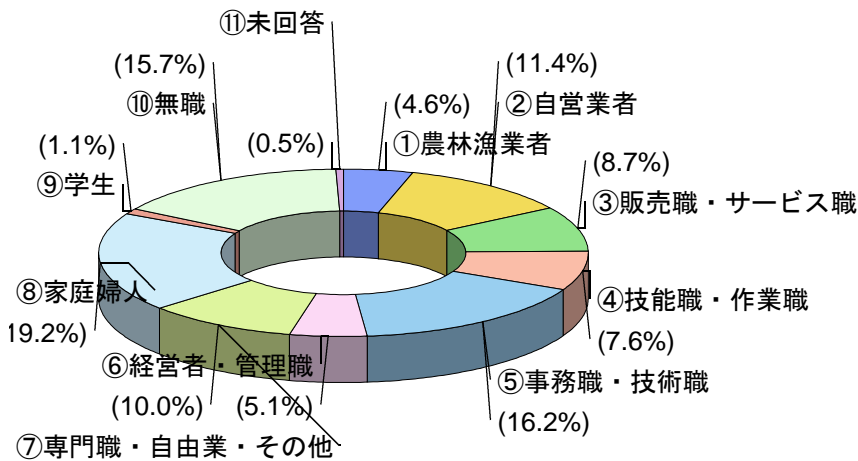


〔年齢〕



①	20～24歳	3.2
②	25～29歳	2.4
③	30～34歳	5.1
④	35～39歳	8.1
⑤	40～44歳	10.3
⑥	45～49歳	8.9
⑦	50～54歳	10.3
⑧	55～59歳	12.4
⑨	60～64歳	12.4
⑩	65～69歳	10.5
⑪	70歳以上	15.7
⑫	未回答	0.5

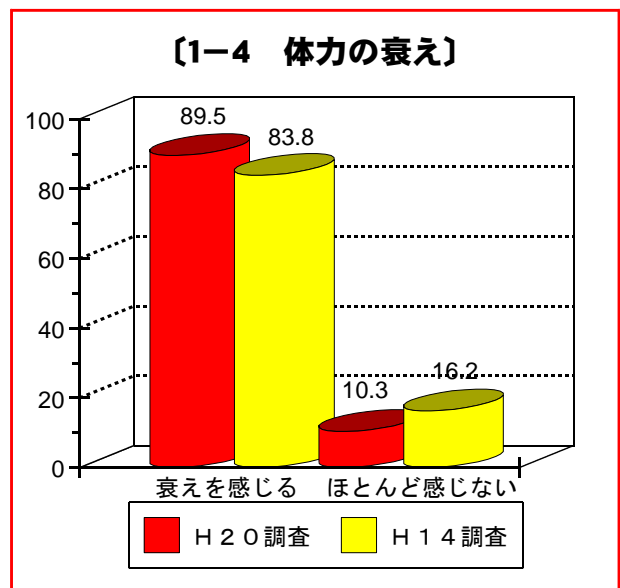
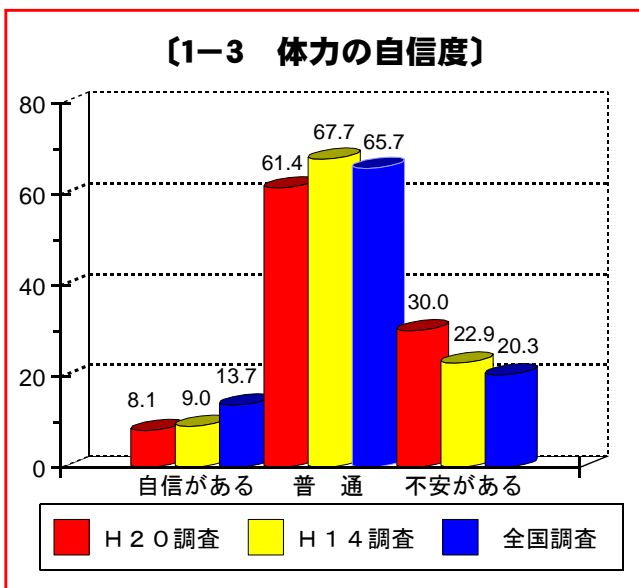
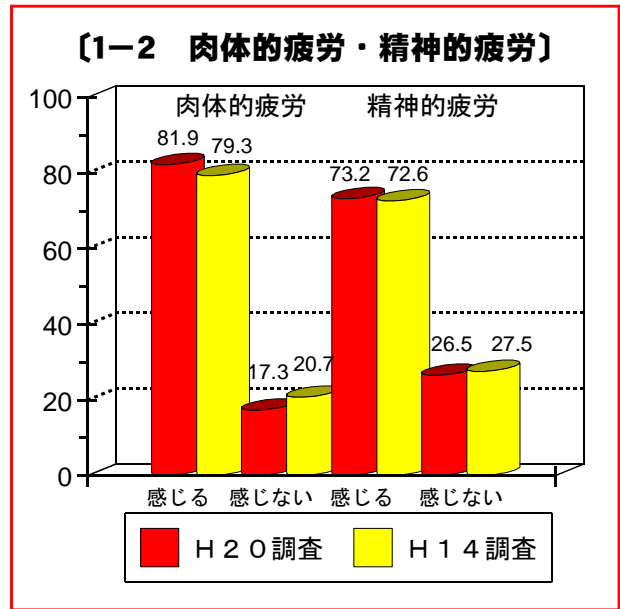
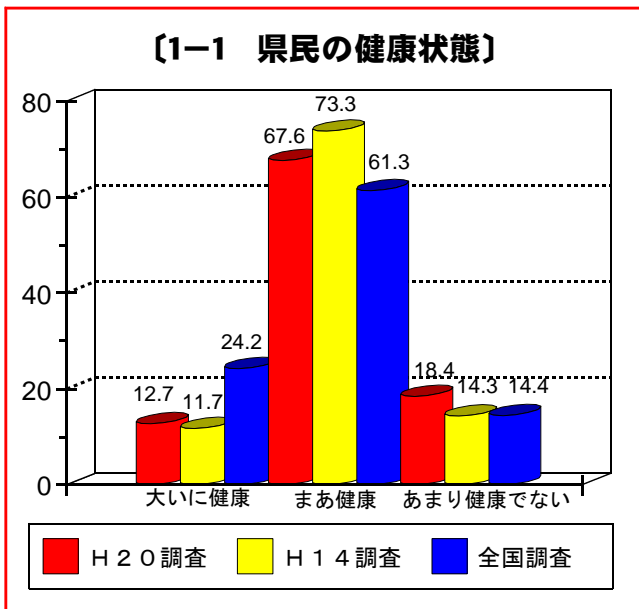
〔職業〕



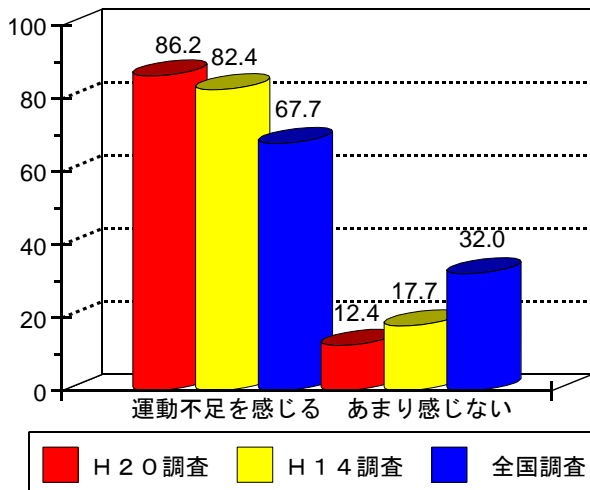
① 農林漁業者	⑦ 専門職・自由業・その他
② 自営業者	⑧ 家庭婦人
③ 販売職・サービス職	⑨ 学生
④ 技能職・作業職	⑩ 無職
⑤ 事務職・技術職	⑪ 未回答
⑥ 経営者・管理職	

# 1 健康・体力に関する意識

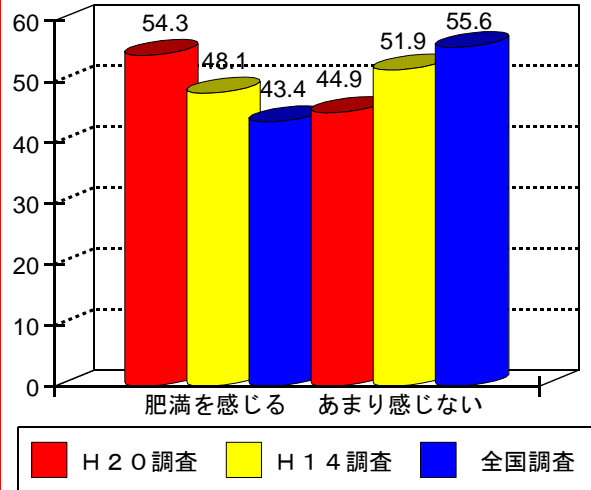
- 「あまり健康ではない」県民が増えてきた。また、「肉体的・精神的疲労感やストレス」を感じている人がやや増加している。 [グラフ1-1 1-2]
- 体力については、「不安に思っている人」や「衰えを感じている人」が増加し、「運動不足」や「肥満を感じている人」が増えた。 [グラフ1-3、1-4、1-5、1-6]
- 自分の健康や体力については「注意を払っている人」が増えてきたが、直接からだを動かして、健康・体力の維持や増進を心がけている人が極端に少ない。 [グラフ1-7、1-8]



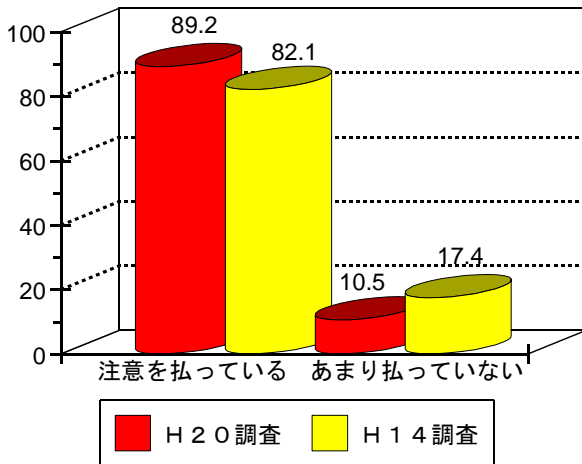
〔1-5 運動不足〕



〔1-6 肥満度〕

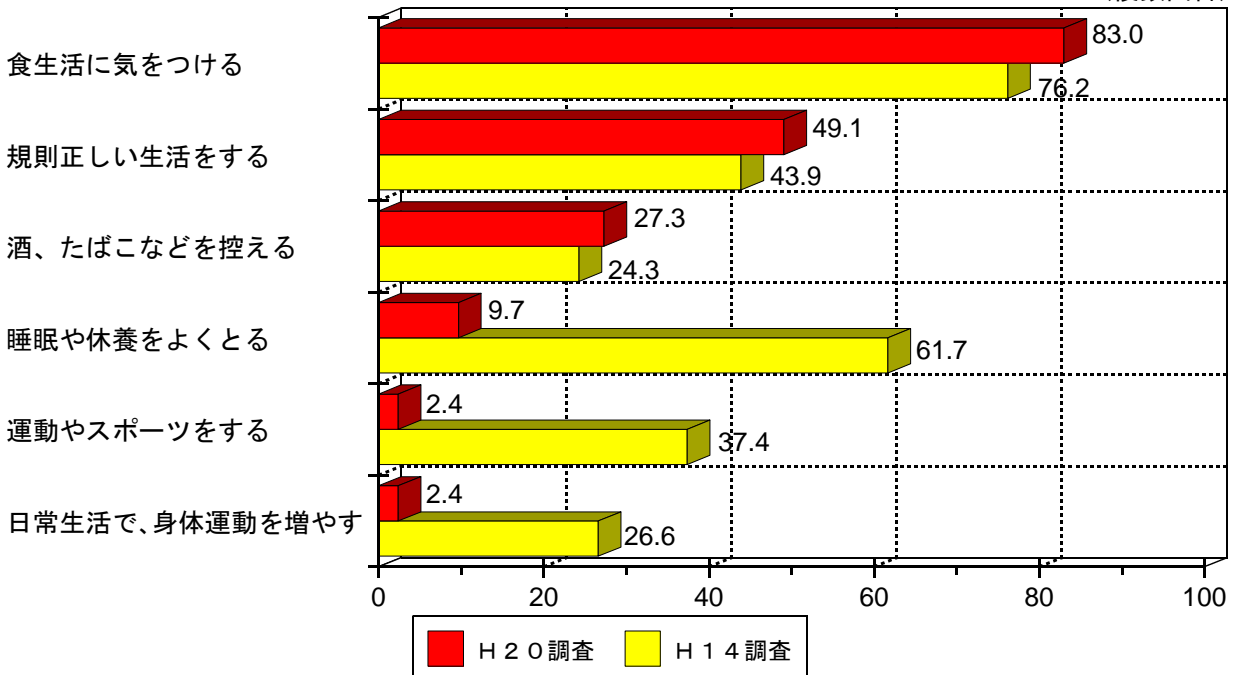


〔1-7 健康・体力への注意度〕



〔1-8 健康・体力の維持、増進で心がけていること〕

(複数回答)



## 2 運動・スポーツの実施状況

- 過去1年間の運動・スポーツの実施率が低下し、全国よりも低い実施率となり、過去1年間に全く運動・スポーツを行わなかった人が増えた。

理由として、「忙しくて時間がとれない」ことが一番多くあげられる。また、「運動やスポーツをする機会に恵まれない」「仲間がいない」「運動・スポーツ嫌い」が、いずれも前回調査や全国調査を上まわった。

[グラフ2-1、2-2]

- 過去1年間で運動・スポーツを実施した人の、週に1日以上の実施回数は、増加した。ただ、全国水準よりまだ低い。過去1年間全く実施しなかった人を含めた全体の実施率は、(32.4%)である。国が掲げる目標数値は、(50.0%以上)である。

[グラフ2-4 2-5]

- 1回あたりの実施時間が短くなっている。これは、過去1年間で行った運動・スポーツのベスト3を見ると、「ウォーキング」「体操」「軽い球技」となり、前回調査、全国調査とも同じことから、身近で、手軽にでき、お金がかからず、時間をとられない運動・スポーツに人気が高い傾向が続いているといえる。

利用施設からも、「公共施設」「その他」の利用率が増えおり、特に「その他」では、「自宅周辺の道路(9.7)」「自宅(3.5)」「空き地等(1.5)」での活動が多いことから、その傾向が強くなったといえる。

主にだれと運動・スポーツをしているかを見ても、クラブやサークルの仲間との活動が減り、「ひとりで」「家族と」「気のあった少人数の仲間と」が増えており、この傾向を裏付けている。

[グラフ2-6、2-7、2-8、2-9]

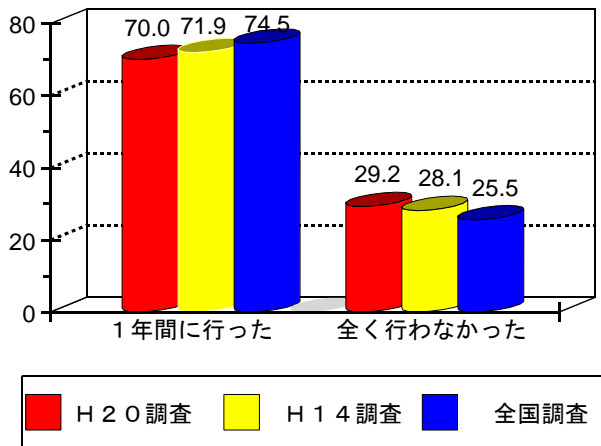
- 運動・スポーツを行った理由を見ると、「健康・体力づくりのため」「楽しみ、気晴らしとして」「運動不足を感じるから」の上位3項目は、前回調査、全国調査のいずれをも上まわっている。

また、今後行ってみたい運動・スポーツでは、「ウォーキング」「体操」「軽いスポーツ」の順となり、「ウォーキング」「体操」のいずれも前回調査、全国調査を上まわった。「ウォーキング」「体操」「軽いスポーツ」は、この1年間運動・スポーツを一度も行っていない人が、やってみたいものと一致している。

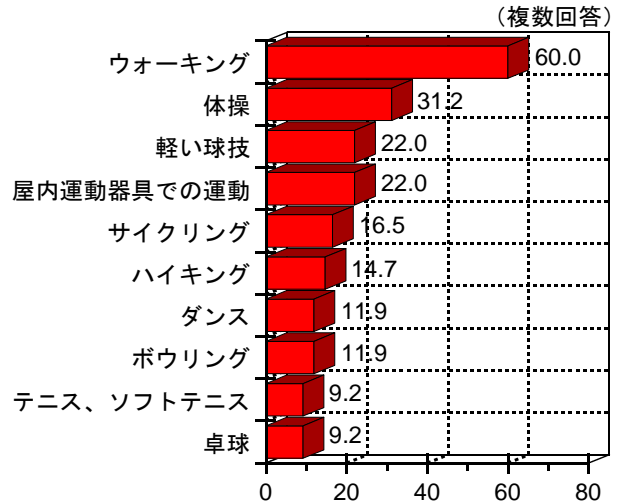
[グラフ2-10、2-11、2-3]



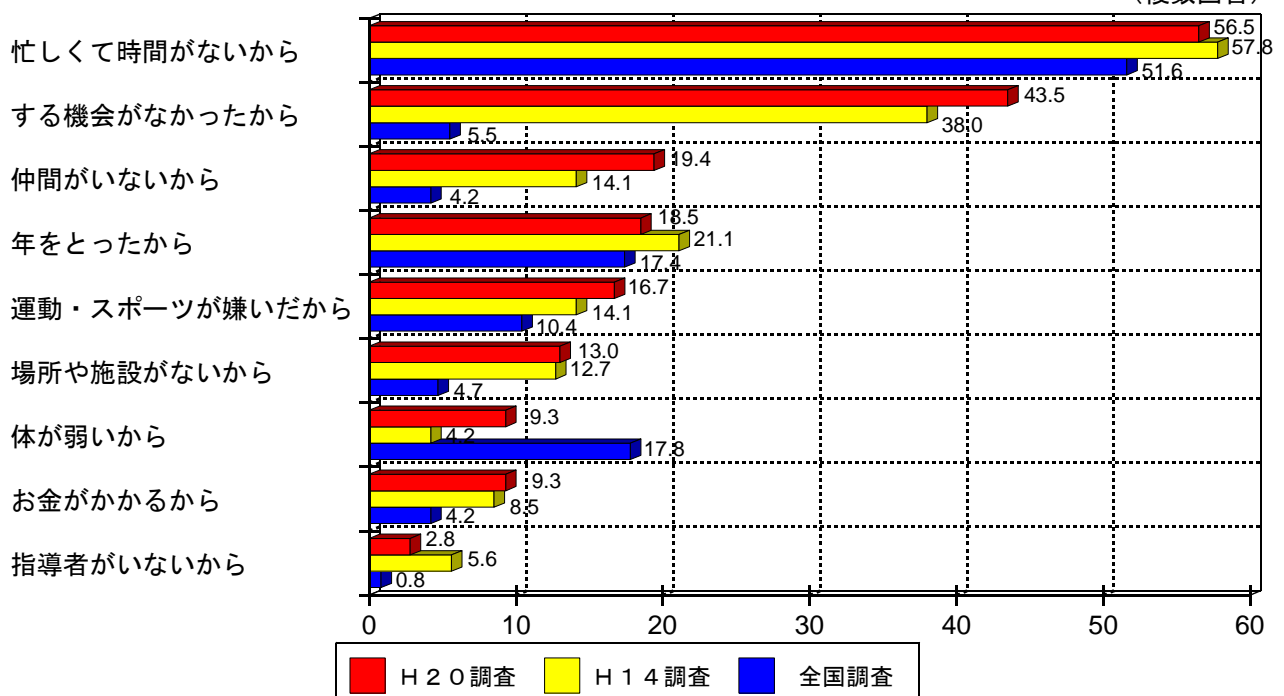
### 〔2-1 1年間の運動・スポーツ実施率〕



### 〔2-3 行わなかった人がやってみたいもの〕

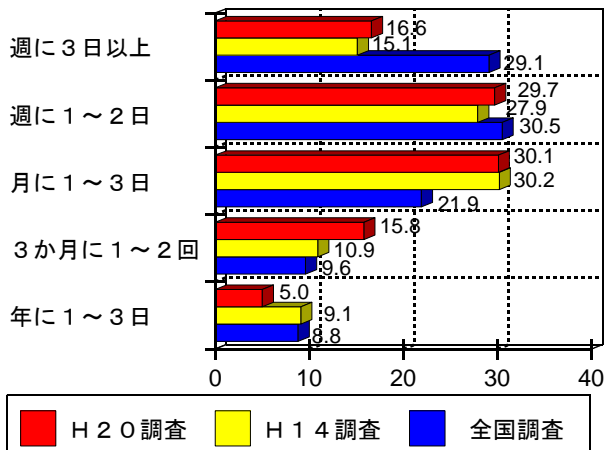


### 〔2-2 1年間に運動・スポーツを全く行わなかった理由〕



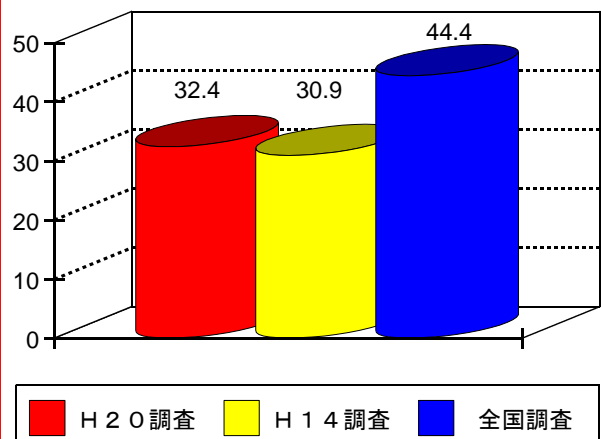
### 〔2-4 運動スポーツ実施回数〕

過去1年間で運動・スポーツを実施した人の中で

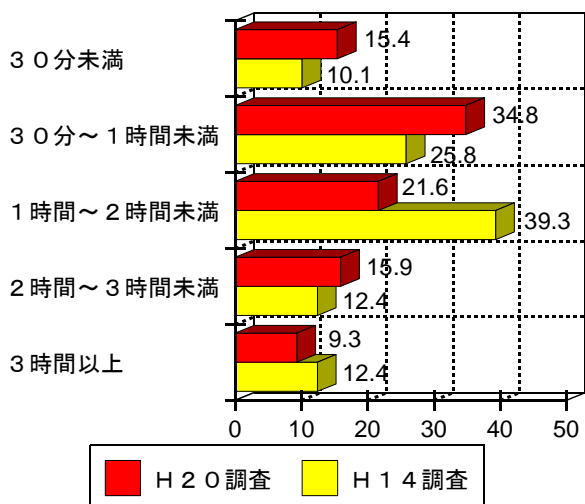


### 〔2-5 週1回以上の実施率〕

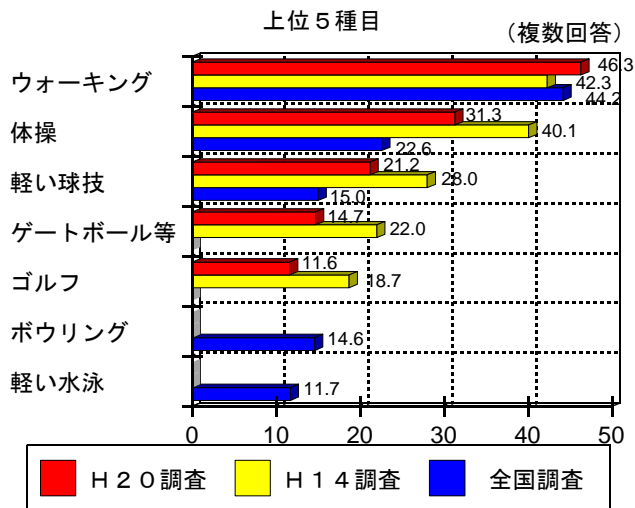
過去1年間全く実施しなかった人も含む



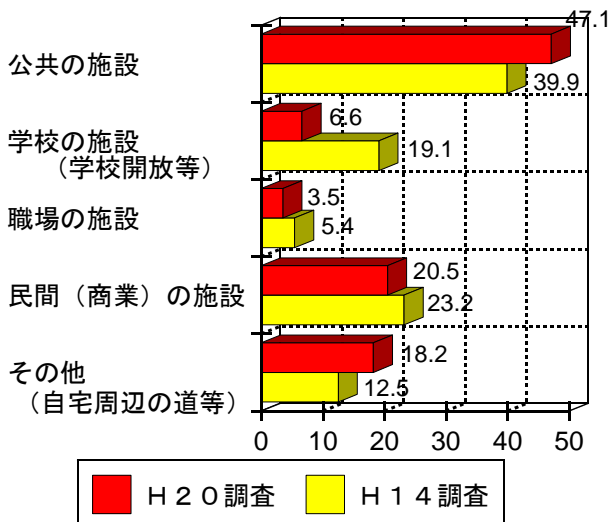
**〔2-6 運動・スポーツの1回の時間〕**



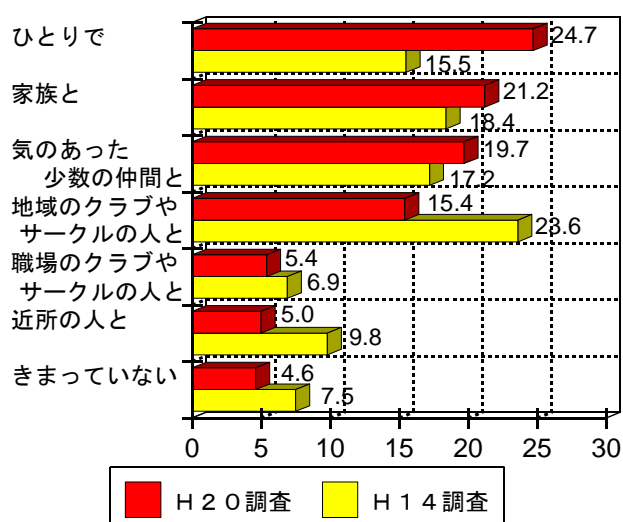
**〔2-7 1年間に行った運動・スポーツ〕**



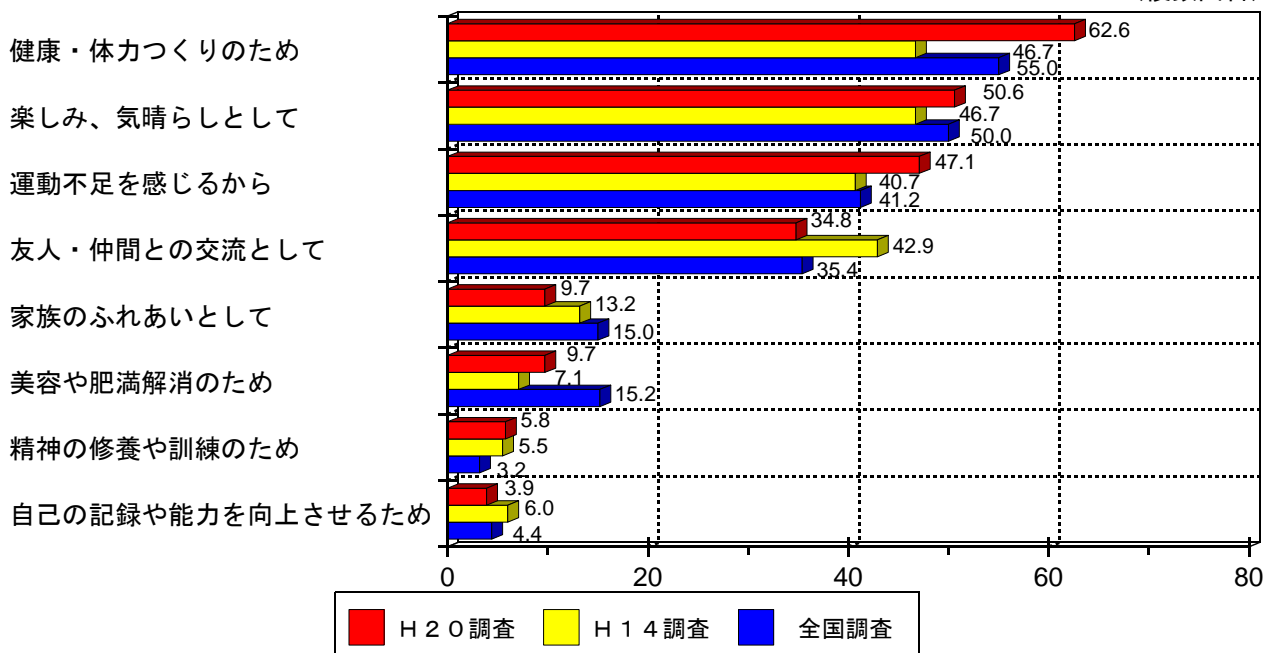
**〔2-8 運動・スポーツの活動利用施設〕**



**〔2-9 主にだれと活動したか〕**

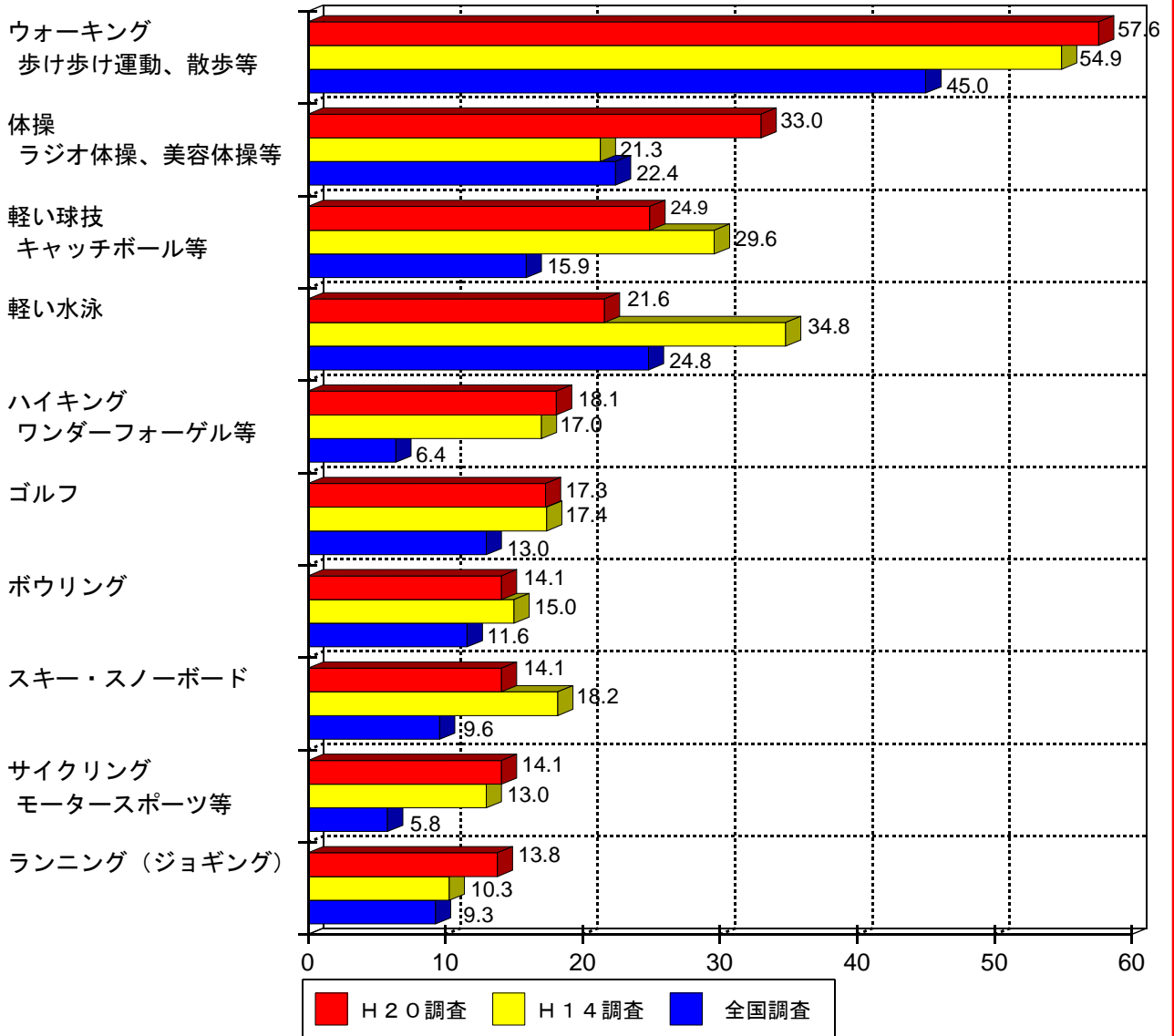


**〔2-10 運動スポーツを行った理由〕**



〔2-11 今後、行ってみたい運動・スポーツベスト10〕

(複数回答)

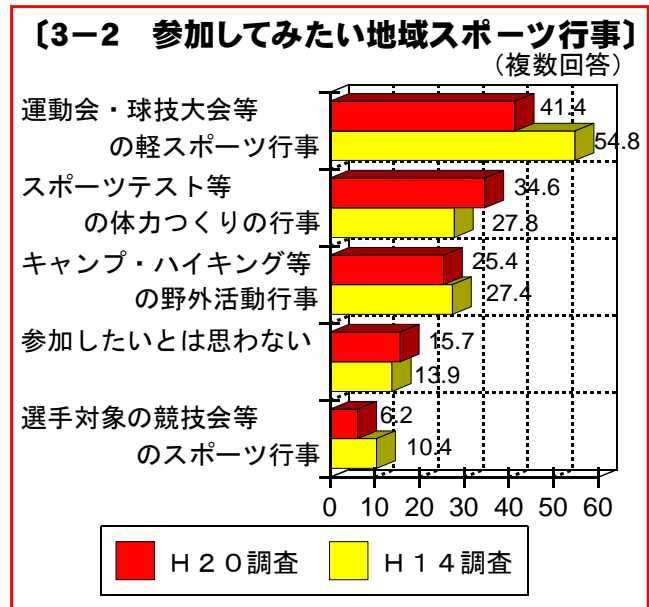
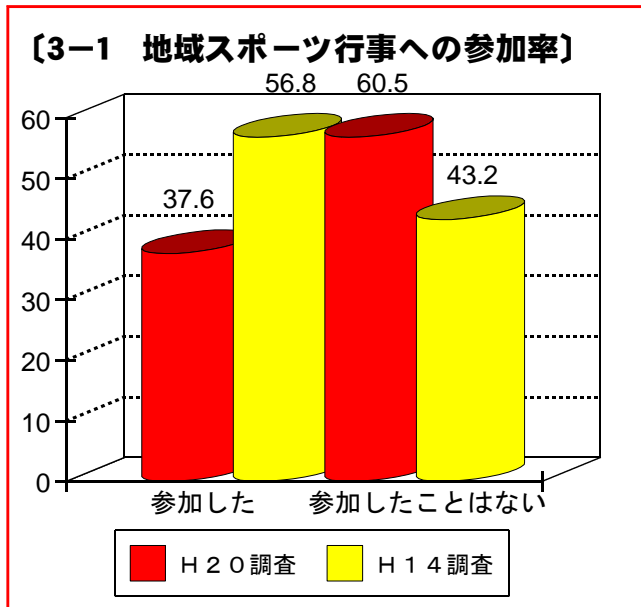


### 3 地域スポーツ行事に関する意識

○ 地域や地区（市町村、町内会）で開かれるスポーツ行事への参加率が大幅に低下した。（-19.2）これは、市町村合併による参加機会の減少が影響していると考えられる。

また、参加してみたい行事として、「運動会や球技会等の軽スポーツ」への参加率が減り、「体力テスト、スポーツテスト」等の個人に係わる行事への参加が増えた。

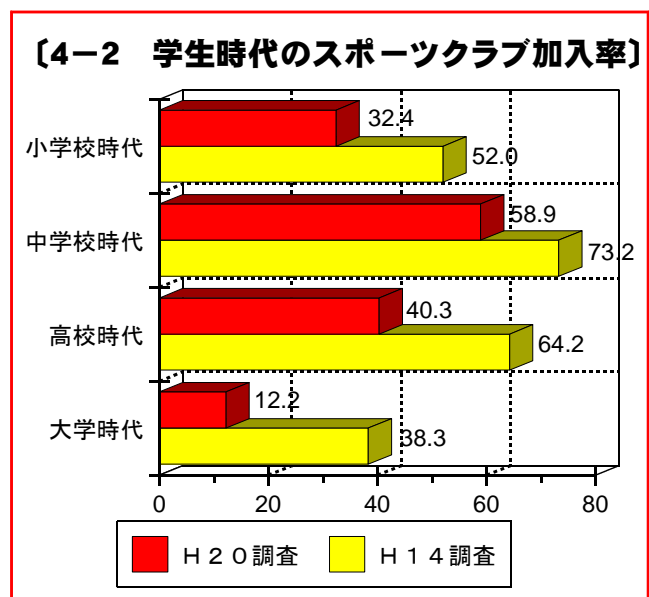
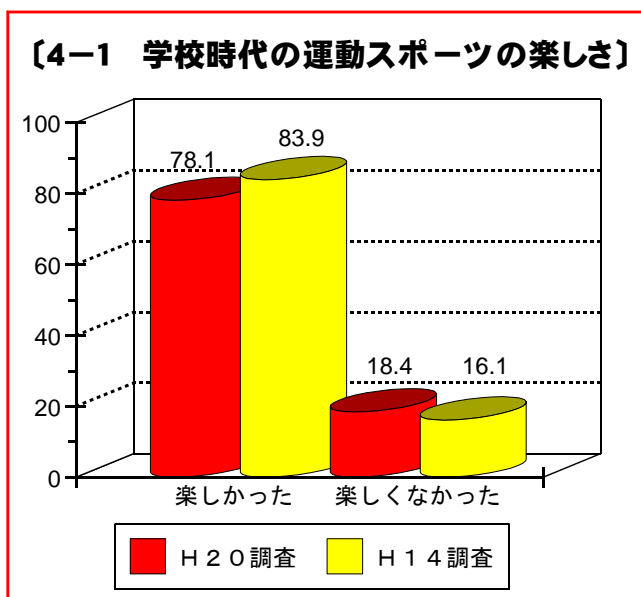
〔グラフ3-1 3-2〕



### 4 学校時代の運動・スポーツに関する意識

○ 学校時代の運動やスポーツの楽しさが、減少している。このことは、全ての学校時代のスポーツクラブ加入率が下がっていることからわかる。

〔グラフ4-1・4-2〕



## 5 スポーツクラブのあり方

- 運動・スポーツのクラブや同好会への加入率は、上がった。(＋ 5.0 ～ 5.5) 職場・学校のクラブへの加入が増えた。  
ただ、今後の加入を考えている人は減少している。

[グラフ 5-1、5-2、5-3]

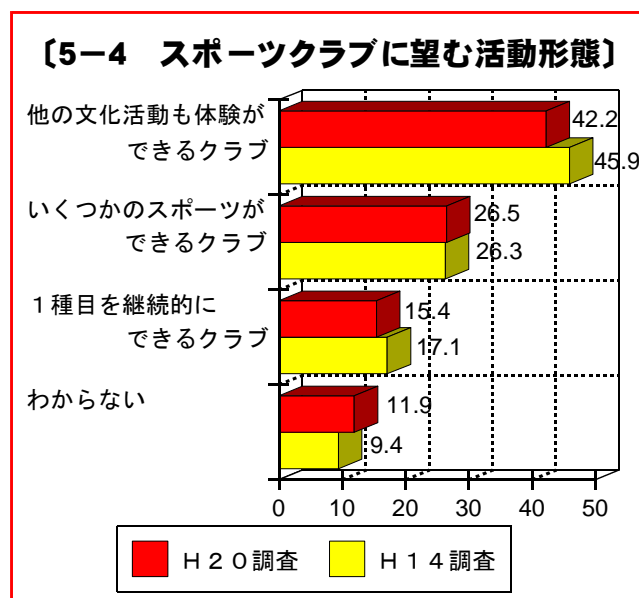
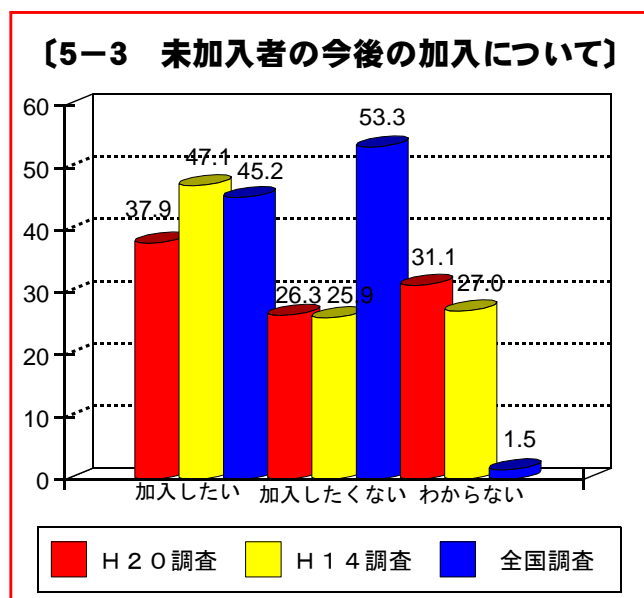
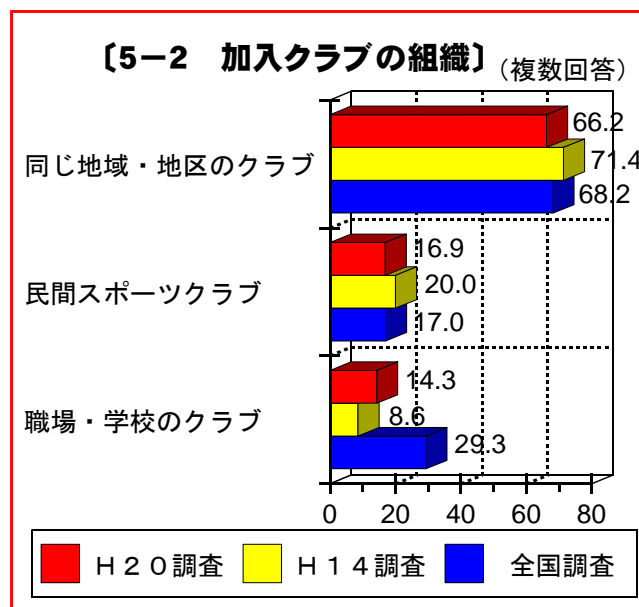
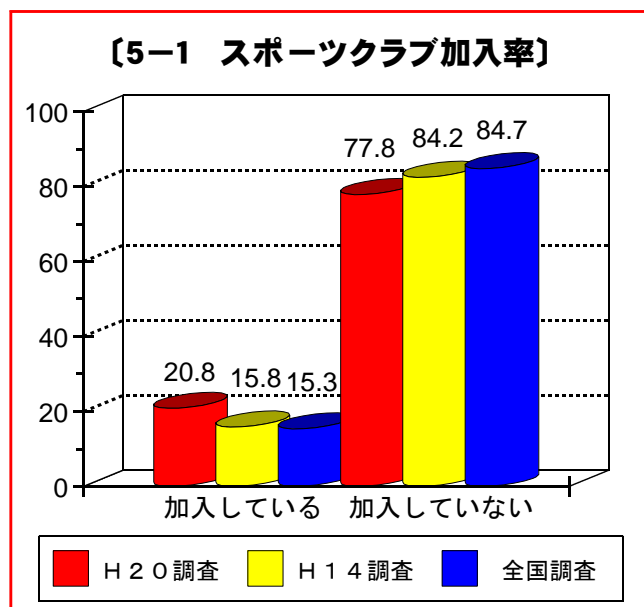
- スポーツクラブの活動形態は、多種目で、他の文化活動も体験できるクラブを希望している。これは、前回調査とほぼ同じである。

また、スポーツクラブの目的として、健康や体力の維持・増進を重視したクラブをあげた人が大幅に増えた。(＋ 13.8)

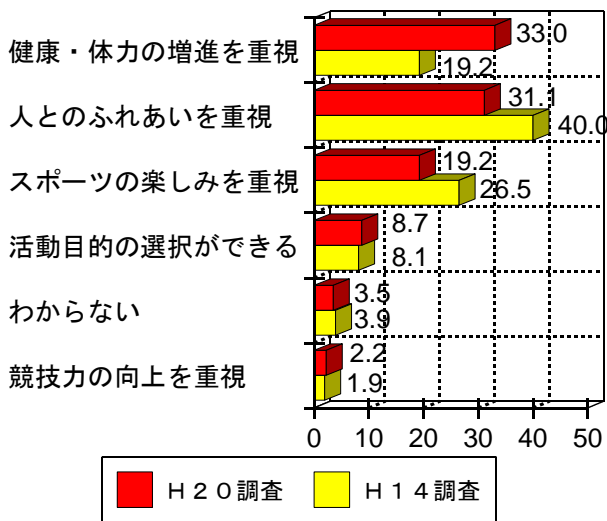
[グラフ 5-4、5-5]

- スポーツクラブの月会費として、指導者から指導を受けない場合は 501円～1,000円が、指導を受ける場合は、2,001円～3,000円が妥当という考えが一番多い。これは、前回調査とほぼ同じである。

[グラフ 5-6・5-7]

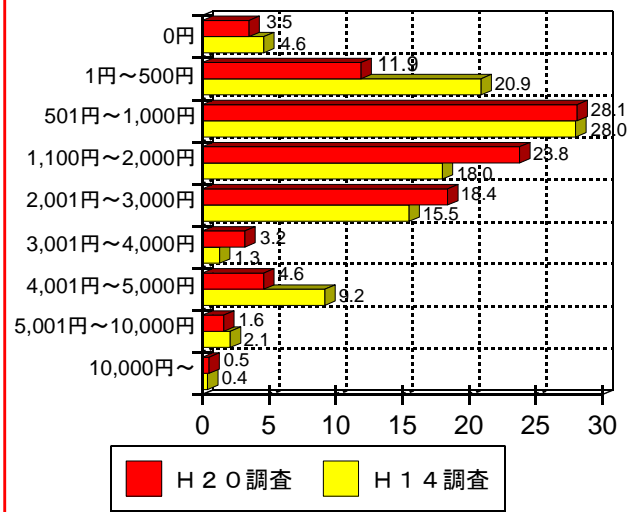


### 〔5-5 スポーツクラブに望む活動の目的〕



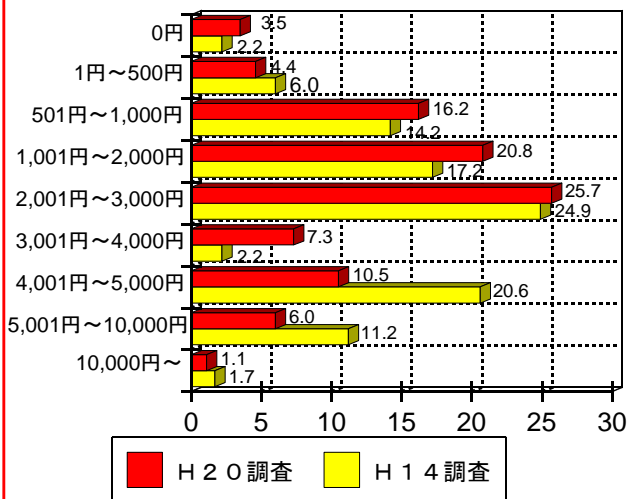
### 〔5-6 スポーツクラブに望む月会費〕

指導者から指導を受けない場合



### 〔5-7 スポーツクラブに望む月会費〕

指導者から指導を受ける場合



## 6 スポーツ観戦・ボランティア・公的支援について

- 県民のスポーツ観戦率は、前回調査と同様に高い。

[グラフ6-1]

- スポーツボランティアについては、前回調査や全国調査と比較すると、約2倍という大変高い活動率となった。

ただ、今後もスポーツボランティアを行いたいと考える人は、減少したが、全国調査よりは、依然高い水準にある。

[グラフ6-2、6-3]

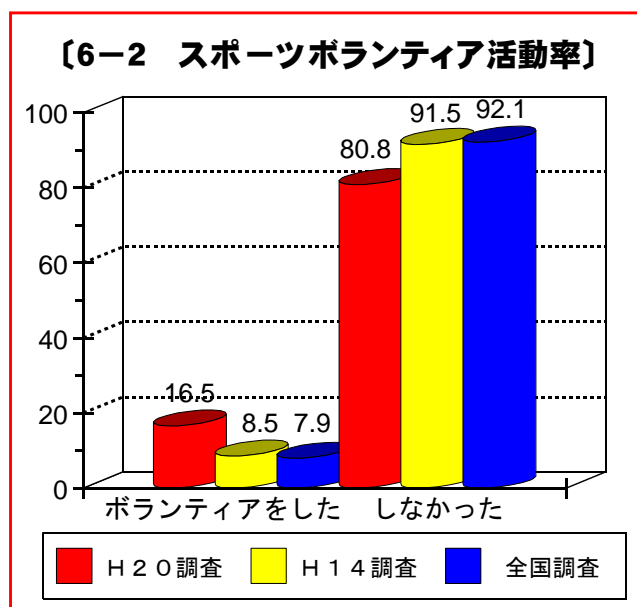
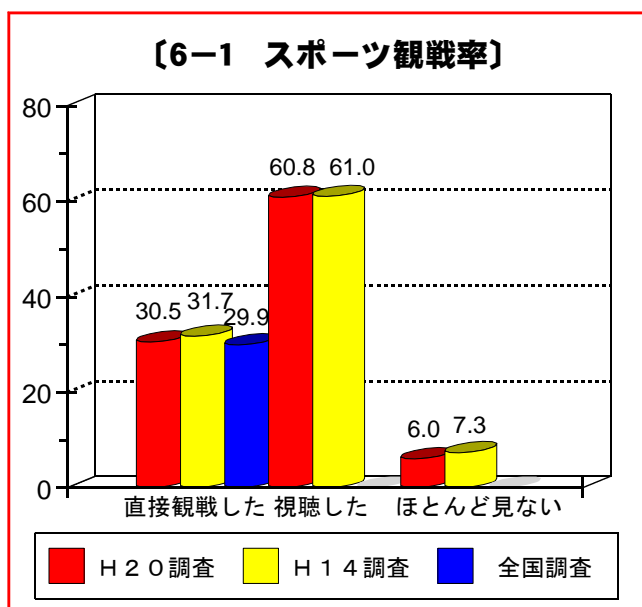
- スポーツ大会での山梨県選手の活躍への関心度は、若干減少し、全国調査よりも下がった。

また、山梨県選手への公的支援について半数を超えたのは、「指導者の養成」「試合等に参加しやすい環境作り」「経済的支援」である。これは、前回調査とほぼ同じである。

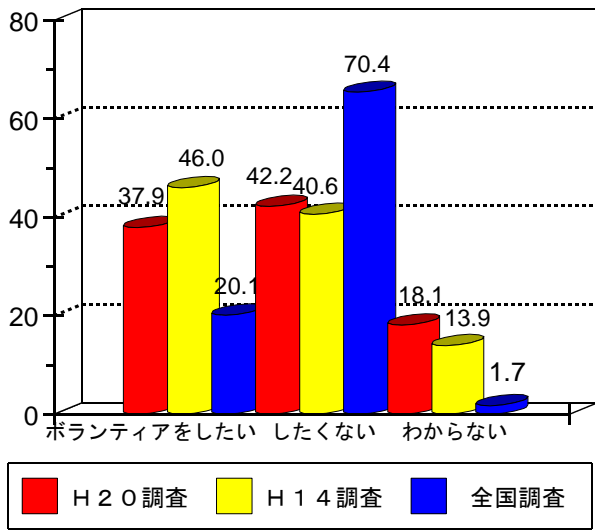
[グラフ6-4、6-5]

- 公的支援によるスポーツの国際大会・全国大会の誘致については、依然、高い支持率である。

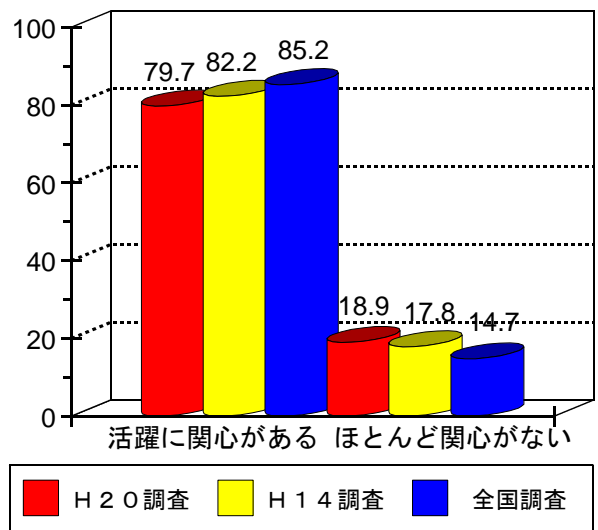
[グラフ6-6]



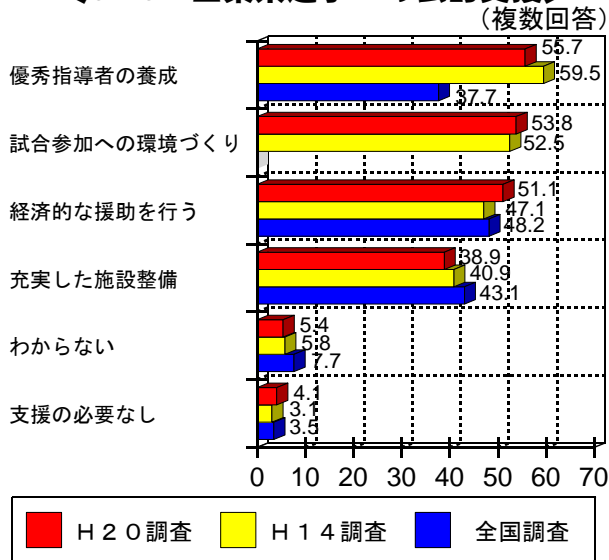
〔6-3 今後のボランティアについて〕



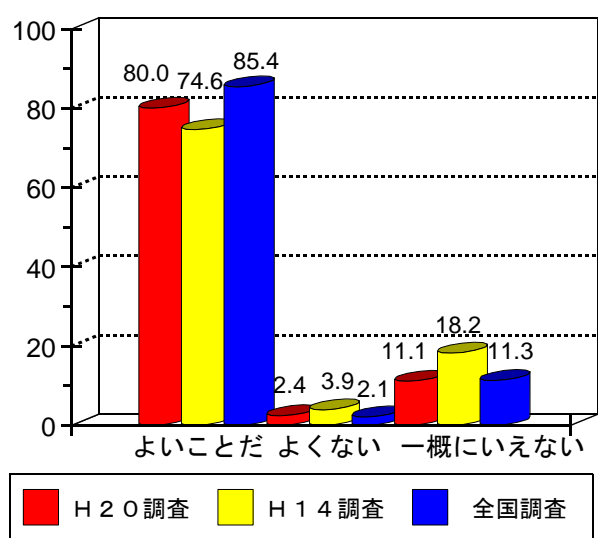
〔6-4 山梨県選手への関心度〕



〔6-5 山梨県選手への公的支援〕



〔6-6 公的支援による大規模大会誘致〕



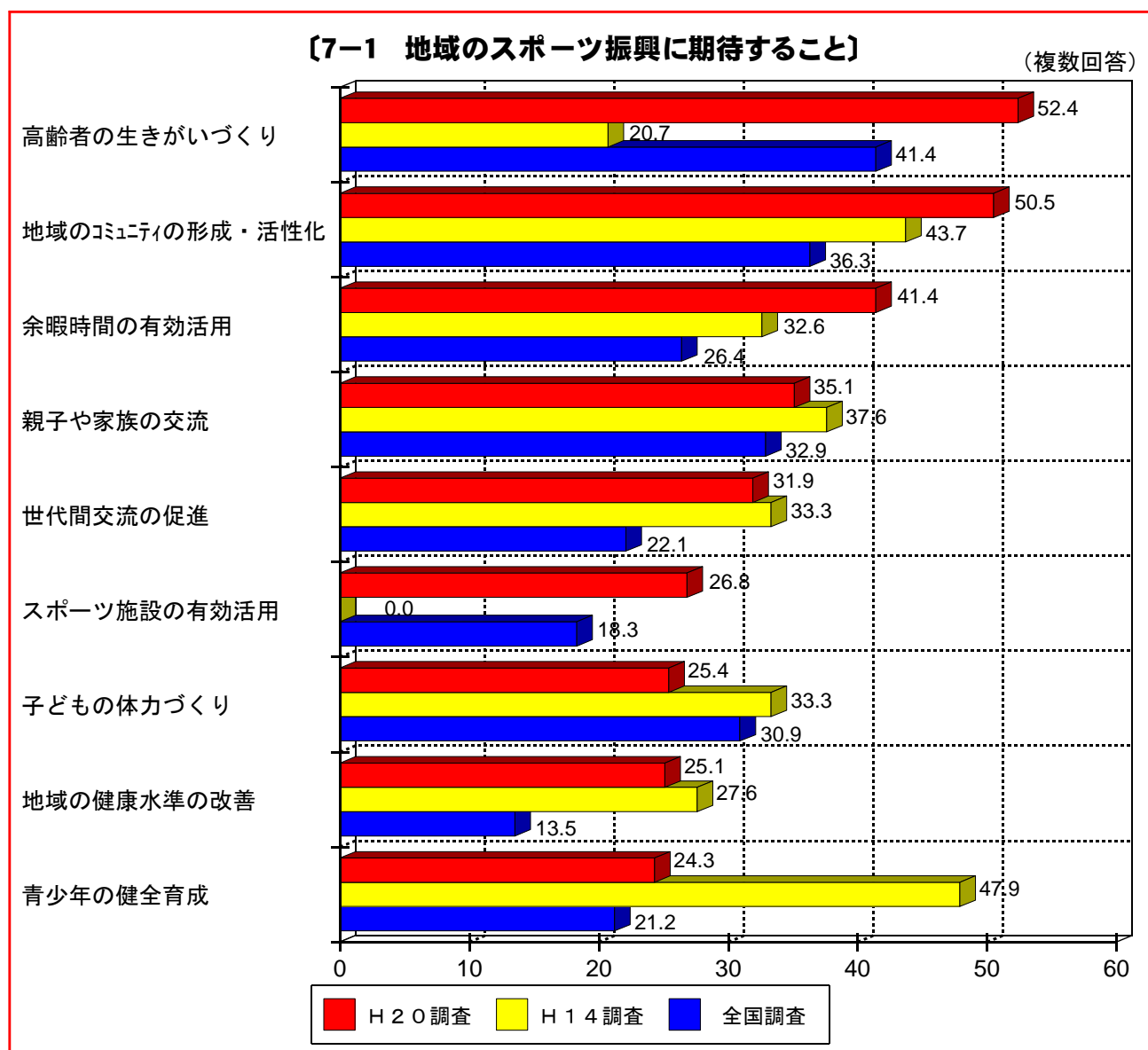


## 7 地域スポーツの振興に期待すること

○ 地域のスポーツ振興の効果について、「高齢者の生きがいがづくり」「地域のコミュニティの形成・活性化」「余暇時間の有効活用」に、前回調査、全国調査と比較して、非常に高い期待を寄せている。 [グラフ7-1]

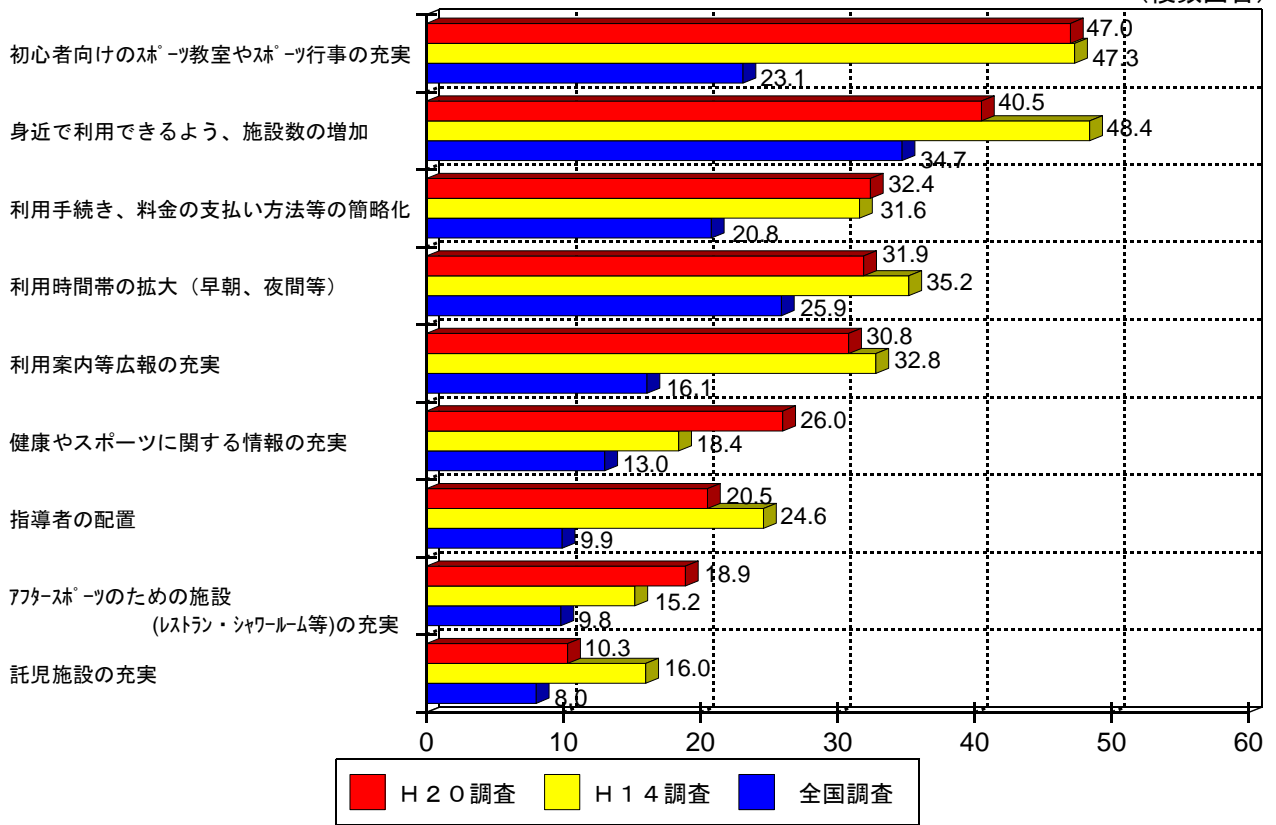
○ 公共スポーツ施設に望むことは、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」「身近で利用できるよう、施設数の増加」に、前回同様の4割を超える人が、期待を寄せている。 [グラフ7-2]

○ 山梨県のスポーツを振興させるために力を入れるべきものとして、「年齢層にあったスポーツの開発普及」「スポーツ指導者の養成」「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」「地域のクラブやサークルの育成」が上位となっている。 [グラフ7-3]



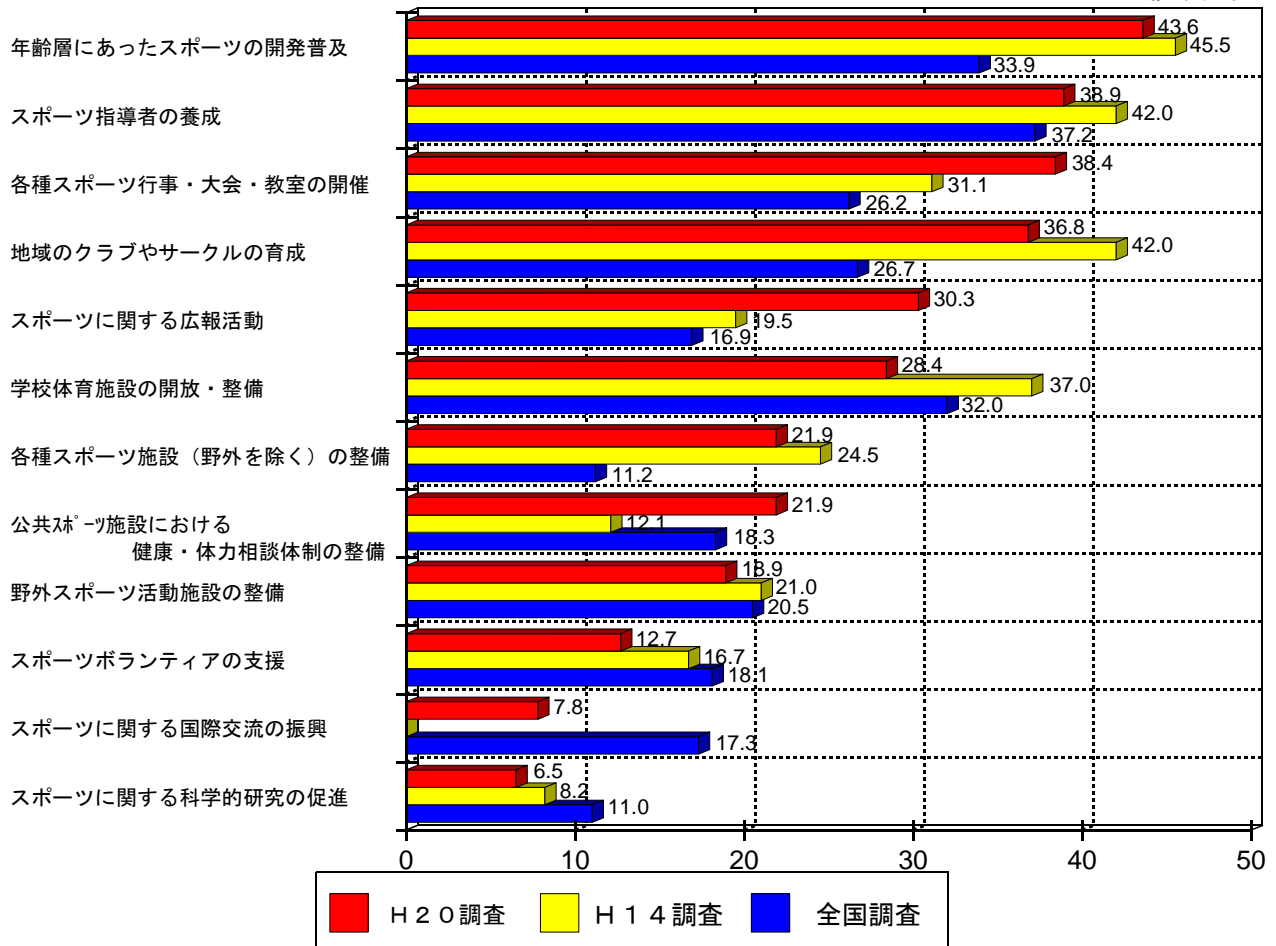
### 〔7-2 公共スポーツ施設に望むこと〕

(複数回答)



### 〔7-3 山梨のスポーツ振興のために力を入れるべきこと〕

(複数回答)

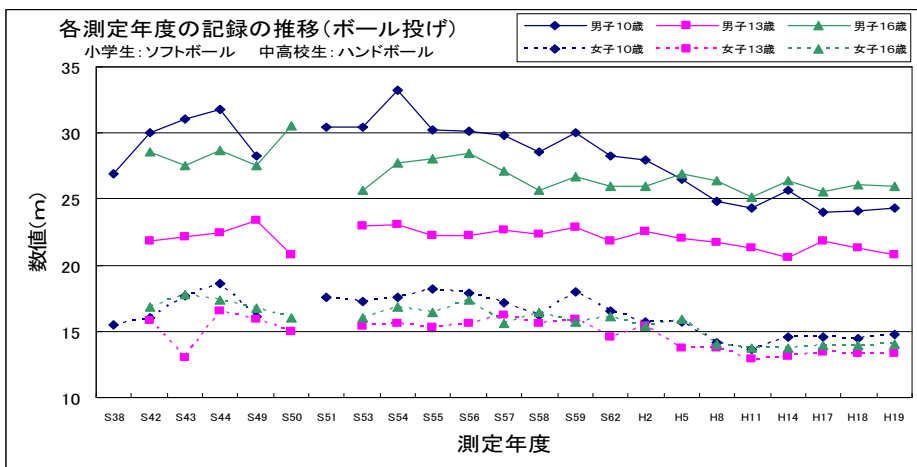


スポーツに関する意識・活動調査（小学生・中学生・高校生）

1 本県児童生徒の体力の実態 新体カテスト・健康実態調査(H19)より

(1) 過去からの体力の推移

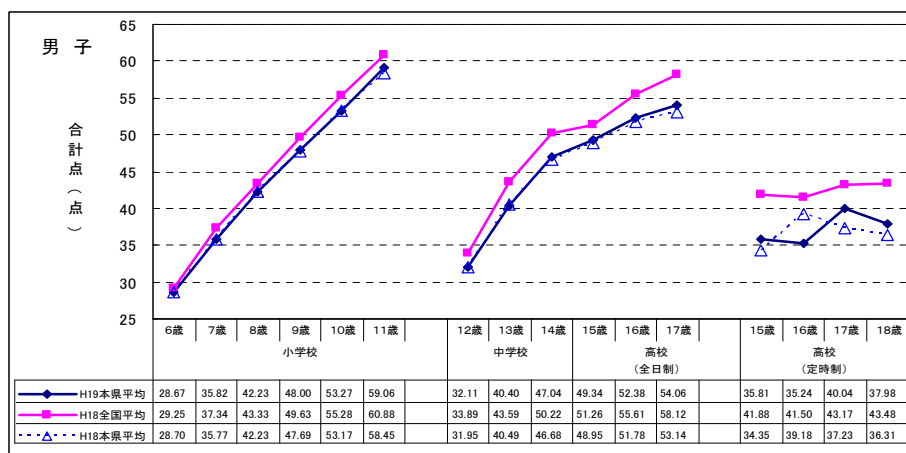
○ 本県児童生徒の体力は、昭和 50 年代中ごろをピークに長期的な低下傾向が続いてきたが、平成 14 年ごろから低下が鈍化し、横ばい傾向。しかし、ピーク時と比較すると依然低い水準。



本県 10・13・16 歳のボール投げの記録の推移

(2) 全国との比較

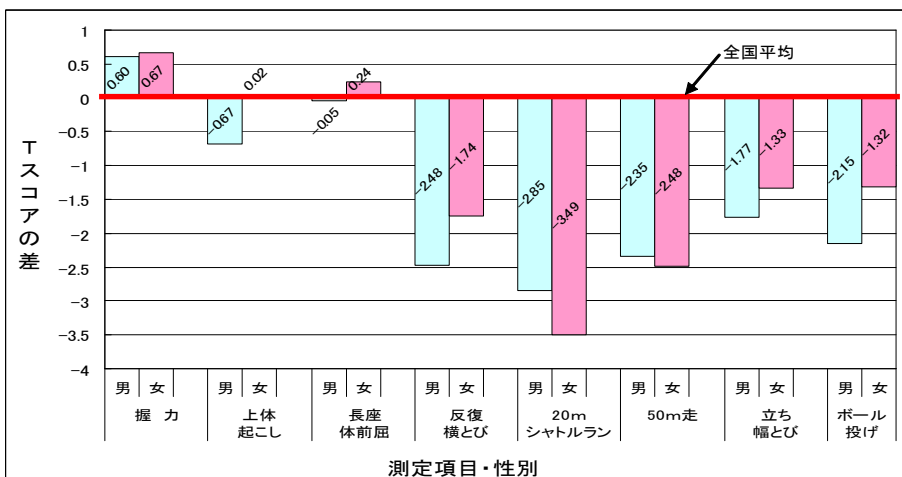
○ 本県と全国の総合的な体力を比較すると、全ての年齢で全国を下回り、本県児童生徒の体力は低い水準。



各年齢の総合的な体力の本県と全国との比較（男子）

(3) 本県児童生徒の体力・運動能力の特徴

○ 各測定項目についてみると、筋力や柔軟性など体力系の項目は全国水準であるが、敏捷性や走・跳・投といった技術を要する操作系の身体能力が劣っている。



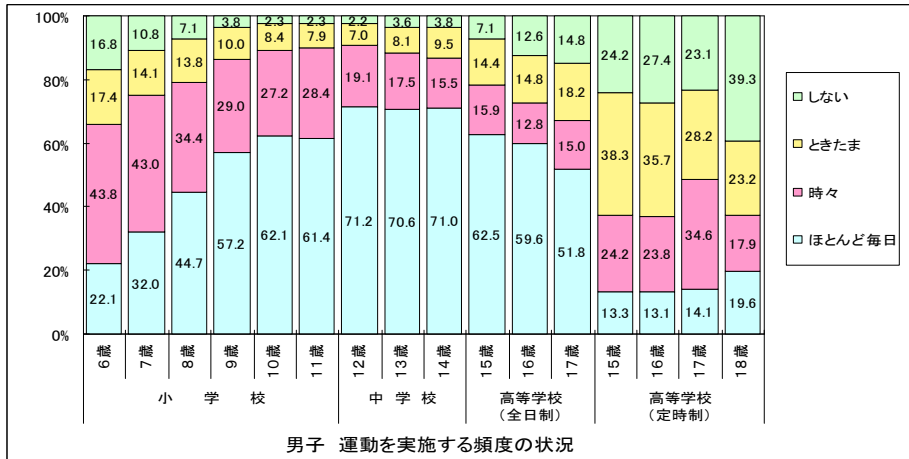
各測定項目別のTスコアによる全国との差（小学校）

2 本県児童生徒の生活習慣の実態と体力との関係

新体力テスト・健康実態調査(H19)より

(1) 運動の実施頻度について

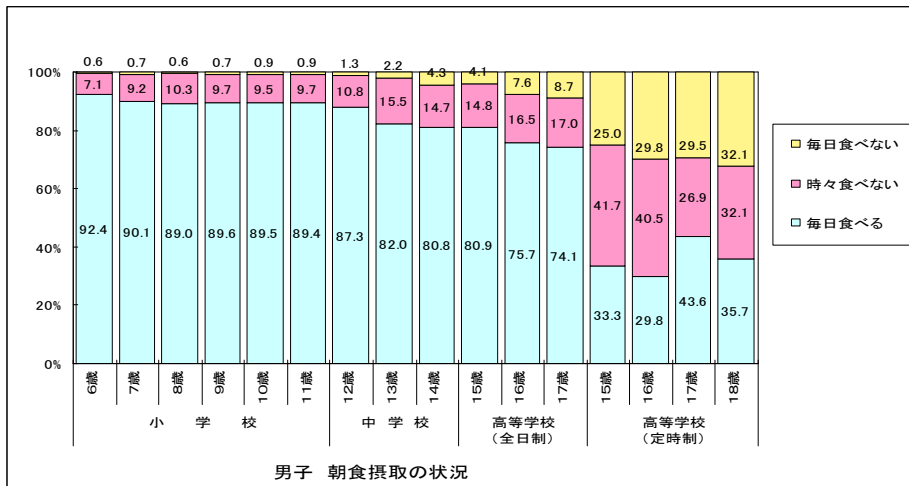
- 中学校期を境に、運動離れが進行する。また、11歳（小6）において、一旦、運動離れが起きる傾向が見られた。女子の方が運動離れの傾向は早い。



各年齢の運動の実施頻度別の割合（男子）

(2) 朝食摂取の状況について

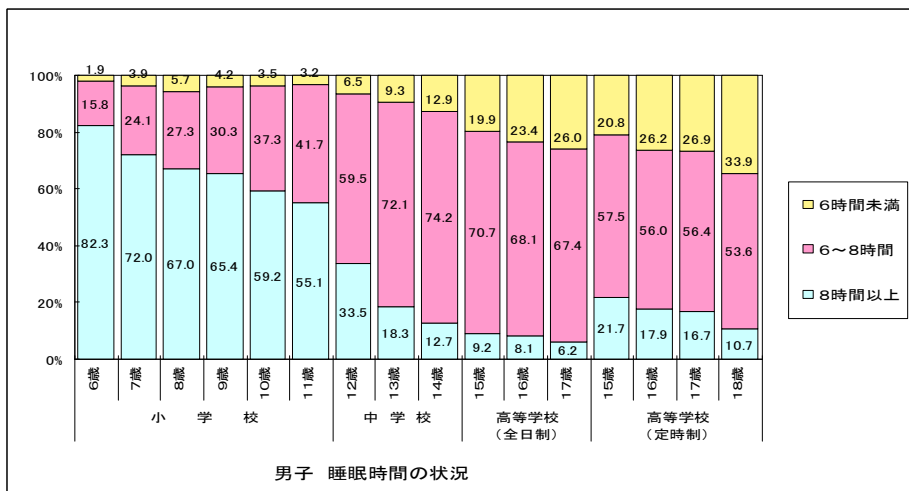
- 朝食欠食傾向は加齢とともにその割合が増加する。中・高等学校で20～25%（約4～5人に一人）、小学校でも約10%弱が毎日朝食をとる習慣が身に付いていない。



各年齢の朝食摂取状況別の割合（男子）

(3) 睡眠時間の状況について

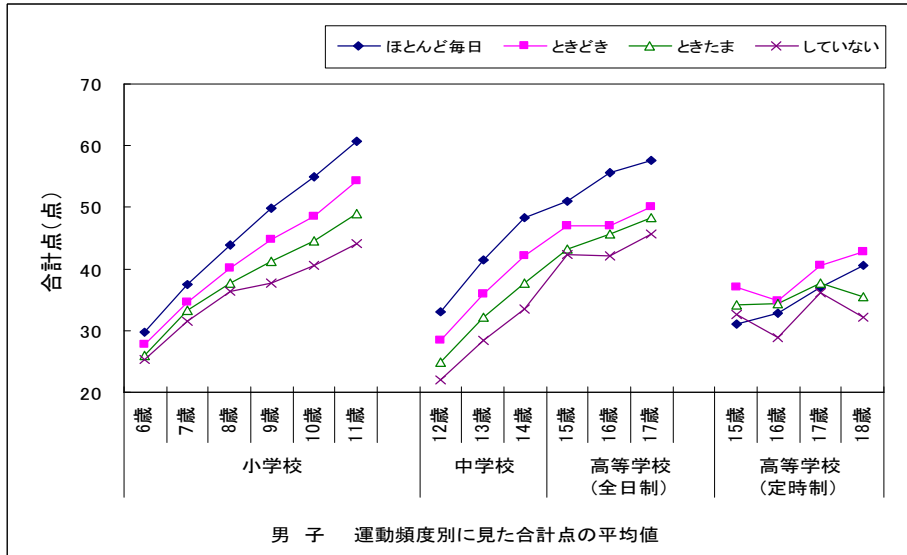
- 睡眠時間は加齢とともに短縮し、中高において顕著である。小学校においても6時間未満の児童が数%存在する。



各年齢段階の児童生徒の睡眠時間の状況

(4) 運動習慣と体力の関係について

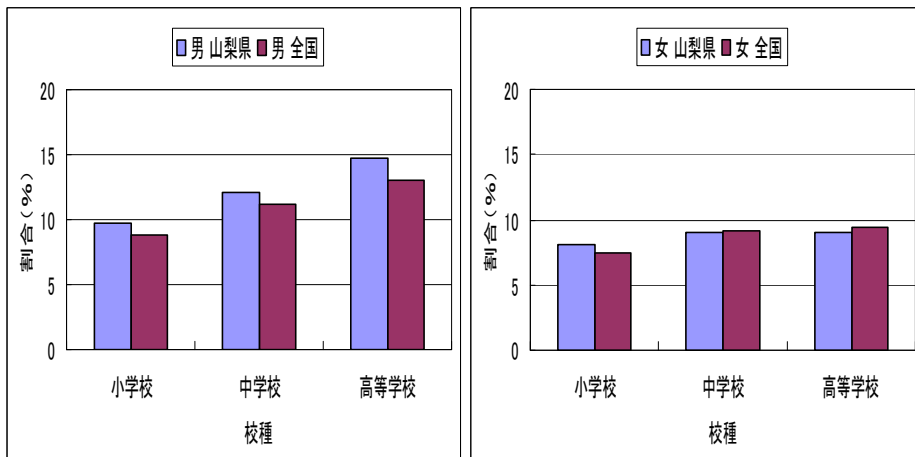
- 運動習慣のある児童生徒ほど体力は高い。朝食についても同様な傾向がある。



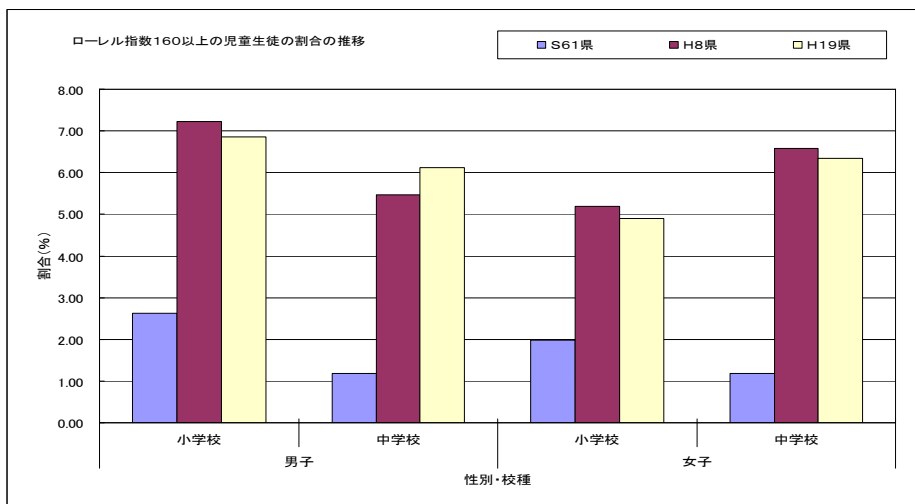
運動頻度別に見た合計点の平均値

3 本県児童生徒の健康状態の実態 学校保健統計調査(H19)等より

- 本県の肥満傾向児童生徒の割合は男女の小学生と中・高校の男子が全国と比較すると高い。その割合は20年ほど前と比べると高い水準にある。近年は横ばい傾向。

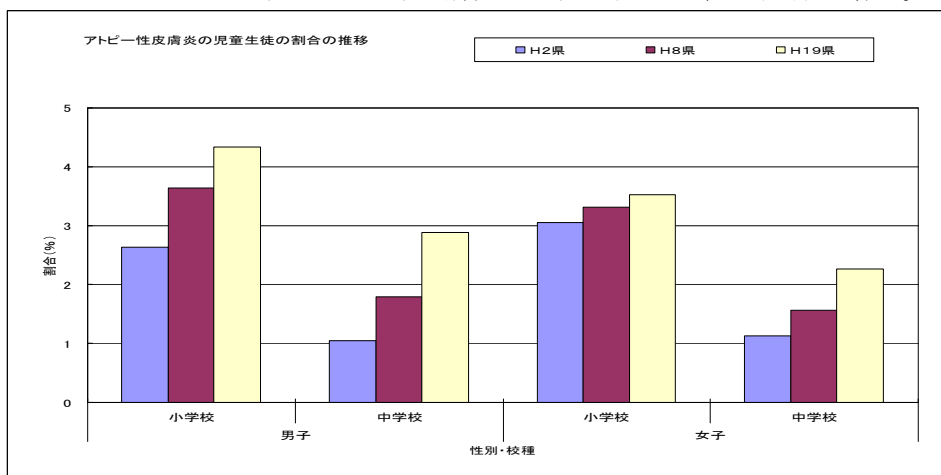


各校種別の肥満傾向児の出現率



ローレル指数160以上の児童生徒の割合の推移(S61・H8・H19)

○ 本県のアレルギー性疾患（アトピー等皮膚炎など）の児童生徒の割合が増加。



アトピー性皮膚炎の児童生徒の割合の推移(H2・H8・H19)

4 本県児童・教員・保護者の運動に対する意識 スポーツ大好きキッズ育成事業における調査より(H19)

○ 大人(保護者や親)は子どもに比べ、運動の機会が少なく、生涯体育・スポーツの意識が低い。教員の運動量は多い方である。

ふだんどのくらい運動をしていますか。	児童	保護者	教師
およそ週3日以上	49%	7%	6%
時々(週1~2日)	37%	16%	24%
ときたま(月1~3日)	10%	18%	27%
ほとんどしない	4%	59%	42%
計	100%	100%	100%

運動する時間(量)をどう感じますか。	児童	保護者	教師
多い方だと思う	19%	2%	0%
ちょうどよいと思う	50%	7%	7%
少ない方だと思う	26%	33%	45%
ほとんどしていない	5%	58%	48%
計	100%	100%	100%

○ 約90%の児童が運動好きと答えている。また、大部分の保護者や教師が子どもと運動する機会を増やしたいと感じている。

運動が好きですか、嫌いですか。	児童
運動が好き	89%
運動が嫌い	11%
計	100%

子どもと運動する機会を増やしたいですか。	保護者	教師
そう(多少)思っている	85%	89%
あまり(全然)思っていない	15%	11%
計	100%	100%

○ 放課後等運動の機会があれば、参加したい児童や保護者が多く、運動に対する意識は高い。しかし、参加したくない児童の理由には習い事・スポ少・勉強が多かったが、面倒くさいという回答も予想以上に多かった。

○ 多忙な学校現場では、放課後等の活動の時間がとれない状況があるが、半数近くの教員が、こうした取組の可能性を認めている。外部指導者などの力を借りながら、放課後などに何とか活動の場を持つという意識が、半数近くの教員から見られる。

放課後、運動の機会があれば参加したい(させたい)ですか。	児童	保護者
参加したい(させたい)	78%	90%
したくない(させたくない)	22%	10%
計	100%	100%

放課後、週1~2回、1時間程度、子どもと向き合う時間がとれますか。	教師
とれません	54%
とれそう・努力(無理)すれば何とかとれる	46%
計	100%

放課後運動やスポーツを指導するとしたら、誰が指導すべきだと考えますか。	教師
学校の教員、または、教員と外部指導者が連携して	36%
地域や外部の指導者	64%
計	100%

5 本県の学校における体育活動等の状況 学校体育実態調査 (H18)

(1) 外部指導者の活用

- 小・中学校で約半数, 高等学校では約2/3の学校で外部指導者を活用している。  
小学校では主に授業や体育的行事に, 中・高等学校では部活動に活用している。

外部指導者の活用	小学校	中学校	高等学校
活用している	49%	49%	69%
活用していない	51%	51%	31%
計	100%	100%	100%

(2) 部活動以外の業間等の活動の実施

- 大部分の小学校, 約半数の中学校で実施している。目的の多くは, 体力づくり・仲間との交流である。

業間等の活動	小学校	中学校
実施している	82%	52%
実施していない	18%	48%
計	100%	100%

# 県民のスポーツに関する 意識・活動調査

一健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現を目指し

## 競技団体

- 1 調査の目的  
競技団体のスポーツ活動・意識の現状を把握し、スポーツ振興における課題とその対応方策を検討する資料とします。
- 2 調査時期  
平成20年 1月12日配付 平成20年2月12日回収
- 3 調査対象  
本県競技団体(国民体育大会出場40競技)
- 4 回収数 40



山梨県教育庁スポーツ健康課



スポーツ活動に関する意識・活動調査（競技団体）

回収数 40

3割UP 1.3  
3割DOWN 0.7

問1 ここ数年の関係者数の増減について、該当する欄に○を付けてください。  
(下段はH13年度調査比(ーは減))

項目	1)非常 に増加 している	2)やや 増加し ている	3)横ば いである	4)やや 減少し ている	5)非常 に減少 している	未回答
ア) 県内の競技人口	1	9	13	4	0	0
イ) 小学生の競技人口	2	10	6	11	3	8
ウ) 中学生の競技人口	1	9	10	12	3	5
エ) 高校生の競技人口	0	7	15	11	6	1
オ) 大学生の競技人口	1	6	20	5	5	3
カ) 企業スポーツでの競技人口	0	1	7	11	14	7
キ) クラブの競技人口	1	3	12	12	3	9
ク) 指導者の人数	0	9	23	7	1	0
ケ) 実際に日常的に指導できる人数	0	3	24	11	2	0
コ) 競技力の高い選手を指導できる 人数(主に競技力向上)	0	4	26	6	3	1
サ) 初級者を指導できる人数 (主に競技普及)	0	14	19	5	1	1
シ) 学校での指導者数	0	4	22	7	6	1
ス) 競技会運営スタッフ数	0	2	24	10	3	1

回答数

7割が回  
答 0.7  
5割が回  
答 0.5  
回答なし  
0.01

1)非常 に増加 している	2)やや 増加し ている	3)横ば いである	4)やや 減少し ている	5)非常 に減少 している	未回答
2.5%	22.5%	32.5%	35.0%	7.5%	0.0%
5.0%	25.0%	15.0%	27.5%	7.5%	20.0%
2.5%	22.5%	25.0%	30.0%	7.5%	12.5%
0.0%	17.5%	37.5%	27.5%	15.0%	2.5%
2.5%	15.0%	50.0%	12.5%	12.5%	7.5%
0.0%	2.5%	17.5%	27.5%	35.0%	17.5%
2.5%	7.5%	30.0%	30.0%	7.5%	22.5%
0.0%	22.5%	57.5%	17.5%	2.5%	0.0%
0.0%	7.5%	60.0%	27.5%	5.0%	0.0%
0.0%	10.0%	65.0%	15.0%	7.5%	2.5%
0.0%	35.0%	47.5%	12.5%	2.5%	2.5%
0.0%	10.0%	55.0%	17.5%	15.0%	2.5%
0.0%	5.0%	60.0%	25.0%	7.5%	2.5%

回答率

H19調査に対応するH13調査回答数

ここ数年の登録競技者数の増減について、該当するものを1つ選び○を付けてください。

1)非常 に増加 している	2)やや 増加し ている	3)横ば いである	4)やや 減少し ている	5)非常 に減少 している	未回答
0	5	13	18	3	1

県内の競技人口は、10が増加、17が減少、減少している。  
小学生の競技人口は、12が増加、14が減少、減少している。

中学生の競技人口は、10が増加、15が減少、減少している。

高校生の競技人口は、7が増加、17が減少、減少している。

大学生の競技人口は、7が増加、10が減少、減少している。

企業スポーツでの競技人口は、1が増加、25が減少、減少している。

クラブの競技人口は、4が増加、15が減少、減少している。

指導者の人数は、9が増加、8が減少、ほぼ横ばいである。

実際に日常的に指導できる人数は、3が増加、13が減少、減少している。

競技力の高い選手を指導できる人数は、4が増加、9が減少。

初級者を指導できる人数は、14が増加、4が減少、増加している。

学校での指導者数は、4が増加、13が減少、減少している。

競技会運営スタッフは、2が増加、13が減少、減少している。

※数字は競技団体数であり、実人数ではない。

問2 貴団体が問題となることについて、該当する欄に○を付けてください。  
(下段はH13年度調査比(－は減))

項目	回答数				平成13年度調査に比べて(下年度比)	回答率				
	1)該当しない(未回答)	2)それほど問題でない	3)深刻な問題である	4)大変深刻な問題がある		(3)+(4)	1)該当しない(未回答)	2)それほど問題でない	3)深刻な問題である	4)大変深刻な問題がある
ア) 県内の競技人口が減少していること	7	9	15	6	-21	17.5%	22.5%	37.5%	15.0%	52.5%
イ) 小学生の競技人口が減少していること	8	11	10	4	-14	20.0%	27.5%	25.0%	10.0%	35.0%
ウ) 中学生の競技人口が減少していること	6	12	11	6	-17	15.0%	30.0%	27.5%	15.0%	42.5%
エ) 高校生の競技人口が減少していること	7	11	13	7	-20	17.5%	27.5%	32.5%	17.5%	50.0%
オ) 大学生の競技人口が減少していること	9	16	10	3	-13	22.5%	40.0%	25.0%	7.5%	32.5%
カ) 社団法人(主に企業関係)の競技人口が減少していること	5	17	14	3	-17	12.5%	42.5%	35.0%	7.5%	42.5%
キ) 社団法人(主にクラブ一般)の競技人口が減少していること	10	13	12	4	-16	25.0%	32.5%	30.0%	10.0%	40.0%
ク) 指導者が全体的に少ないこと	5	14	16	5	-21	12.5%	35.0%	40.0%	12.5%	52.5%
ケ) トップレベルを指導できる指導者が少ないこと	5	19	13	3	-16	12.5%	47.5%	32.5%	7.5%	40.0%
コ) ジュニアレベルを指導できる指導者が少ないこと	4	22	10	4	-14	10.0%	55.0%	25.0%	10.0%	35.0%
サ) 学校指導者が少ないこと	5	7	17	11	-28	12.5%	17.5%	42.5%	27.5%	70.0%
シ) スポーツリーダーが少ないこと	9	20	6	5	-11	22.5%	50.0%	15.0%	12.5%	27.5%
ス) 競技会を開催するに当たり施設使用日や他の主催者とかち合うに競技会を開催するに当たり施設に観客を収容できないこと	8	17	7	7	-14	20.0%	42.5%	17.5%	17.5%	35.0%
セ) 日常的に利用できる施設が県内に少ないこと	11	20	8	0	-8	27.5%	50.0%	20.0%	0.0%	20.0%
タ) 団体の運営費を十分用意できないこと	7	16	12	4	-16	17.5%	40.0%	30.0%	10.0%	40.0%
チ) 選手強化費を団体で十分用意できないこと	2	13	18	6	-24	5.0%	32.5%	45.0%	15.0%	60.0%
ツ) 団体事務局の人手が不足していること	2	12	18	8	-26	5.0%	30.0%	45.0%	20.0%	65.0%
テ) 団体運営上、必要な情報が得られないこと	3	11	16	9	-25	7.5%	27.5%	40.0%	22.5%	62.5%
ト) 全国大会等における成績が向上しないこと	10	24	5	2	-5	25.0%	60.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	4	10	20	6	-26	10.0%	25.0%	50.0%	15.0%	65.0%

※「問題である」「深刻な問題である」とした場合

下段はH13調査比(－は減)

H19調査に対応するH13調査回答数

該当しない(未回答)	それほど問題でない	深刻な問題がある	大変深刻な問題である	「深刻」+「大変深刻」	県内の競技人口が減少していること
11	3	18	8	26	県内の競技人口が減少していること
13	7	14	6	20	小・中学生の…
13	7	14	6	20	”
7	5	17	11	28	高校生・大学生の…
7	5	17	11	28	”
14	7	11	8	19	企業の…
13	6	15	6	21	クラブの…
5	8	18	9	27	”
9	13	13	5	18	”
8	13	18	1	19	”
6	2	20	12	32	”
12	16	10	2	12	”
6	17	11	6	17	”
14	15	6	5	11	”
12	11	12	5	17	”
2	4	23	11	34	”
5	4	22	9	31	”
8	9	16	7	23	”
15	22	3	0	3	”
9	6	17	8	25	”

問3 貴団体が県に期待することについて、該当する欄に○を付けてください。  
 (下段はH13年度調査比(ーは減))

項目	回答数			回答率		
	未回答	1)現状 でよい	2)期待 する	3)大い に期待 する	2)+3)	度調査に比 べて(下段 数字はH13 年度比)
ア) 新たな施設の整備	2	8	13	17	30	5
イ) 既存施設の整備・有効活用	1	4	20	15	35	9
ウ) 施設利用料の軽減化	2	11	14	13	27	-1
エ) 団体運営に対する資金面の支援	2	1	17	20	37	1
オ) 指導者の養成・派遣	2	11	20	7	27	7
カ) スポーツドクターの養成・派遣	2	24	11	3	14	-6
キ) 団体運営に必要な情報の提供	2	23	13	2	15	-1
ク) 各市町村のスポーツ振興の促進	2	9	21	6	29	5
ケ) スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み	2	4	18	16	34	5
コ) 総合型地域スポーツクラブの育成	2	11	19	8	27	2
サ) 大規模なスポーツ大会の開催	2	15	17	6	23	7
シ) スポーツ関係団体間の連携促進	3	15	19	3	22	7
ス) 学校体育施設開放の推進	2	13	22	7	25	4
セ) スポーツ医科学センターの整備	3	18	14	5	19	0
ソ) スポーツ情報ネットワークの整備・充実	3	20	14	3	17	0
タ) 会議室・宿泊施設等を有したスポーツセンターの整備	2	9	13	16	29	-2

下段はH13調査比(ーは減)

※「期待する」「大いに期待する」とした場合

項目	回答率			2)+3)		
	未回答	1)現状 でよい	2)期待 する	3)大い に期待 する	2)+3)	
	5.0%	20.0%	32.5%	42.5%	75.0%	
	2.5%	10.0%	50.0%	37.5%	87.5%	
	5.0%	27.5%	35.0%	32.5%	67.5%	
	5.0%	2.5%	42.5%	50.0%	92.5%	
	5.0%	27.5%	50.0%	17.5%	67.5%	
	5.0%	60.0%	27.5%	7.5%	35.0%	
	5.0%	57.5%	32.5%	5.0%	37.5%	
	5.0%	22.5%	52.5%	20.0%	72.5%	
	5.0%	10.0%	45.0%	40.0%	85.0%	
	5.0%	27.5%	47.5%	20.0%	67.5%	
	5.0%	37.5%	42.5%	15.0%	57.5%	
	7.5%	37.5%	47.5%	7.5%	55.0%	
	5.0%	32.5%	55.0%	7.5%	62.5%	
	7.5%	45.0%	35.0%	12.5%	47.5%	
	7.5%	50.0%	35.0%	7.5%	42.5%	
	5.0%	22.5%	32.5%	40.0%	72.5%	

項目	H19調査に対応するH13調査回答数			H19調査に対応するH13調査回答数		
	未回答	現状 でよい	期待 する	大い に期待 する	「期待」+ 「大い に期待 する」	
	5	10	11	14	25	
	7	7	14	12	26	
	8	4	15	13	28	
	4	0	19	17	36	
	10	10	14	6	20	
	9	11	15	5	20	
	8	16	12	4	16	
	8	8	15	9	24	
	8	3	19	10	29	
	9	6	16	9	25	
	12	12	12	4	16	
	12	13	12	3	15	
	10	9	15	6	21	
	11	10	14	5	19	
	12	11	14	3	17	
	5	4	10	21	31	

問4 今後の本県スポーツ振興のあるべき方向性について、該当する欄に○を付けてください。(下段はH13年度調査比(ーは減))

項目	1) そう思う	2) そう思わない	3) わからぬ	未回答	平成13年度調査に比べて(下段数字はH13年度比)
ア) スポーツ振興計画に数値目標を明示し、その達成度を継続的に検証すべきである	21	10	8	1	「そう思う」4増。
イ) 公共施設の運営など、積極的に民間に委託すべきである	15	13	11	1	「そう思う」4増。
ウ) 財源に限られる時代なので、施設整備(ハード)よりもソフトの整備を重視すべきである	14	17	7	2	「そう思う」5増。
エ) 既存の事業を積極的に見直し、事業効果が薄れたものは積極的に廃止する	13	17	9	1	「そう思う」から「そう思わない」に転じた。
オ) 総合型地域スポーツクラブの育成を積極的にすべきである	19	10	10	1	「そう思う」7減「そう思わない」8増。

下段はH13調査比(ーは減) 回答数

問5 文部科学省では、スポーツ振興基本計画の中で、2010年までに、全国の各市区町村で総合型地域スポーツクラブ「以下、クラブ」を育成することを目標にしていますが、クラブについて、該当するものに○を付けてください。(下段はH13年度調査比(ーは減))

ア) クラブからの指導者派遣等の協力要請があれば積極的に協力する	34	1増。
イ) クラブへの協力は不可能である	2	2減。
未回答	4	1

下段はH13調査比(ーは減) 回答数

問6 次の行事について実施している場合、主な実施曜日について該当する欄に○を付けてください。

	1) 平日	2) 土	3) 日・祝日	4) 学校休業期間中(長期休業等)	回答数
ア) ジュニアを対象としたスポーツ教室	9	18	22	10	
イ) 指導者を対象としたクリニック事業等	3	10	25	3	
ウ) 少年種別選抜チームの強化練習会	8	25	31	19	
エ) 少年種別選抜チームの合宿・県外交流事業	5	24	30	26	
オ) 成年種別選抜チームの強化練習会	13	19	27	9	
カ) 成年種別選抜チームの合宿・県外交流事業	5	21	29	11	

回答率

H19調査に対応するH13調査回答数

そう思う	そう思わない	わからない	未回答
17	9	11	3
11	17	7	5
9	18	7	6
23	9	4	4
26	2	8	4

H19調査に対応するH13調査回答数

33
4
3

H19調査に対応するH13調査回答数

問6 平成14年4月からの完全学校週5日制の導入について、該当するものに○を付けてください。	土	日
土・日曜日を利用して子供達を対象とした大会・スポーツ教室を企画する	25	
土・日曜日を利用して指導者を対象にしたクリニック事業等を開催する	5	
土・日曜日を利用して選抜チームの合宿・県外交流事業を積極的に行う※	20	
土・日曜日を利用して選抜チームの合宿・県外交流事業を積極的に行う※	20	
具体的な内容は決定していないが、協会(連盟)の独自事業を計画する	11	
完全学校週5日制の導入に向けての新たな事業は計画していない	8	
土・日曜日の活動は控え、子供達の自主的活動を重視する	1	

回答率

# 県民のスポーツに関する 意識・活動調査

—健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現を目指して—  
**競技指導者**

## 1 調査の目的

競技指導者のスポーツ活動・意識の現状を把握し、スポーツ振興における課題とその対応方を検討する資料とします。

## 2 調査時期

平成20年 1月12日配付 平成20年2月12日回収

## 3 調査対象

国民体育大会出場競技(40競技)の監督・コーチ 142名

## 4 回収数 125



**山梨県教育庁スポーツ健康課**

スポーツ活動に関する意識・活動調査（競技指導者）

※ 当てはまる記号に、○をお付けください。

7割が回答	5割が回答	3割UP	3割DOWN
0.7	0.5	0.013	0.007

回収数 125

問1 あなたが保有している資格について、該当するものをすべてあげてください。

ア) (財)日本体育協会公認 スポーツリーダー	1	0.8%
イ) (財)日本体育協会公認 指導員	34	27.2%
ウ) (財)日本体育協会公認 上級指導員	8	6.4%
エ) (財)日本体育協会公認 コーチ	20	16.0%
オ) (財)日本体育協会公認 上級コーチ	12	9.6%
カ) (財)日本体育協会公認 教師	3	2.4%
キ) (財)日本体育協会公認 上級教師	2	1.6%
ク) (財)日本体育協会公認 スポーツドクター	0	0.0%
ケ) (財)日本体育協会公認 アスレチックトレーナー	0	0.0%
コ) (財)日本体育協会公認 フィットネストレーナー	0	0.0%
サ) (財)日本体育協会公認 スポーツワグラー	3	2.4%
シ) (財)日本体育協会公認 ジュニアスポーツ指導員	1	0.8%
ス) (財)日本体育協会公認 アシスタントマネジャー	0	0.0%
セ) (財)日本体育協会公認 クアマネジャー	0	0.0%
ソ) 中央競技団体認定の公認コーチ	10	8.0%
タ) 資格は保有していない	43	34.4%

回答数 125 回答率 H13調査比（-は減）

「指導員」は23.5%の増、「コーチ」は11.1%の増であった。「資格は保有していない」が17.8%の減であった。  
 ■平成17年10月1日より現行の「(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度」へ移行されたため、準じて対応させた。  
 ■国体の監督資格として、公認指導者等の資格を問われる競技が増えたため、資格を取得したと思われる。

問2 指導者資格について、お答えください。（複数回答可）

ア) 競技会参加資格を満たすために必要である	48	38.4%
イ) 指導者として基本となる事項を得るために必要である	85	68.0%
ウ) 必要ない	18	14.4%

回答数 125 回答率 H13調査比（-は減）

「必要ない」が12.6%減じた。  
 ※「必要である」については理由を付け加え2つの選択肢にしたためH13と単純に比較できないが、「必要ない」が減じていることから「必要である」が増加していると思われる。

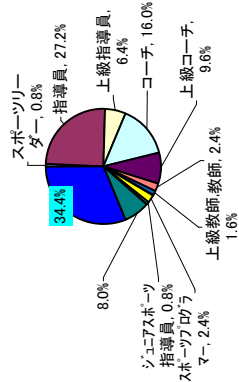
H19調査に対応するH13調査回答(%)

10.1	文部科学大臣認定の公認スポーツ指導者 (A・B・C級)
14.5	文部科学大臣認定の公認コーチ (A・B・C級)
3.6	文部科学大臣認定の公認教師 (A・B・C級)
0.7	日本協公認スポーツドクター
0.0	文部科学大臣認定のアスレチックトレーナー
0.0	文部科学大臣認定のフィットネストレーナー
3.6	文部科学大臣認定の少年スポーツ指導員・少年スポーツ上級指導員
15.2	中央競技団体認定の公認コーチ
52.2	資格は保有していない

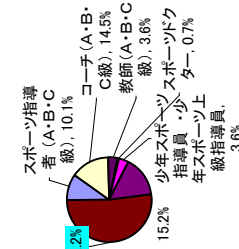
H19調査に対応するH13調査回答(%)

73.0	必要である
27.0	

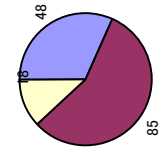
保有している資格について(H19)



保有している資格について(H13)



指導者資格の必要性について



問3 あなたの競技歴を該当するものを一つ選んでください。

ア) 選手として活動したことはない	14	11.2%	-1.9%
イ) 中学まで選手として活動した	3	2.4%	2.4%
ウ) 高校まで選手として活動した	9	7.2%	1.8%
エ) 大学まで選手として活動した	19	15.2%	2.1%
オ) 社会人の選手として活動した	52	41.6%	-2.3%
カ) 実業団の選手として活動した	8	6.4%	1.0%
キ) 日本代表選手として活動した	21	16.8%	-2.4%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

問4 あなたの指導歴について、該当するものを一つ選んでください。

ア) 指導した選手・チームが県大会で上位入賞(1~4)	33	26.4%	3.2%
イ) 指導した選手・チームが関東・全国大会で入賞(1~8位)した	58	46.4%	-5.7%
ウ) 指導した選手・チームが日本代表に選ばれた	19	15.2%	-1.7%
エ) 日本代表の監督・コーチを務めた	10	8.0%	2.4%
オ) その他	6	4.8%	2.7%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

問5 スポーツ指導による報酬の必要性について、お答えください。

ア) 必要である	107	85.6%	9.6%
イ) 必要でない	16	12.8%	-11.2%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

問6 現在のスポーツ指導にかかる報酬（謝金・交通費含む）について、お答えください。

ア) 支給されている	47	37.6%	10.1%
イ) 支給されていない	77	61.6%	-10.9%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

問7 運動部活動への外部指導者の導入について、お答えください。

ア) 積極的に導入すべきである	113	90.4%	-3.3%
イ) 導入する必要はない	7	5.6%	-0.7%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

問8 県の「山梨県スポーツ振興実施計画」について、該当するものを1つ選んでください。

ア) 実施計画の内容を知っている	38	30.4%	
イ) 存在は聞いているが、内容は知らない	59	47.2%	
ウ) まったく知らない	28	22.4%	

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

H19調査に対応するH13調査回答(%)

競技歴について	13.1
	0.0
	5.4
	13.1
	43.9
	5.4
	19.2

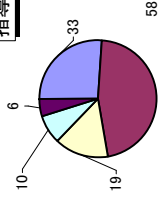
競技歴について



H19調査に対応するH13調査回答(%)

指導歴について	23.2
	52.1
	16.9
	5.6
	2.1

指導歴について



H19調査に対応するH13調査回答(%)

報酬の必要性について	76.0
	24.0

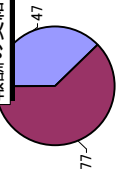
報酬の必要性について



H19調査に対応するH13調査回答(%)

報酬の支給状況について	27.5
	72.5

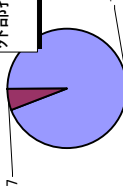
報酬の支給状況について



H19調査に対応するH13調査回答(%)

外部指導者の導入について	93.7
	6.3

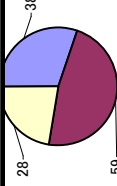
外部指導者の導入について



H19調査に対応するH13調査回答(%)

山梨県スポーツ振興実施計画について	28
	38
	59

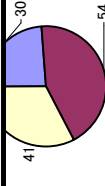
山梨県スポーツ振興実施計画について



H19調査に対応するH13調査回答(%)

文部科学省 スポーツ振興基本計画について	41
	30
	54

文部科学省 スポーツ振興基本計画について



問7 補足  
 「十分に信用できる人物であるかどうか最大の問題である。(事件、事故が多いため)」「必要に応じて」「積極的とは言えないものもあるのではないかと考える」「必要性はある」「やり方を考えて」

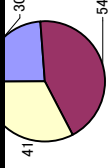
問9 文部科学省の「スポーツ振興基本計画（2006年9月改定）」について、該当するものを1つ選んでください。

ア) 1) 計画の内容を知っている	30	24.0%	9.5%
イ) 2) 存在は聞いているが、計画内容は知らない	54	43.2%	-4.9%
ウ) 3) まったく知らない	41	32.8%	-4.6%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

H19調査に対応するH13調査回答(%)	14.5
	48.1
	37.4

文部科学省 スポーツ振興基本計画について



問10 「国立スポーツ科学センター（2001年10月開所）」について、該当するものを1つ選んでください。

ア) 1) 施設目的・利用方法等を知っている	22	17.6%	8.4%
イ) 2) 実際に施設を見学・利用したことがある	20	16.0%	10.7%
ウ) 3) 存在は聞いているが、内容は知らない	61	48.8%	-1.6%
エ) 4) まったく知らない	22	17.6%	-17.5%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

H19調査に対応するH13調査回答(%)	9.2
	5.3
	50.4
	35.1

国立スポーツ科学センターについて



問11 JOC「ゴールドプラン（2001年6月策定）」について、該当するものを1つ選んでください。

ア) 1) プランの内容を知っている	32	25.6%	17.1%
イ) 2) 存在は聞いているが、内容は知らない	41	32.8%	-3.4%
ウ) 3) まったく知らない	52	41.6%	-13.8%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

H19調査に対応するH13調査回答(%)	8.5
	36.2
	55.4

JOC ゴールドプランについて



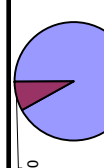
問12 文部科学省「スポーツにおけるドーピングの防止に関するガイドライン（2007年5月策定）」について、該当するものを1つ選んでください。

ア) 1) 知っている	114	91.2%	38.9%
イ) 2) 知らない	10	8.0%	-39.7%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

問12 アンチ・ドーピングに対する日本オリピック委員会の方針等について、該当するものに○を付けてください。	52.3
	47.7

スポーツにおけるドーピングの防止に関するガイドラインについて



H19調査に対応するH13調査回答(%)

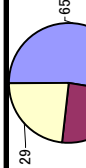
問13 文部科学省では、スポーツ振興基本計画の中で、2010年までに、全国の各市区町村で総合型地域スポーツクラブ「以下、クラブ」を育成することを目標にしていますが、クラブについて、お答えください。

ア) クラブの目的・趣旨・内容等知っている	65	52.0%	13.8%
イ) 聞いたことはあるが、内容は知らない	30	24.0%	-14.9%
ウ) まったく知らない	29	23.2%	0.3%

回答数 回答率 H13調査比（-は減）

H19調査に対応するH13調査回答(%)	38.2
	38.9
	22.9

総合型地域スポーツクラブについて



問14 問13でア)と答えた方のみ、該当するものをお答えください。

①

ア) クラブの充実により、今後の選手強化が図られる	45	36.0%	69.2%
イ) クラブは、あくまでも生涯スポーツの一環であり選手強化につながらない	25	20.0%	7.7%
			38.5%
			0.0%

問13でア)と答えた場合の回答者に対する比率

H19調査に対応するH13調査回答(%)	61.5
	38.5

総合型地域スポーツクラブについて



②

ア) クラブからの指導者要請があれば積極的に協力する	52	41.6%	80.0%
イ) 現状では、クラブからの指導者要請に協力できない	15	12.0%	5.0%
			23.1%
			-1.0%

問13でア)と答えた場合の回答者に対する比率

H19調査に対応するH13調査回答(%)	75.0
	25.0

総合型地域スポーツクラブについて





問15 あなたが現在抱えている課題について、該当するものを全てをお答えください。

なお、該当しない項目については、○を付ける必要はありません。

項目	回答数			
	1) 該当しない	2) それほど問題ではない	3) 深刻な問題がある	4) 大変深刻な問題である
ア) 練習時間の確保	20	50	39	16
イ) 日常的に利用できる練習会場	28	52	25	20
ウ) 選手の減少	14	19	50	42
エ) チーム運営費(練習・合宿・遠征費含む)	7	29	42	47
オ) 最新の指導方法等の情報	20	86	14	4
カ) アスリートコーチ・トレーナー・スポーツワーカー等のスタッフ	25	67	25	8
キ) 指導に対する会社・学校等の理解	17	51	41	16

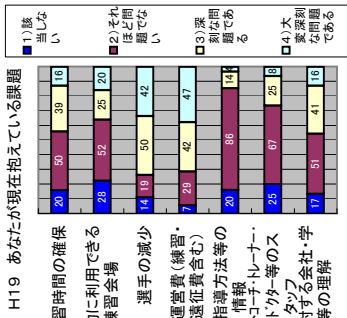
「問題である」の割合の減に注目すると、「選手の減少」「アスリートコーチ・トレーナー・スポーツワーカー等のスタッフ」に対する会社・学校等の理解「練習時間の確保」「チーム運営費」「最新の指導方法等の情報」において減じている。

問16 あなたが県に期待することについて、該当するものを全てをお答えください。

項目	回答数				割合
	1) 現状でよい	2) 期待する	3) 大いに期待する	4) 大いに期待する	
ア) 新たな施設の整備	6	23	29	67	96
イ) 既存施設の整備・有効活用	7	11	47	60	107
ウ) 施設利用料の軽減化	5	19	42	59	101
エ) 練習・合宿等に対する資金面での支援	3	0	41	81	122
オ) 指導者の養成・派遣	7	24	56	38	94
カ) スポーツドクターの養成・派遣	9	37	55	24	79
キ) スポーツ指導に必要な情報の提供	9	34	60	22	82
ク) 各市町村のスポーツ振興の促進	9	14	58	44	102
ケ) スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み	5	7	57	56	113
コ) 総合型地域スポーツクラブの育成	10	20	61	34	95
サ) 大規模なスポーツ大会の開催	8	42	50	25	75
シ) スポーツ関係団体間の連携促進	11	39	58	17	75
ス) 学校体育施設開放の推進	11	43	47	24	71
セ) スポーツ医・科学センターの整備	8	32	55	30	85
ソ) スポーツ情報ネットワークの整備・充実	9	34	59	23	82
タ) 会議室・宿泊施設等を有したスポーツセンターの整備	5	13	43	64	107

H19調査に対応するH13調査回答率(%)

該当しない(未回答)	それほど問題でない	深刻な問題である	大変深刻な問題である
12.2	33.9	36.6	12.2
12.2	53.4	19.1	15.3
6.9	15.3	31.3	46.6
13.0	11.5	38.9	36.6
18.3	51.9	26.0	3.8
14.5	35.9	33.6	16.0
13.0	41.2	28.2	17.6

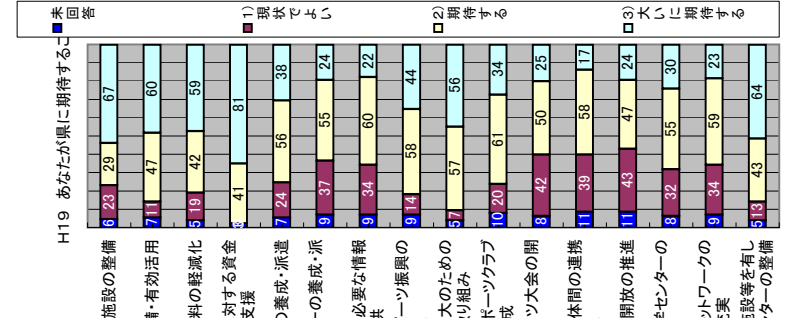


H19 あなたが現在抱えている課題

練習時間の確保	日常的に利用できる練習会場	選手の減少	チーム運営費(練習・合宿・遠征費含む)	最新の指導方法等の情報	アスリートコーチ・トレーナー・スポーツワーカー等のスタッフ	指導に対する会社・学校等の理解
20	28	14	7	20	25	17
50	52	19	29	86	67	51
39	25	50	42	14	25	41
16	20	42	47	4	8	16

H19調査に対応するH13調査回答率(%)

現状でよい	期待する	大いに期待する	「期待する」に期待する
31.0	30.2	38.8	69.0
18.3	51.3	30.4	81.7
25.0	33.0	42.0	75.0
7.8	32.8	59.5	92.3
19.7	41.9	38.5	80.4
20.4	48.0	33.6	79.6
27.0	42.3	30.6	72.9
10.0	51.8	38.2	90.0
5.4	39.3	55.4	94.7
16.5	50.5	33.0	83.5
36.4	32.7	30.9	63.6
29.4	58.7	11.9	70.6
43.1	38.5	18.4	56.9
16.4	56.4	27.3	83.7
22.4	56.1	21.5	77.6
11.7	38.7	49.6	88.3



H19 あなたが県に期待すること

新たな施設の整備	既存施設の整備・有効活用	施設利用料の軽減化	練習・合宿等に対する資金面での支援	指導者の養成・派遣	スポーツドクターの養成・派遣	スポーツ指導に必要な情報の提供	各市町村のスポーツ振興の促進	スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み	総合型地域スポーツクラブの育成	大規模なスポーツ大会の開催	スポーツ関係団体間の連携促進	学校体育施設開放の推進	スポーツ医・科学センターの整備	スポーツ情報ネットワークの整備・充実	会議室・宿泊施設等を有したスポーツセンターの整備
6	7	5	3	7	9	9	9	5	10	8	11	11	8	9	5
23	11	19	0	24	37	34	14	7	20	42	39	43	32	34	13
29	47	42	41	56	55	60	58	57	61	50	58	47	55	59	43
67	60	59	81	38	24	22	44	34	34	25	17	24	30	23	64

# 県民のスポーツに関する 意識・活動調査

—健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現を目指して—

## 競技選手

### 1 調査の目的

競技選手のスポーツ活動・意識の現状を把握し、スポーツ振興における課題とその対応方策を検討する資料とします。

### 2 調査時期

平成20年 1月12日配付 平成20年2月12日回収

### 3 調査対象

国民体育大会候補選手 710名(40競技)

### 4 回収数 574



山梨県教育庁スポーツ健康課

7割が回答	3割UP	3割DOWN
0.5	0.014	0.007

あなたの種別(国民体育大会)について、該当する種別に○を付けてください。  
回収数 574

	回答数	回答率
成年男子	175	30.5%
成年女子	103	17.9%
少年男子	167	29.1%
少年女子	129	22.5%

各項目の回答数の割合(%表示)は、項目の回答数を回収総数で除いたもので、複数回答がある場合、同じ項目の割合の合計が100にはならない。

問1 (現在、活動している)競技歴について、該当するものを1つ選び○を付けてください。

	回答数	回答率	H13年度比(ーは減)
ア) 小学校入学前から現在の競技をはじめた	56	9.8%	4.5%
イ) 小学校から現在の競技をはじめた	193	33.6%	-0.3%
ウ) 中学校から現在の競技をはじめた	121	21.1%	-5.4%
エ) 高校から現在の競技をはじめた	160	27.9%	0.9%
オ) 大学から現在の競技をはじめた	21	3.7%	1.5%
カ) その他	23	4.0%	-1.1%

「小学校入学前から現在の競技をはじめた」が4.5%の増。  
「中学校から現在の競技をはじめた」が5.4%の減。

問2 これまでの最高成績について、該当するものに○を付けてください。

	回答数	回答率	H13年度比(ーは減)
ア) 県大会で上位入賞(1~4位)したことがある	220	38.3%	-3.0%
イ) 関東大会で入賞(1~8位)したことがある	131	22.8%	-2.1%
ウ) 全国大会で入賞(1~8位)したことがある	134	23.3%	-0.9%
エ) 日本代表選手として国際試合に出場したことがある	34	5.9%	-1.3%
オ) その他	44	7.7%	5.2%

「その他」が5.2%増でその他は0.9~3.0%ほど減じた。

問3 あなたの目標について、該当するものを1つ選び○を付けてください。

	回答数	回答率	H13年度比(ーは減)
ア) 県大会で優勝すること	83	14.5%	2.2%
イ) 関東大会で優勝すること	111	19.3%	1.2%
ウ) 全国大会で優勝すること	239	41.6%	-2.1%
エ) 大学・実業団リーグで優勝すること	29	5.1%	-1.3%
オ) 日本代表になること	28	4.9%	-1.1%
カ) オリンピックに出場すること	20	3.5%	0.7%
キ) オリンピックでメダルを取ること	9	1.6%	-0.3%
ク) 日本記録を樹立すること	3	0.5%	0.5%
ケ) 世界記録を樹立すること	2	0.3%	-0.2%
コ) 国内のリーグ等で活躍すること	4	0.7%	0.0%
サ) 海外のリーグ等で活躍すること	9	1.6%	1.1%
シ) その他 ※記述してください。	32	5.6%	-1.5%

H13年度調査と比べて、それぞれの項目で2.2%~2.1%の間での増減で、ほぼ変わらなかった。  
目標「その他の回答」  
自分の目標タイムを達成すること  
周りの人に勝たれるような選手になりたい  
全国大会出場  
国民体育大会に出場すること  
団体入賞  
関東大会上位入賞  
登録メンバーに入ること  
果敢た力の維持、向上  
人間形成  
納得のいく成績を挙げること、維持すること  
練習一本頑張る  
思案中  
など(※同じような内容はとめた)

現在の競技歴

H19調査に対応するH13調査回答(%)

H19調査	H13調査
5.3	5.3
33.9	33.9
26.5	26.5
27	27
2.2	2.2
5.1	5.1
2.5	2.5

「小学校入学前から現在の競技をはじめた」内訳  
陸上競技 1  
山岳 1  
アーチェリー 1  
セーリング 1  
アイスホッケー 1  
ホッケー 1  
馬術 3  
ゴルフ 3  
ボート 9

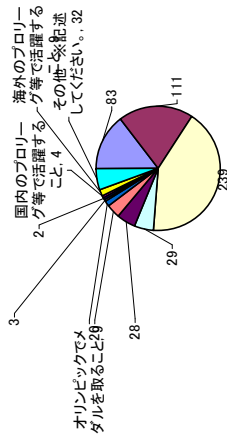
「小学校入学前から現在の競技をはじめた」内訳  
空手道 1  
ゴルフ 1  
馬術 1  
レスリング 1  
新体操 2  
スキューバダイビング 2  
なぎなた 2  
ラグビーフットボール 2  
剣道 3  
サッカー 3  
柔道 6  
体操 7  
テニス 9

最高成績

H19調査	H13調査
41.3	41.3
24.9	24.9
24.2	24.2
7.2	7.2
2.5	2.5

「県大会で上位入賞(1~4位)したことがある」内訳  
ラグビーフットボール 2  
剣道 3  
サッカー 3  
柔道 6  
体操 7  
テニス 9

目標



H19調査に対応するH13調査回答(%)

H19調査	H13調査
12.3	12.3
18.1	18.1
43.7	43.7
6.4	6.4
6	6
2.8	2.8
1.9	1.9
0	0
0.5	0.5
0.7	0.7
0.5	0.5
7.1	7.1

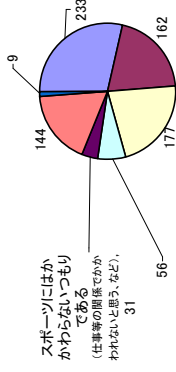
問4 将来のあなたのスポーツとのかかわりについて思うものを、該当するものを全てに○を付けてください。

ア) 生涯にわたり現在の競技を続けたい	233	40.6%
イ) 指導者として現在のスポーツにかかわり続けたい	162	28.2%
ウ) 現在のスポーツをひろめたい	177	30.8%
エ) 現在とは違うスポーツをしてみたい	56	9.8%
オ) スポーツにはかかわらないつもりである (仕事等の関係でかわれないと思う、など)	31	5.4%
カ) 今のところ、考えていない	144	25.1%
キ) その他 ※記述してください。	9	1.6%

※別紙で詳細を参照

かかわり「その他」の回答  
スポーツはもちろん、他のことも楽しみたい。  
スポーツトレーナー  
協会の会長になりたい。  
何らかの形で現在のスポーツと係わりたい。  
自分の体力が線くがざり続けて、自分の子供にも同じ競技をして欲しい。  
スポーツならなんでもいいのでかかわってほしい。  
大人になってから趣味などでやりたい。

将来のスポーツとのかかわり



問5 あなたの主な練習施設について、該当するものを1つ選び○を付けてください

ア) 所属している部・クラブ(学校、会社)の施設で練習している	340	59.2%
イ) 県、市町村等の公共施設、学校開放の施設で練習している	128	22.3%
ウ) 民間のスポーツ施設で練習している	88	15.3%
エ) その他	23	4.0%

H19調査に対応するH13調査回答(%)

63
27.4
7.3
2.2

問6 あなたの指導スタッフについて、該当するものに○を付けてください。

ア) 部・クラブの監督・コーチから指導を受けている	436	76.0%
イ) 部・クラブ以外の指導者から指導を受けている	91	15.9%
ウ) その他	71	12.4%

H19調査に対応するH13調査回答(%)

80.3
14
5.7

問7 選手に対し、健康・心理等医・科学全般にわたりサポートしていく、スポーツ医・科学サポートについて、該当するものを1つ選び○を付けてください。

ア) 必要である	416	72.5%
イ) 必要でない	19	3.3%
ウ) わからない	139	24.2%

H19調査に対応するH13調査回答(%)

80.1
2.7
17.2

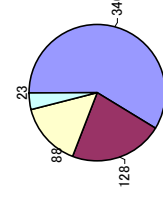
問8 日ごろの練習・試合等で最もかかる経費について、該当するものを3つ選び○を付けてください。(複数回答)

ア) 練習・試合、合宿、遠征等にかかる宿泊費、交通費等の経費	504	87.8%
イ) スポーツ用具・消耗品等(シューズ、ウェア、ボール、ラケット等)の経費	428	74.6%
ウ) コーチ、トレーナー等に支払う謝金(月謝)	33	5.7%
エ) 練習施設の費用	112	19.5%
オ) 選手登録料、資格(段)審査・認定料、各種負担金	124	21.6%
カ) 医療費(テーピングテープ、医薬品等含む)	154	26.8%
キ) 栄養補助食品、ビタミン剤等にかかる経費	85	14.8%
ク) その他	34	5.9%

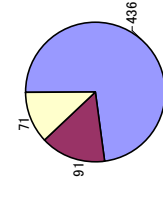
H19調査に対応するH13調査回答(%)

84.7
76.7
9.8
15.3
24
30.2
18.5
2.4

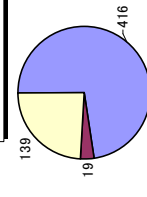
主な練習施設



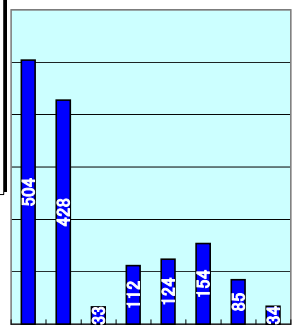
指導スタッフ



スポーツ医・科学サポートについて



最もかかる経費について



文部科学省 スポーツにおけるドーピングの防止に関するガイドラインについて

問9 文部科学省「スポーツにおけるドーピングの防止に関するガイドライン（2007年5月策定）」について、該当するものを1つ選んでください。

ア) 知っている	290	50.5%	21.8%
イ) 知らない	283	49.3%	-22.0%
回答数		回答率	H13年度比（-は減）

問10 文部科学省では、スポーツ振興基本計画の中で、2010年までに、全国の各市区町村で総合型地域スポーツクラブ「以下、クラブ」を育成することを目標にしています。クラブについて、該当するものを1つ選びOを付けてください。

ア) クラブの目的・趣旨等を知っている	69	12.0%	5.7%
イ) 聞いたことがある	192	33.4%	5.5%
ウ) まったく知らない	311	54.2%	-11.6%
回答数		回答率	H13年度比（-は減）

問11 問10でア)と答えた方のみ、該当するものを1つ選びOを付けてください。

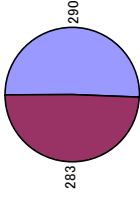
ア) クラブが設立されれば、クラブに所属し活動したい	27	4.7%
イ) クラブが設立されても、現在の所属チームで活動したい	75	13.1%
ウ) クラブと所属チームの両方で活動したい	39	6.8%
回答数		回答率

問12 あなたが現在、問題だと感じている事項について、該当する欄にOを付けてください。

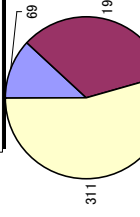
なお、該当しない項目については、Oを付ける必要はありません。

項目	1) 該当しない(未回答)	2) それほど問題でない	3) 深刻な問題である	4) 大変深刻な問題がある	回答数
ア) 練習時間の確保	157	244	125	46	
イ) 日常的に利用できる練習会場	211	255	74	34	
ウ) 取り組んでいるスポーツが上達しない	176	218	131	48	
エ) 指導者との関係	296	237	23	18	
オ) チームメイトとの関係	301	238	21	14	
カ) トレーナー、スポーツドクター等のスタッフ	311	200	47	15	
キ) 最新の指導方法等の情報	257	240	55	20	
ク) 経済的な負担	144	207	135	87	
ケ) 会社・学校の理解	235	221	83	35	
コ) 家庭の理解	273	246	39	16	
サ) 将来への不安感	207	218	104	45	

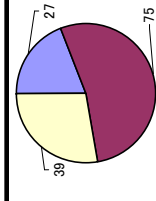
文部科学省 スポーツにおけるドーピングの防止に関するガイドラインについて



総合型地域スポーツクラブについて



総合型地域スポーツクラブへのかわりについて



問9 アンチ・ドーピングに対する日本オリピック委員会の方針等について、該当するものをOを付けてください。

知っている	287
知らない	713

H19調査に対応するH13調査回答率(%)

H19調査に対応するH13調査回答率(%)

知っている	6.3
聞いたことがある	27.9
まったく知らない	65.8

H19調査に対応するH13調査回答率(%)

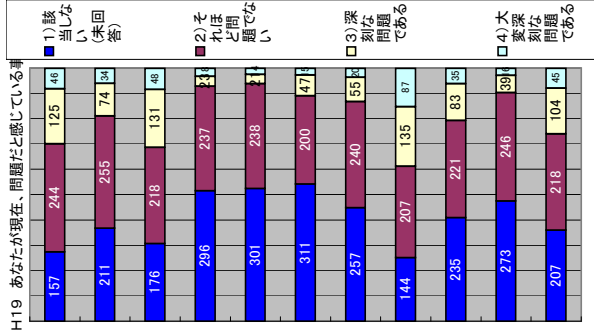
クラブ	26.2
現在の所属チーム	35.7
両方	38.1

H19調査に対応するH13調査回答率(%)

あなたが現在抱えている課題について該当するものを1つ選んでOを付けてください。

該当しない(未回答)	それほど問題でない	深刻な問題である	大変深刻な問題がある		
練習時間の確保	132	57.3	19.7	9.8	28.5
日常的に利用できる練習会場	16.4	58.2	17.3	8.1	25.4
取り組んでいるスポーツが上達しない	19.9	66	8.3	5.8	14.1
指導者との関係	26.4	51.4	15.7	6.6	22.3
チームメイトとの関係	23.3	56	15.3	5.4	20.7
トレーナー、スポーツドクター等のスタッフ	17.8	41.5	23.4	17.4	40.8
最新の指導方法等の情報	22	55.9	11.7	10.3	22
経済的な負担	20.9	69.3	6.5	3.4	9.9
会社・学校の理解					
家庭の理解					
将来への不安感					

H19調査に対応するH13調査回答率(%)



H19 あなたが現在、問題だと感じている事

項目	1) 該当しない(未回答)	2) それほど問題でない	3) 深刻な問題である	4) 大変深刻な問題がある
練習時間の確保	157	244	125	46
日常的に利用できる練習会場	211	255	74	34
取り組んでいるスポーツが上達しない	176	218	131	48
指導者との関係	296	237	23	18
チームメイトとの関係	301	238	21	14
トレーナー、スポーツドクター等のスタッフ	311	200	47	15
最新の指導方法等の情報	257	240	55	20
経済的な負担	144	207	135	87
会社・学校の理解	235	221	83	35
家庭の理解	273	246	39	16
将来への不安感	207	218	104	45

問13 あなたが県に期待することについて、該当する欄に○を付けてください。

項目	未回答	1)現状 でよい	2)期待 する	3)大い に期待 する
ア) 新たな施設の整備	37	190	172	175
イ) 既存施設の整備・有効活用	50	161	201	162
ウ) 施設利用料の軽減化	53	196	161	164
エ) 練習・合宿等に対する資金面での支援	30	100	194	250
オ) 指導者の養成・派遣	49	264	156	105
カ) スポーツドクターの養成・派遣	50	235	190	99
キ) スポーツ活動に必要な情報の提供	55	207	210	102
ク) 各市町村のスポーツ振興の促進	54	189	204	127
ケ) スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み	49	148	209	168
コ) 総合型地域スポーツクラブの育成	56	227	210	81
サ) 大規模なスポーツ大会の開催	52	210	185	127
シ) スポーツ関係団体間の連携促進	59	257	182	76
ス) 学校体育施設開放の推進	62	244	171	97
セ) スポーツ医・科学センターの整備	56	220	195	103
ソ) スポーツ情報ネットワークの整備・充実	61	228	202	83
タ) 会議室・宿泊施設等を有したスポーツセンターの整備	53	177	205	139

回答数

H19調査に対応するH13調査回答(%)

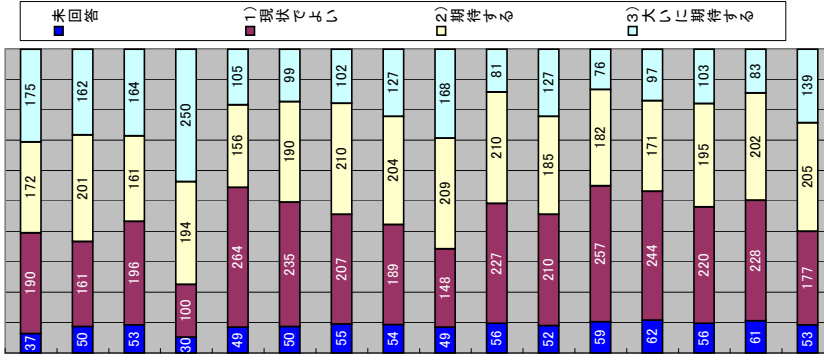
現状 でよい	期待 する	大い に期待 する	期待す る+大い に期待 する
31.3	31.8	36.9	68.7
33.2	37	29.9	66.9
35.4	29.8	34.8	64.6
18.3	29.9	51.9	81.8
45.3	26.8	27.9	54.7
35.5	36.8	27.7	64.5
36.3	37.4	26.4	63.8
32.2	38	29.8	67.8
23.8	39	37.2	76.2
36.1	42.3	21.6	63.9
33.2	34.9	31.9	66.8
45.9	35.5	18.7	54.2
44.7	31.1	24.2	55.3
34.5	35.2	30.3	65.5
37.7	38.4	23.9	62.3
28.8	32.8	38.4	71.2

回答率

下段はH13調査比(ーは減)

未回答	1)現状 でよい	2)期待 する	3)大い に期待 する	3)+4)
6.4%	33.1%	30.0%	30.5%	60.5%
1.8%	-1.8%	-6.4%	-8.2%	-8.2%
8.7%	28.0%	28.2%	63.2%	63.2%
-5.2%	-2.0%	-1.7%	-3.7%	-3.7%
9.2%	34.1%	28.0%	28.6%	56.6%
-1.3%	-1.8%	-6.2%	-8.0%	-8.0%
5.2%	17.4%	33.8%	43.6%	77.4%
-0.9%	3.9%	-8.3%	-4.4%	-4.4%
8.5%	46.0%	27.2%	18.3%	45.5%
0.7%	0.4%	-9.6%	-9.2%	-9.2%
8.7%	40.9%	33.1%	17.2%	50.3%
5.4%	-3.7%	-10.5%	-14.2%	-14.2%
9.6%	36.1%	17.8%	54.4%	54.4%
-0.2%	-0.8%	-8.6%	-9.4%	-9.4%
9.4%	32.9%	35.5%	22.1%	57.7%
0.7%	-2.5%	-7.7%	-10.1%	-10.1%
8.5%	25.8%	36.4%	29.3%	65.7%
2.0%	-2.6%	-7.9%	-10.5%	-10.5%
9.8%	39.5%	36.6%	14.1%	50.7%
3.4%	-5.7%	-7.5%	-13.2%	-13.2%
9.1%	36.6%	32.2%	22.1%	54.4%
3.4%	-2.7%	-9.8%	-12.4%	-12.4%
10.3%	44.8%	31.7%	13.2%	44.4%
-1.1%	-3.8%	-5.5%	-9.3%	-9.3%
10.8%	42.5%	29.8%	16.9%	46.7%
-2.2%	-1.3%	-7.3%	-8.6%	-8.6%
9.8%	38.3%	34.0%	17.9%	51.9%
3.8%	-1.2%	-12.4%	-13.6%	-13.6%
10.6%	39.7%	35.2%	14.5%	49.7%
2.0%	-3.2%	-9.4%	-12.6%	-12.6%
9.2%	30.8%	35.7%	24.2%	59.9%
2.0%	2.9%	-14.2%	-11.3%	-11.3%

H19 あなたが県に期待すること









問2 これまでの最高成績について、該当するものに○を付けてください。※上段は回答数、中段は“競技成績の中で占める割合”、下段は“競技成績が占める割合”。

「県大会で上位入賞したことがある」と回答した220名のうち「県大会で上位入賞したことがある」と回答したものが占める割合  
 成年男子 175名のうち「県大会で上位入賞したことがある」と回答したものが占める割合

「問題だと感じる」については各項目ごとに「深刻な問題」「大変深刻な問題」を足したものを下段に示した。  
 小教第1位を四捨五入して%表示

回収数	種別	競技歴										目標										問題だと感じる																									
		小学	小学	小学	中学	高校	大学	全国大会で優勝したことがある	関東大会で優勝したことがある	県大会で優勝したことがある	日本代表として出場したことがある	オリンピックに出場したことがある	世界記録を樹立したことがある	国内の記録を破ったことがある	海外の記録を破ったことがある	その他	練習時間の確保	日常的に利用できる練習場	取り組んでいない	指導者との関係	チームメイトとの関係	トレーナー等との関係	最新の指導方法等の情報	経済的な負担	会社・学校の理解	家庭の理解	将来への不安																				
574	成年男子	57	27	77	59	13	72	57	63	6	9	54	55	78	7	9	1	2	0	1	1	5	7	51	15	32	11	55	19	11	7	6	6	17	8	19	10	45	29	36	13	17	6	30	15		
	成年女子	37	18	38	38	16	53	26	32	2	2	7	32	67	7	3	1	1	0	0	1	0	8	22	14	9	12	26	9	5	6	4	14	1	15	4	35	16	19	5	7	2	28	15			
	少年男子	54	31	33	16	17	45	25	38	2	7	1	13	69	10	13	10	1	0	0	2	3	11	32	11	20	5	28	13	4	3	6	2	11	2	15	5	33	30	18	13	11	5	34	10		
	少年女子	16	14	2	2	7	13	7	5	2	0	1	2	7	0	4	8	5	3	1	0	0	3	6	3	4	1	7	1	1	2	0	2	3	0	11	8	4	2	3	1	9	3				
	その他	47	41	6	6	5	21	38	21	1	6	8	15	8	0	3	6	0	0	0	0	12	28	15	15	9	3	3	0	0	9	18	3	12	3	0	12	3	0	11	8	4	2	3	1	9	3
	合計	175	103	167	129	56	183	121	160	21	23	83	111	239	29	28	20	9	3	2	4	9	32	125	46	74	34	131	48	23	18	21	14	47	15	65	20	185	87	83	35	39	16	104	46		

回収数	種別	競技成績	目標	問題だと感じる
34	日本代表選手として国際試合に出場したことがある	このアンケートにおける「日本代表として国際試合に出場したことがある」と回答したものの59%は小学生までに競技をはじめたことである。	目標について「入賞した大会ステージが高い(競技レベルが高い)ほど、“高い目標”となる回答となった。	問題だと感じる事柄について「深刻な問題である」「大変深刻な問題である」を合わせた回答数は、およそどの項目も同じような割合となった。その中で、「経済的な負担」については、競技成績が高くなるほど“問題である”と回答する割合が増え、「全国大会で入賞したことがある」のうち47%、「日本代表選手として国際試合に出場したことがある」のうち56%が「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、7%~12%が「将来への不安感」について「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、18%~23%が「会社・学校の理解」について「問題である」と回答した。特に、「全国大会で入賞したことがある」と回答した。
44	その他	このアンケートにおける「日本代表として国際試合に出場したことがある」と回答したものの59%は小学生までに競技をはじめたことである。	目標について「入賞した大会ステージが高い(競技レベルが高い)ほど、“高い目標”となる回答となった。	問題だと感じる事柄について「深刻な問題である」「大変深刻な問題である」を合わせた回答数は、およそどの項目も同じような割合となった。その中で、「経済的な負担」については、競技成績が高くなるほど“問題である”と回答する割合が増え、「全国大会で入賞したことがある」のうち47%、「日本代表選手として国際試合に出場したことがある」のうち56%が「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、7%~12%が「将来への不安感」について「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、18%~23%が「会社・学校の理解」について「問題である」と回答した。特に、「全国大会で入賞したことがある」と回答した。
134	全国大会で入賞したことがある	このアンケートにおける「日本代表として国際試合に出場したことがある」と回答したものの59%は小学生までに競技をはじめたことである。	目標について「入賞した大会ステージが高い(競技レベルが高い)ほど、“高い目標”となる回答となった。	問題だと感じる事柄について「深刻な問題である」「大変深刻な問題である」を合わせた回答数は、およそどの項目も同じような割合となった。その中で、「経済的な負担」については、競技成績が高くなるほど“問題である”と回答する割合が増え、「全国大会で入賞したことがある」のうち47%、「日本代表選手として国際試合に出場したことがある」のうち56%が「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、7%~12%が「将来への不安感」について「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、18%~23%が「会社・学校の理解」について「問題である」と回答した。特に、「全国大会で入賞したことがある」と回答した。
34	日本代表選手として国際試合に出場したことがある	このアンケートにおける「日本代表として国際試合に出場したことがある」と回答したものの59%は小学生までに競技をはじめたことである。	目標について「入賞した大会ステージが高い(競技レベルが高い)ほど、“高い目標”となる回答となった。	問題だと感じる事柄について「深刻な問題である」「大変深刻な問題である」を合わせた回答数は、およそどの項目も同じような割合となった。その中で、「経済的な負担」については、競技成績が高くなるほど“問題である”と回答する割合が増え、「全国大会で入賞したことがある」のうち47%、「日本代表選手として国際試合に出場したことがある」のうち56%が「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、7%~12%が「将来への不安感」について「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、18%~23%が「会社・学校の理解」について「問題である」と回答した。特に、「全国大会で入賞したことがある」と回答した。
44	その他	このアンケートにおける「日本代表として国際試合に出場したことがある」と回答したものの59%は小学生までに競技をはじめたことである。	目標について「入賞した大会ステージが高い(競技レベルが高い)ほど、“高い目標”となる回答となった。	問題だと感じる事柄について「深刻な問題である」「大変深刻な問題である」を合わせた回答数は、およそどの項目も同じような割合となった。その中で、「経済的な負担」については、競技成績が高くなるほど“問題である”と回答する割合が増え、「全国大会で入賞したことがある」のうち47%、「日本代表選手として国際試合に出場したことがある」のうち56%が「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、7%~12%が「将来への不安感」について「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、18%~23%が「会社・学校の理解」について「問題である」と回答した。特に、「全国大会で入賞したことがある」と回答した。
175	合計	このアンケートにおける「日本代表として国際試合に出場したことがある」と回答したものの59%は小学生までに競技をはじめたことである。	目標について「入賞した大会ステージが高い(競技レベルが高い)ほど、“高い目標”となる回答となった。	問題だと感じる事柄について「深刻な問題である」「大変深刻な問題である」を合わせた回答数は、およそどの項目も同じような割合となった。その中で、「経済的な負担」については、競技成績が高くなるほど“問題である”と回答する割合が増え、「全国大会で入賞したことがある」のうち47%、「日本代表選手として国際試合に出場したことがある」のうち56%が「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、7%~12%が「将来への不安感」について「問題」と回答した。それぞれの競技成績で、18%~23%が「会社・学校の理解」について「問題である」と回答した。特に、「全国大会で入賞したことがある」と回答した。

問 あなたが県に期待することについて、該当する欄に○を付けてください。(競技選手)(指導者)

項目	競技選手					競技指導者					ポイント合計			
	未回答	1)現状でよい	2)期待する	3)大いに期待する	2)+3)	未回答	1)現状でよい	2)期待する	3)大いに期待する	2)+3)	1)現状でよい	2)期待する	3)大いに期待する	2)+3)
ア) 新たな施設の整備	6.4%	33.1%	30.0%	30.5%	60.5%	4.8%	18.4%	23.2%	53.6%	76.8%	51.5 p	53.2 p	84.1 p	137.3 p
イ) 既存施設の整備・有効活用	8.7%	28.0%	35.0%	28.2%	63.2%	5.6%	8.8%	37.6%	48.0%	85.6%	36.8 p	72.6 p	76.2 p	148.8 p
ウ) 施設利用料の軽減化	9.2%	34.1%	28.0%	28.6%	56.6%	4.0%	15.2%	33.6%	47.2%	80.8%	49.3 p	61.6 p	75.8 p	137.4 p
エ) 練習・合宿等に対する資金面での支援	5.2%	17.4%	33.8%	43.6%	77.4%	2.4%	0.0%	32.8%	64.8%	97.6%	17.4 p	66.6 p	108.4 p	175.0 p
オ) 指導者の養成・派遣	8.5%	46.0%	27.2%	18.3%	45.5%	5.6%	19.2%	44.8%	30.4%	75.2%	65.2 p	72.0 p	48.7 p	120.7 p
カ) スポーツドクターの養成・派遣	8.7%	40.9%	33.1%	17.2%	50.3%	7.2%	29.6%	44.0%	19.2%	63.2%	70.5 p	77.1 p	36.4 p	113.5 p
キ) スポーツ活動に必要な情報の提供	9.6%	36.1%	36.6%	17.8%	54.4%	7.2%	27.2%	48.0%	17.6%	65.6%	63.3 p	84.6 p	35.4 p	120.0 p
ク) 各市町村のスポーツ振興の促進	9.4%	32.9%	35.5%	22.1%	57.7%	7.2%	11.2%	46.4%	35.2%	81.6%	44.1 p	81.9 p	57.3 p	139.3 p
ケ) スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み	8.5%	25.8%	36.4%	29.3%	65.7%	4.0%	5.6%	45.6%	44.8%	90.4%	31.4 p	82.0 p	74.1 p	156.1 p
コ) 総合型地域スポーツクラブの育成	9.8%	39.5%	36.6%	14.1%	50.7%	8.0%	16.0%	48.8%	27.2%	76.0%	55.5 p	85.4 p	41.3 p	126.7 p
サ) 大規模なスポーツ大会の開催	9.1%	36.6%	32.2%	22.1%	54.4%	6.4%	33.6%	40.0%	20.0%	60.0%	70.2 p	72.2 p	42.1 p	114.4 p
シ) スポーツ関係団体間の連携促進	10.3%	44.8%	31.7%	13.2%	44.9%	8.8%	31.2%	46.4%	13.6%	60.0%	76.0 p	78.1 p	26.8 p	104.9 p
ス) 学校体育施設開放の推進	10.8%	42.5%	29.8%	16.9%	46.7%	8.8%	34.4%	37.6%	19.2%	56.8%	76.9 p	67.4 p	36.1 p	103.5 p
セ) スポーツ医・科学センターの整備	9.8%	38.3%	34.0%	17.9%	51.9%	6.4%	25.6%	44.0%	24.0%	68.0%	63.9 p	78.0 p	41.9 p	119.9 p
ソ) スポーツ情報ネットワークの整備・充実	10.6%	39.7%	35.2%	14.5%	49.7%	7.2%	27.2%	47.2%	18.4%	65.6%	66.9 p	82.4 p	32.9 p	115.3 p
タ) 会議室・宿泊施設等を有したスポーツセンターの整備	9.2%	30.8%	35.7%	24.2%	59.9%	4.0%	10.4%	34.4%	51.2%	85.6%	41.2 p	70.1 p	75.4 p	145.5 p

※回答数/回収数で割合を示した。  
※数値は小数第1位を四捨五入して表示

3割が回答

期待する+大いに期待する  
=6割が回答

選手割合+指導者割合  
=P(ポイント)  
(120P以上を白抜き、60P以上を網掛けで表示)

調査結果概要	<p>競技選手は、 「新たな施設の整備」「既存施設の整備・有効活用」「練習・合宿等に対する資金面での支援」「スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み」に対して「期待する」「大いに期待する」と併せて6割以上が回答した。 一方で、それ以外の項目に「新たな施設の整備」をふくめて3割以上が「現状でよい」と回答した。 最も多く「期待する、大いに期待する」と回答された項目は「練習・合宿等に対する資金面での支援」77.4%であった。</p>
	<p>競技指導者は、 「学校体育施設開放の推進」を除く項目に対して「期待する」「大いに期待する」と併せて6割以上が回答した。 最も多く「期待する、大いに期待する」と回答された項目は「練習・合宿等に対する資金面での支援」97.6%で、次いで「スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み」90.4%であった。</p>
	<p>競技選手、競技指導者の割合を合わせてポイントとして算出すると120ポイント(6割回答+6割回答)を超える項目は、「新たな施設の整備」「既存施設の整備・有効活用」「施設利用料の軽減化」「練習合宿等に対する資金面での支援」「指導者の養成・派遣」「各市町村のスポーツ振興の促進」「スポーツ人口拡大のための積極的な取り組み」「総合型地域スポーツクラブの育成」「会議室・宿泊施設等を有したスポーツセンターの整備」であった。</p>
考察	<p>競技選手における県への期待は「現状でよい」「期待する」が多く、競技指導者では「期待する」「大いに期待する」が多い。 競技力を高めるために、競技選手は手探りで活動している場合が多く、指導者を信じ、現状でできることを精一杯行っている現状であろう。より高い成績を上げるためにも最も効率のよい道筋について見通しを持ちにくく、年齢層が低い場合や、競技会ステージが低い場合は他県の状況と比べることも難しい。 一方で競技指導者は、自身の経験や研究・研修等により、競技力向上のための効率的な手段・方法を知っていると同時に競技普及・振興という責務も感じているところである。そのため現状において足りないところや改善のための方法についてアイデアを持っていると考えられる。 競技指導者、競技選手が期待することへ応えることは競技力向上並びにスポーツの振興が大いに期待できるものである。</p>

選手競技歴	県大会で上位入賞(1~4位)したことがある	関東大会で入賞(1~8位)したことがある	全国大会で入賞(1~8位)したことがある	日本代表選手として国際試合に出場したことがある	その他#2	未回答
	220	131	134	34	44	11

指導者競技歴・指導歴	選手として活動したことはない	中学まで選手として活動した	高校まで選手として活動した	大学まで選手として活動した	社会人の選手として活動した	実業団の選手として活動した	日本代表選手として活動した	指導した選手・チームが県大会で上位入賞(1~4)	指導した選手・チームが関東・全国大会で入賞(1~)	指導した選手・チームが日本代表に選ばれた	日本代表の監督・コーチを務めた	その他
	14	3	9	19	52	8	21	33	58	19	10	6

# 県民のスポーツに関する意識・活動調査（体育指導委員用）

～ 健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現を目指して ～

## 1 調査の目的

本県のスポーツ活動・意識の現状を把握し、スポーツ振興における課題とその対応方策を検討する資料とします。

## 2 調査項目

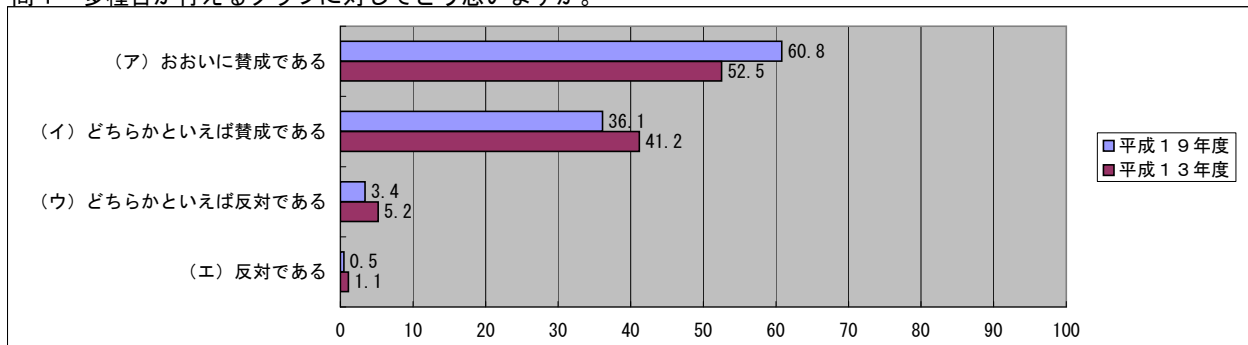
- (1) 総合型地域スポーツクラブに関する意識について
- (2) 運動・スポーツの今後の意向について
- (3) 地域社会におけるスポーツに関する意識・活動について
- (4) 本県の競技力の向上について
- (5) スポーツイベントの誘致開催
- (6) スポーツ施設とスポーツ振興についての要望

## 3 調査対象

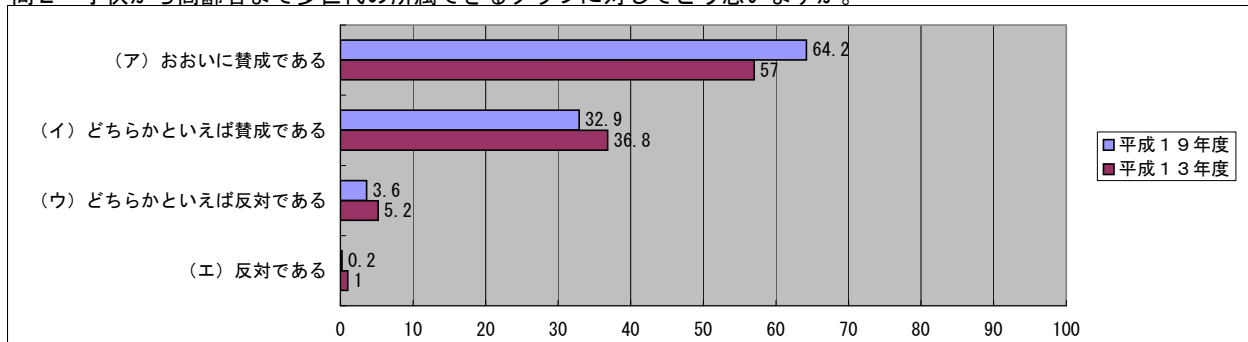
市町村体育指導委員 732名

回答数 441名

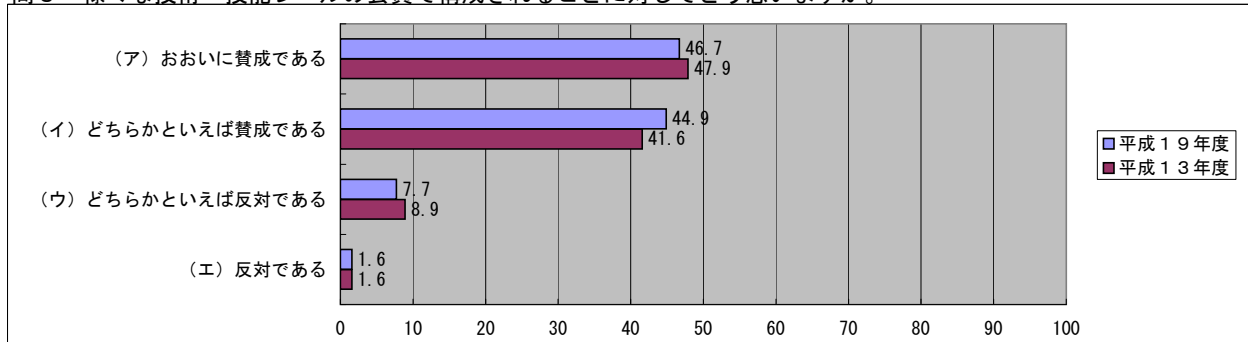
### 問1 多種目が行えるクラブに対してどう思いますか。



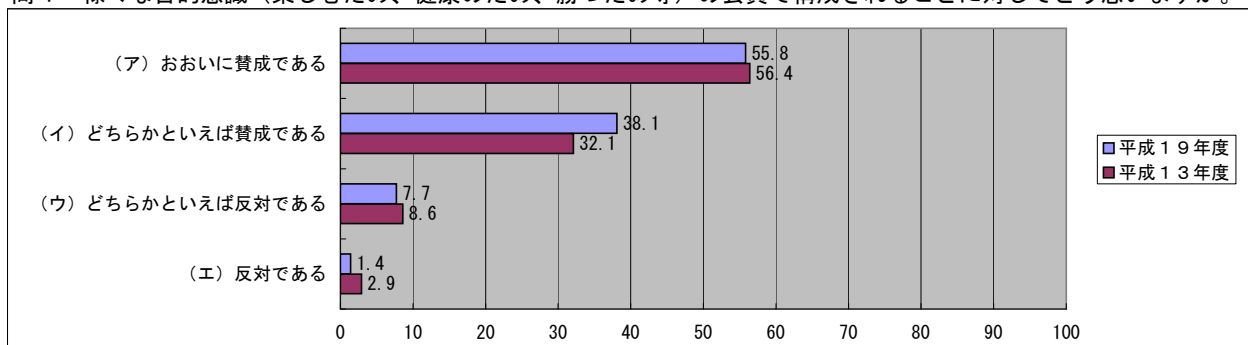
### 問2 子供から高齢者まで多世代の所属できるクラブに対してどう思いますか。



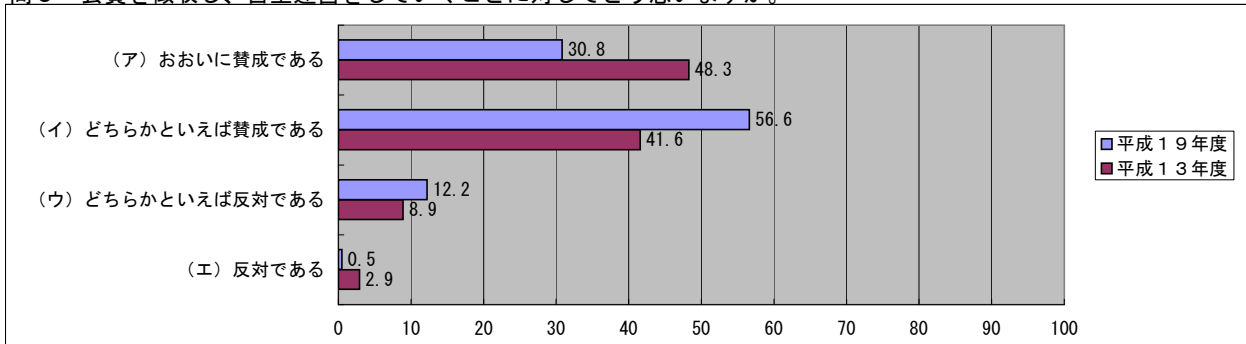
### 問3 様々な技術・技能レベルの会員で構成されることに対してどう思いますか。



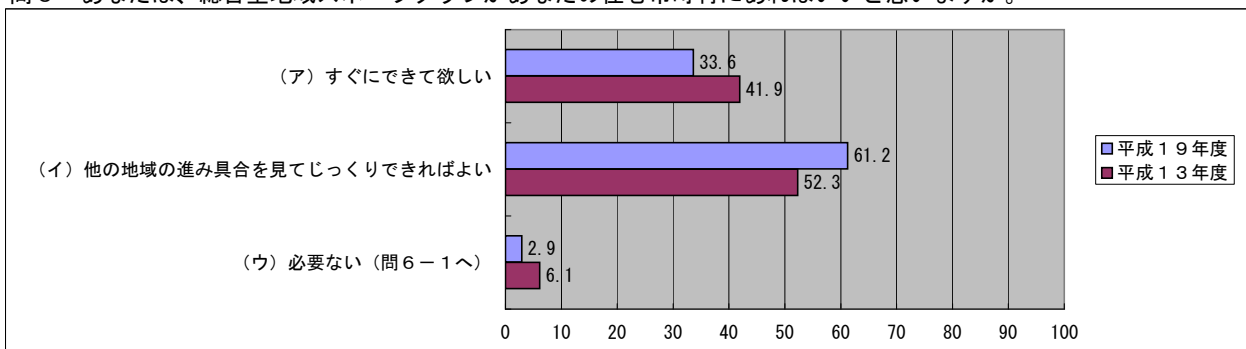
### 問4 様々な目的意識（楽しむため、健康のため、勝つため等）の会員で構成されることに対してどう思いますか。



問5 会費を徴収し、自主運営をしていくことに対してどう思いますか。

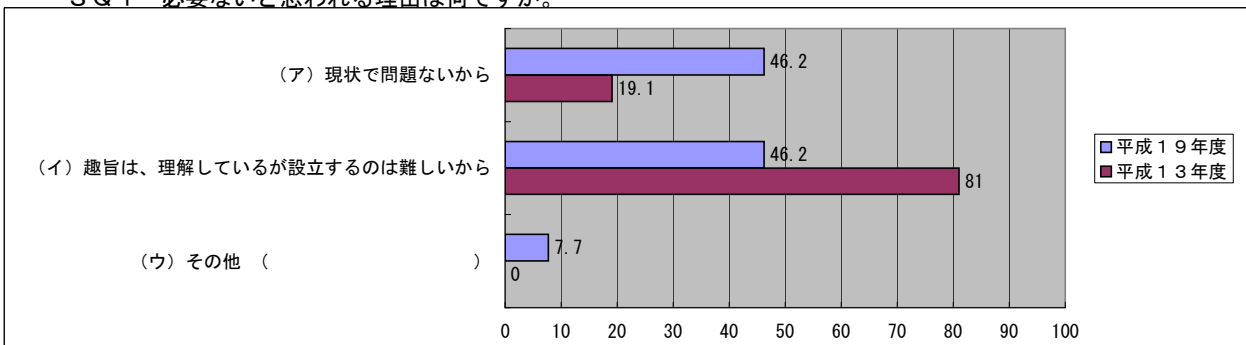


問6 あなたは、総合型地域スポーツクラブがあなたの住む市町村にあればいいと思いますか。

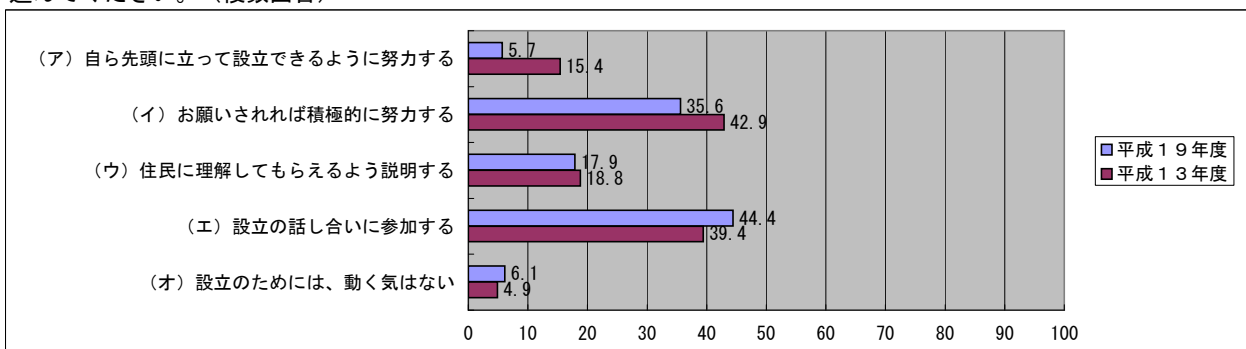


\* 問6で「必要ない」と答えた人のみSQ1に教えてください。

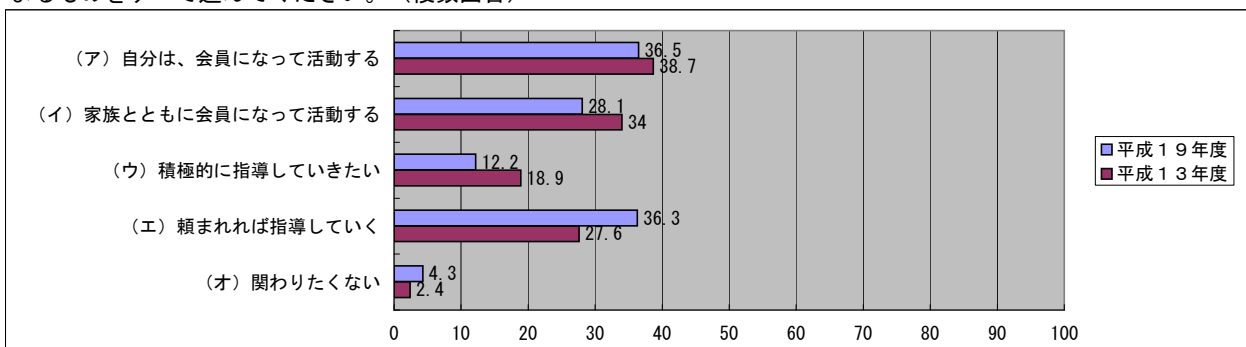
SQ1 必要ないと思われる理由は何ですか。



問7 あなたは、総合型地域スポーツクラブの設立に関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

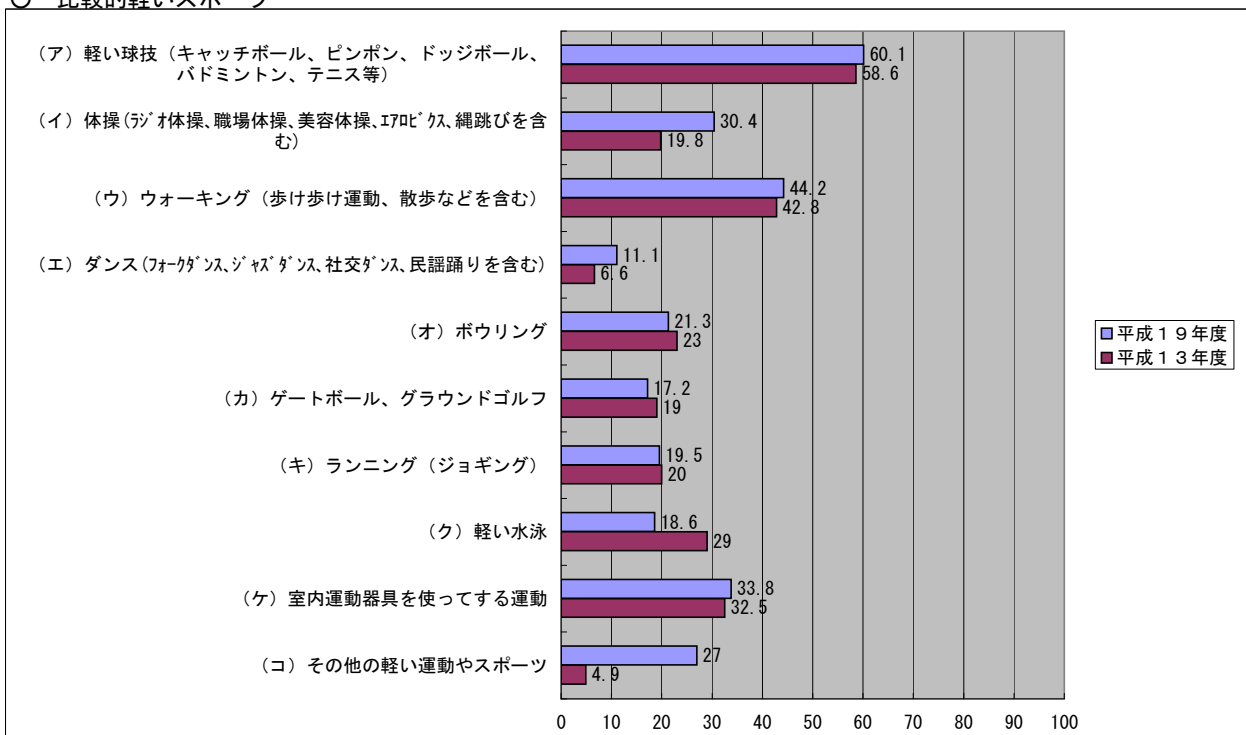


問8 総合型地域スポーツクラブが設立されたら、あなたはどのように関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

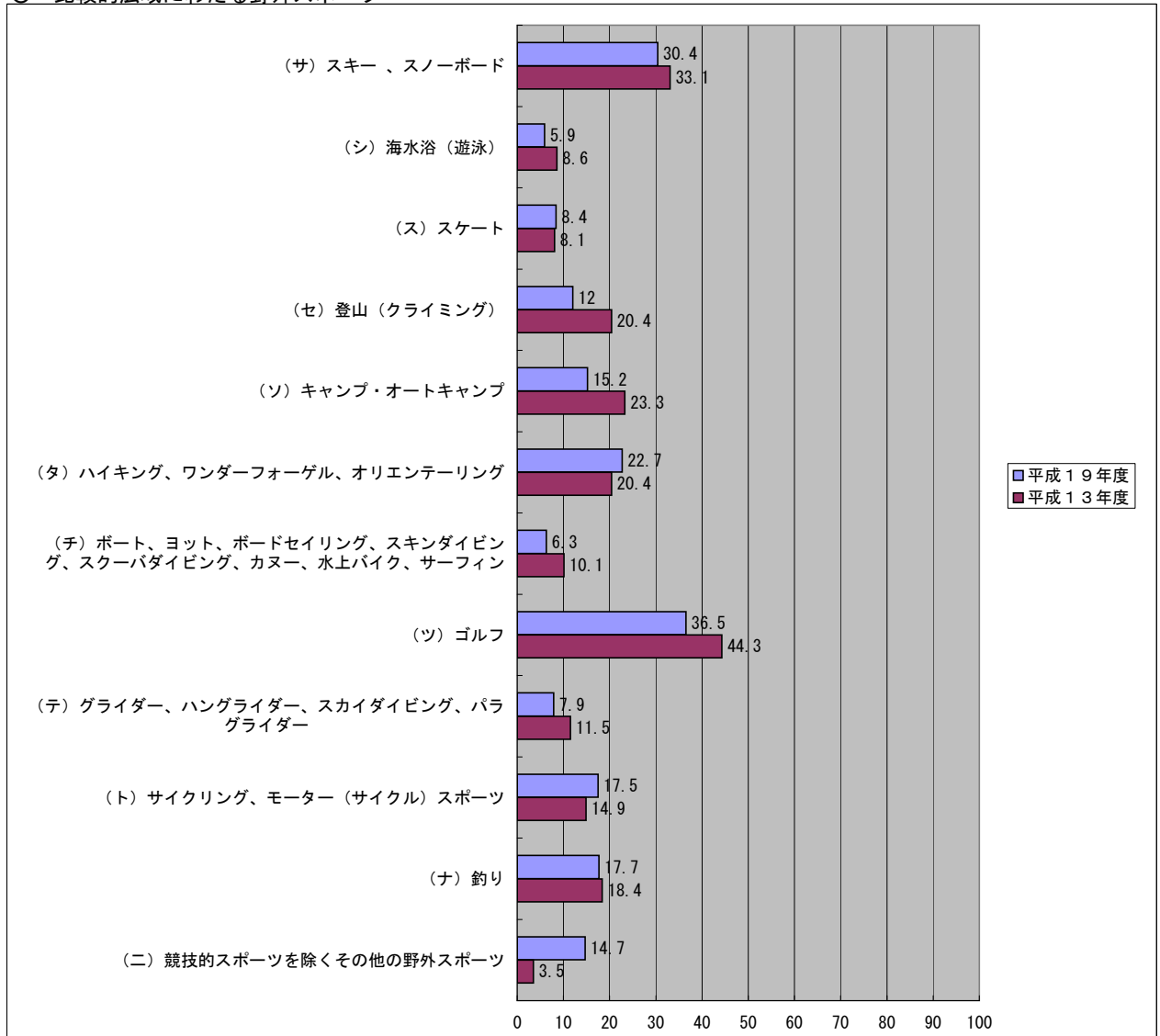


問9 あなたは、現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思う運動やスポーツがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

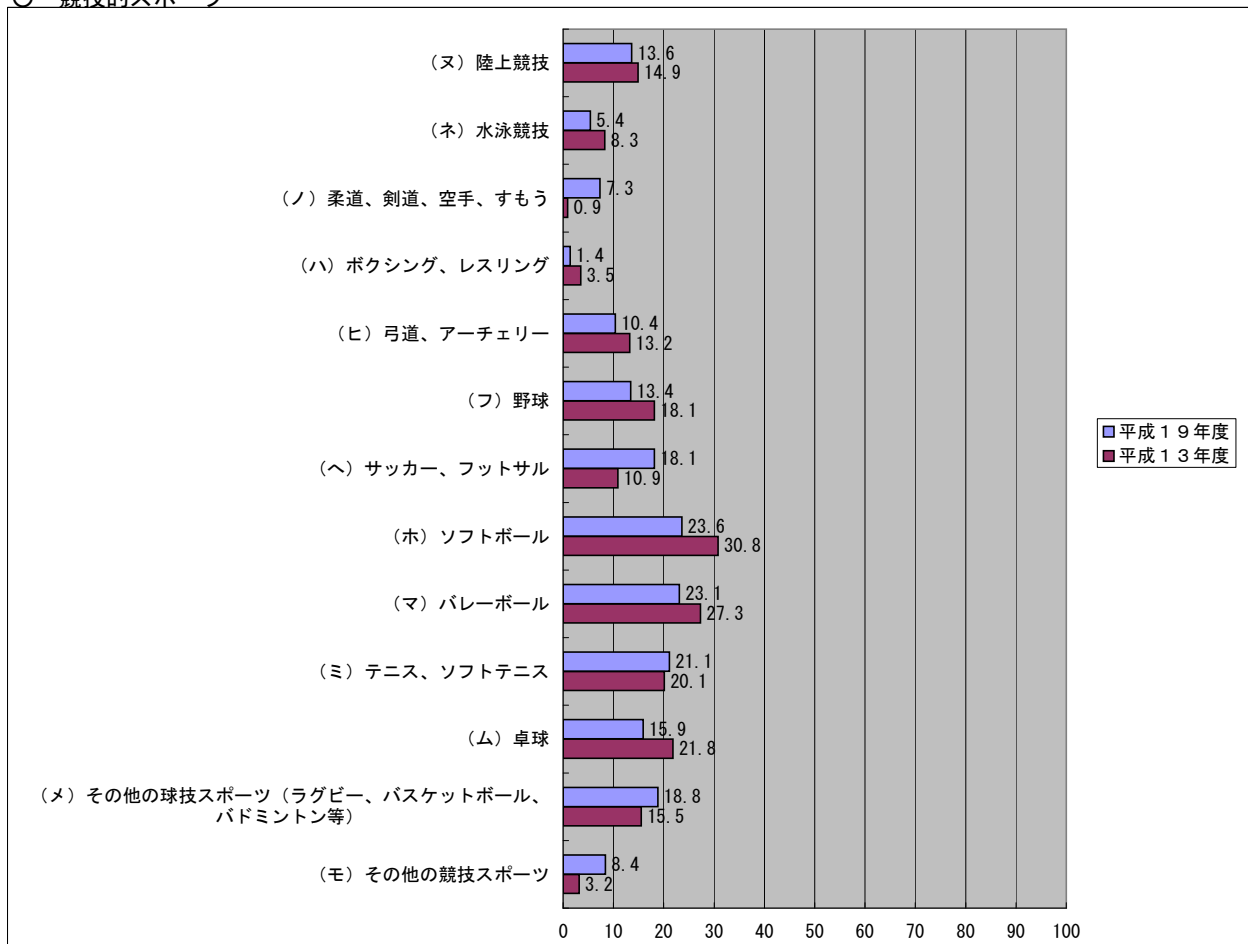
○ 比較的軽いスポーツ



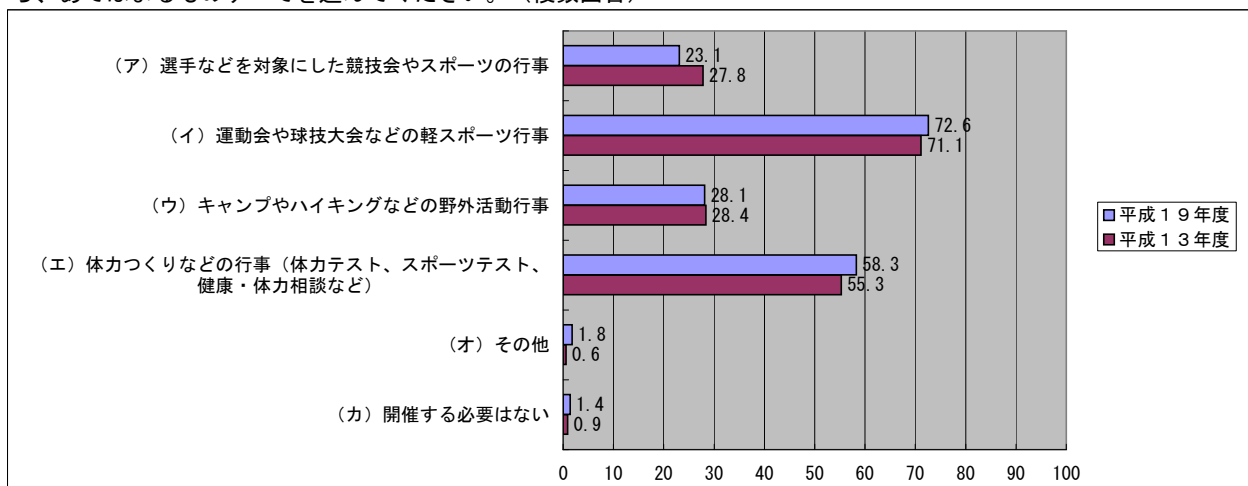
○ 比較的広域にわたる野外スポーツ



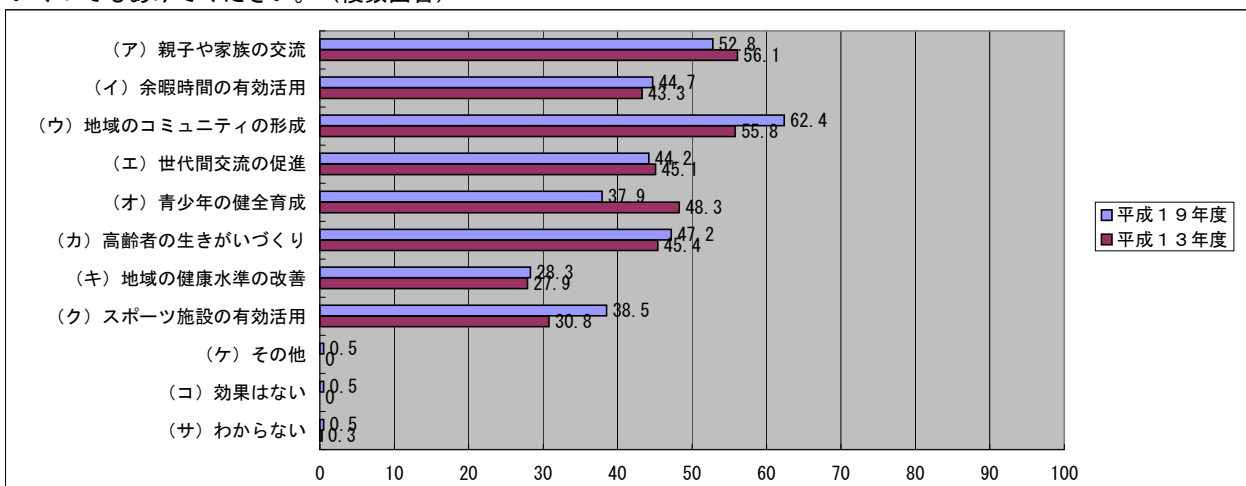
○ 競技的スポーツ



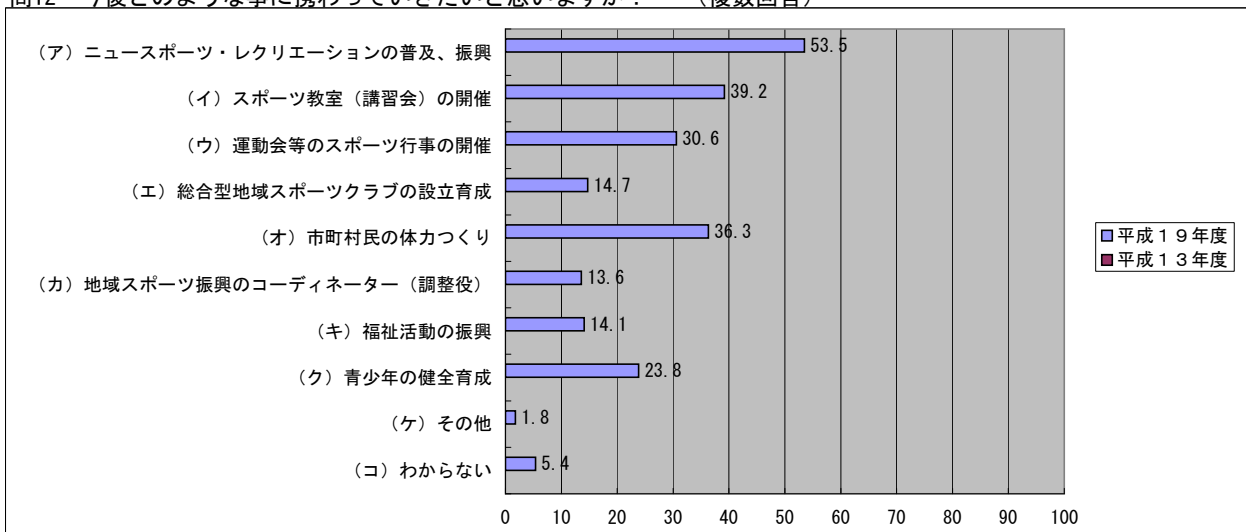
問10 あなたは、地域や地区のスポーツ行事が開催される場合、どのような行事が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものすべてを選んでください。(複数回答)



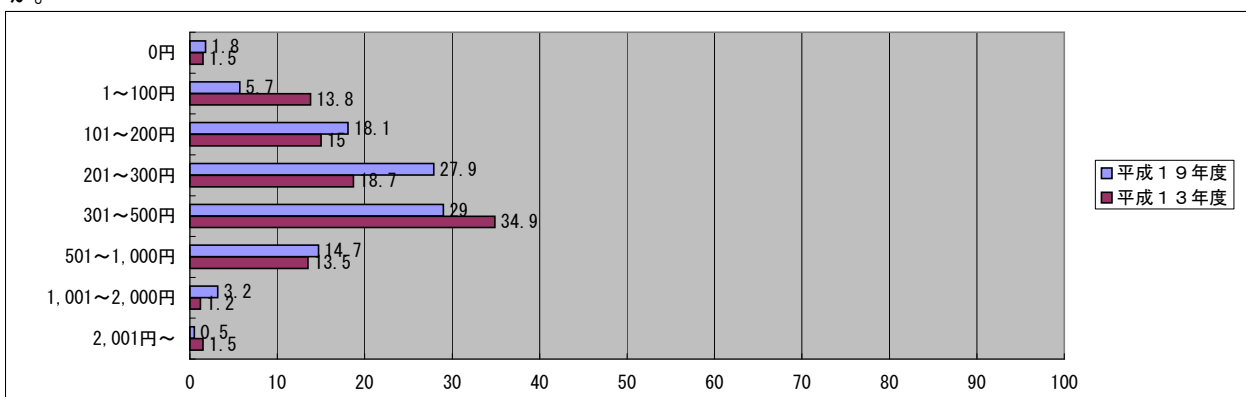
問11 あなたは、地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。次の中からあてはまるものをすべていくつでもあげてください。（複数回答）



問12 今後どのような事に携わっていきたいと思いますか？（複数回答）

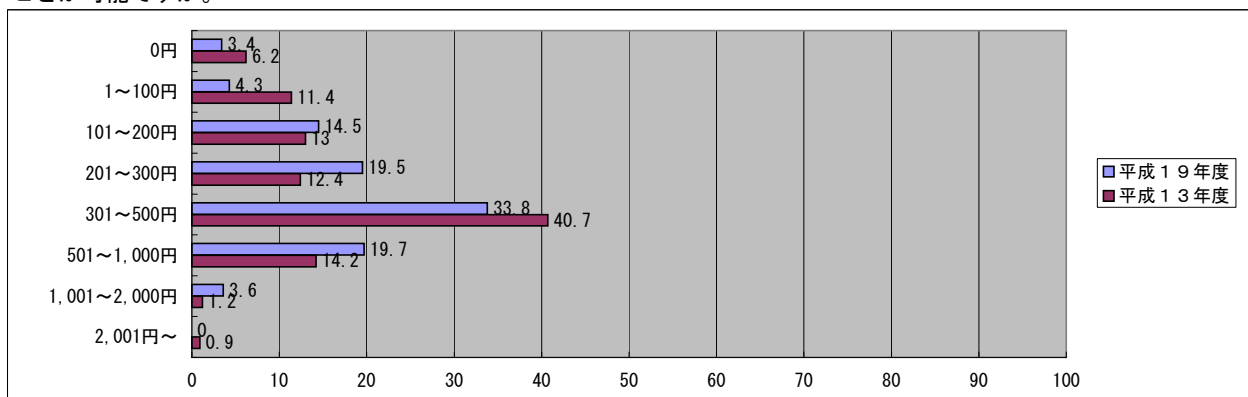


問13 あなたが、スポーツ施設を日常利用する場合、個人として1回あたりどの程度費用を負担することが可能ですか。



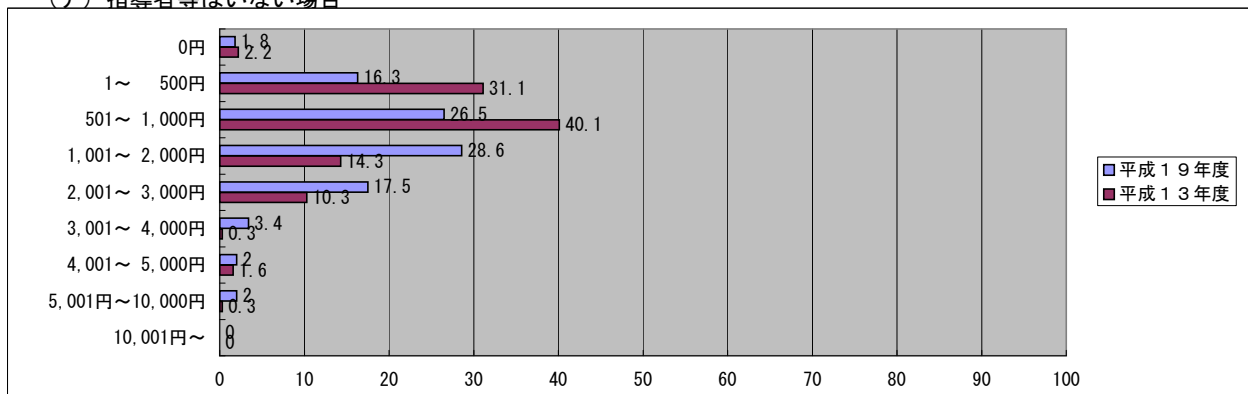


問14 あなたは、地域で行われるスポーツ教室に参加する場合、個人として1回あたり、どの程度、費用を負担することが可能ですか。

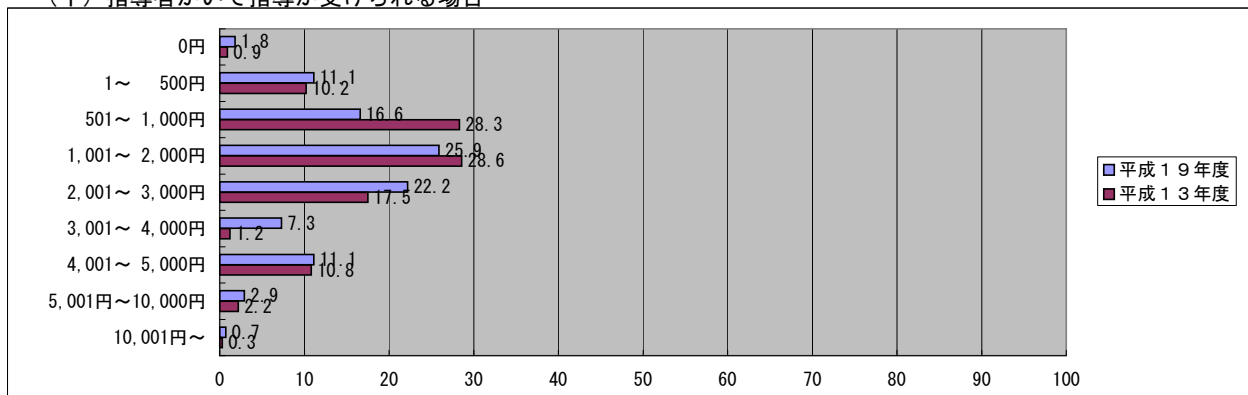


問15 あなたの地域に、総合型地域スポーツクラブがあったら、個人の月会費としてどの程度費用を負担することが可能ですか。

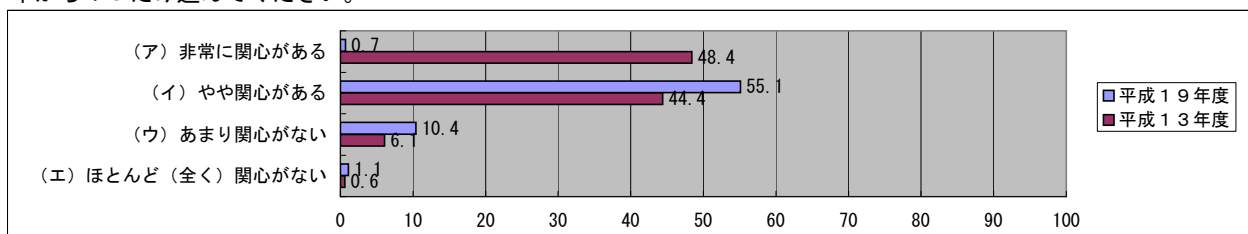
(ア) 指導者等はいない場合



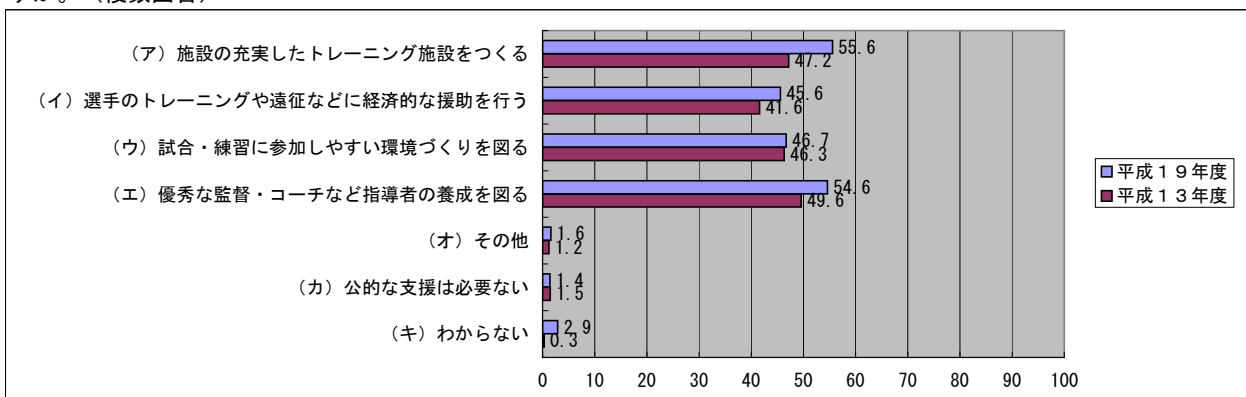
(イ) 指導者がいて指導が受けられる場合



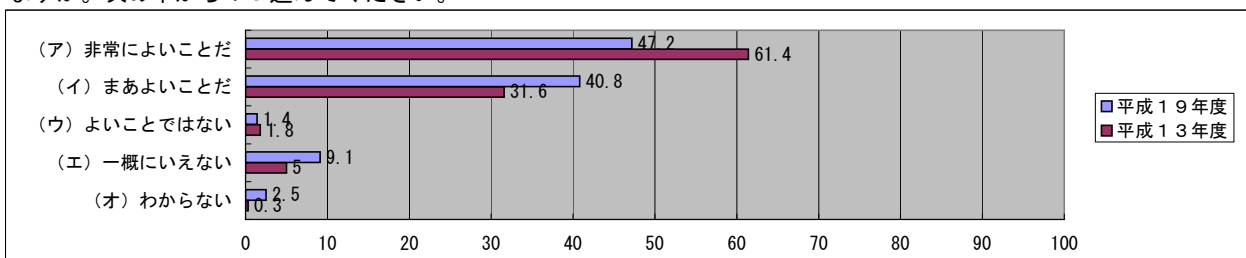
問16 あなたは、スポーツの国際大会や全国大会での、山梨県選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



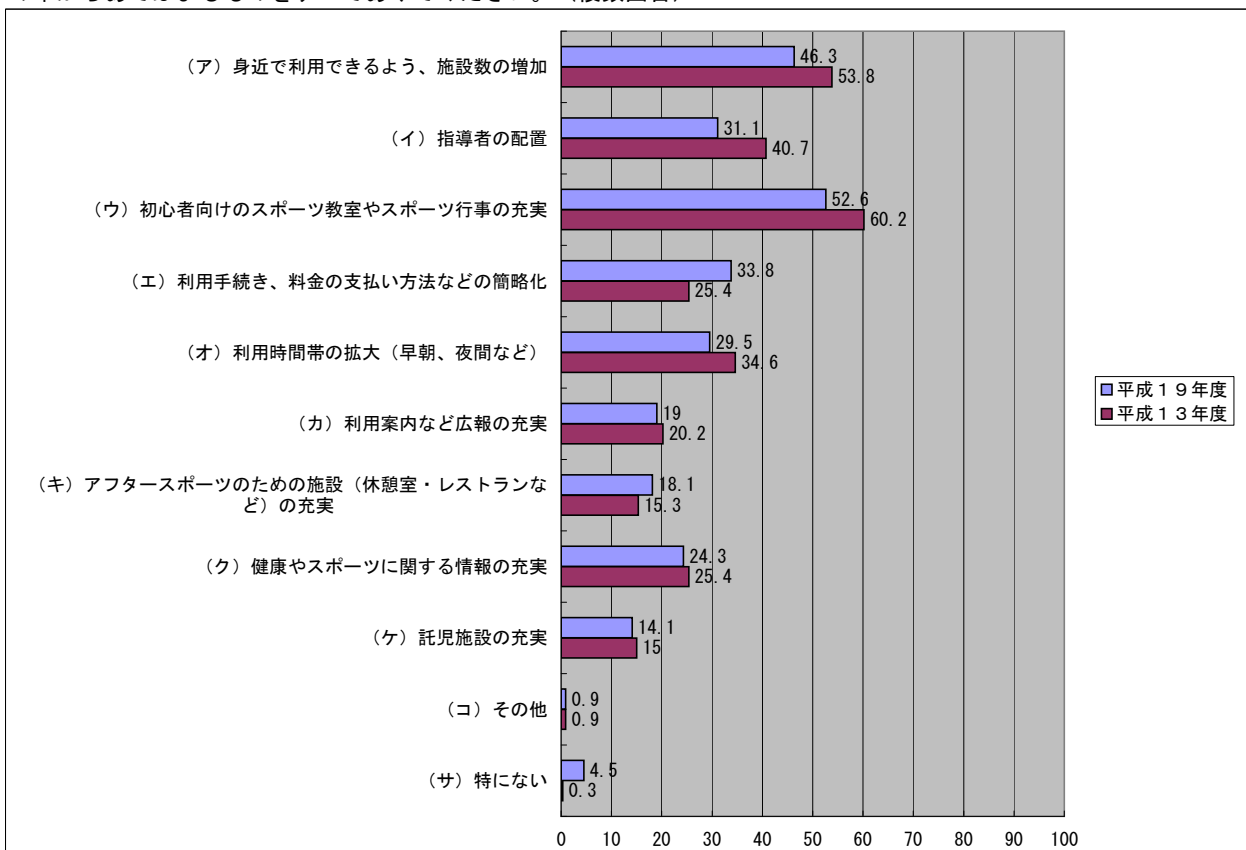
問17 あなたは、山梨県選手が国際大会や全国大会などで活躍するためには、どのような公的支援が必要だと思いますか。（複数回答）



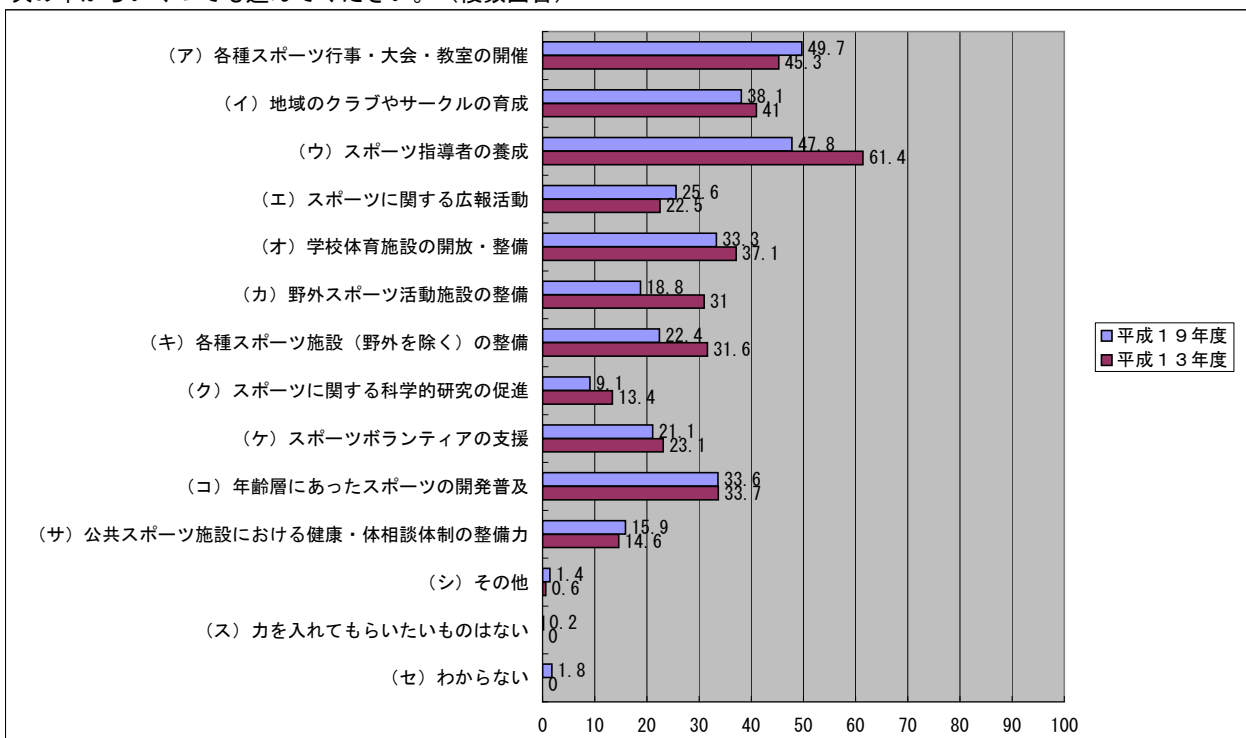
問18 あなたは、山梨県が公的支援をして、スポーツの国際大会や全国大会を誘致・開催することについてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。



問19 あなたは、体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。次の中からあてはまるものをすべてあげてください。（複数回答）



問20 山梨県のスポーツをもっと振興させるためには、県や市町村は今後どのようなことに力をいれるべきですか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答）



これからの質問は、調査結果を集計して分析するために必要ですので、全員の方が続けてお答えください。

1 あなたの性別は	
(ア) 男	63.5
(イ) 女	36.5

2 あなたの年齢は	
(ア) 20～24歳	0.2
(イ) 25～29歳	3.2
(ウ) 30～34歳	2.5
(エ) 35～39歳	8.2
(オ) 40～44歳	12.2
(カ) 45～49歳	27.9
(キ) 50～54歳	24.5
(ク) 55～59歳	15.2
(ケ) 60～64歳	5
(コ) 65～69歳	1.1
(サ) 70歳以上	0

3 あなたは職業（パートを含む）をお持ちですか。次のように分けると、どれにあたりますか。該当するもの1つを選んでください。	
(ア) 農林漁業者	4.8
(イ) 自営業者	16.1
(ウ) 販売職・サービス職	10
(エ) 技能職・作業職	17
(オ) 事務職・技術職	20.6
(カ) 経営者・管理職	4.8
(キ) 専門職・自由業・その他	9.3
(ク) 家庭婦人	5.7
(ケ) 学生	0
(コ) 無職	2.7
(サ) 無答	9

# 県民のスポーツに関する意識・活動調査(レクリエーション協会役員)

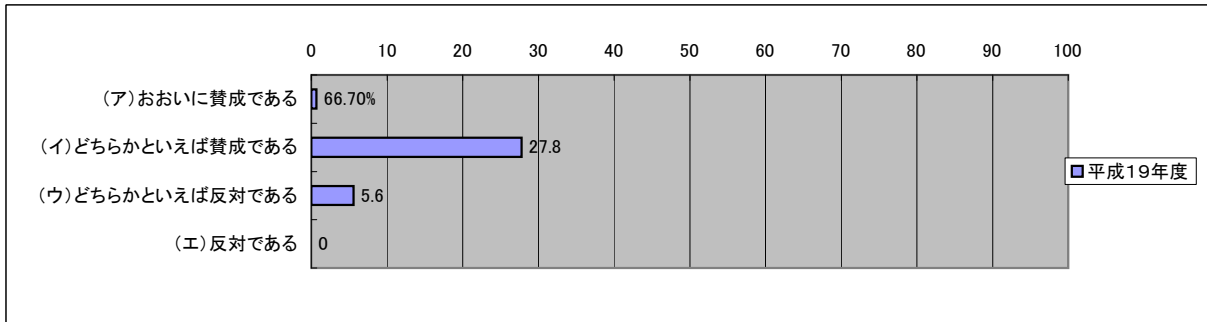
※ 地域におけるスポーツクラブ(サークル)の形態についてお尋ねします。

国のスポーツ振興基本計画の政策目標である「子どもから高齢者・障害者までだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツ活動に参加できる地域社会づくり」の実現のために期待される「総合型地域スポーツクラブ」について、現在、山梨県及び市町村で育成を進めているところです。

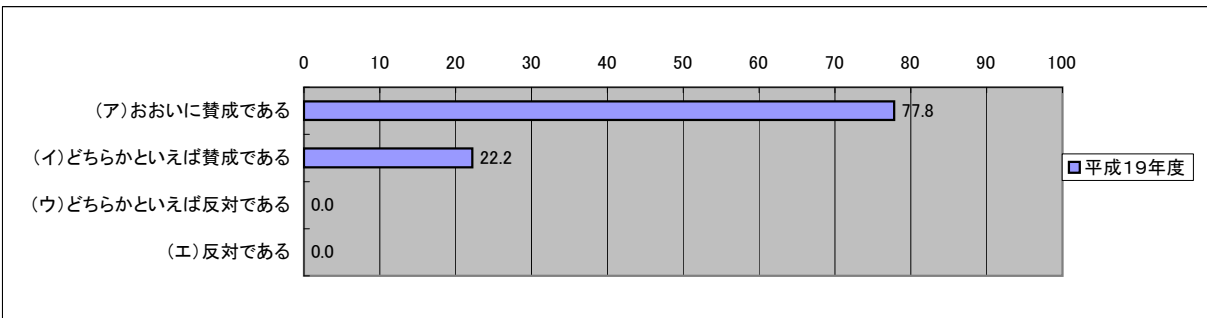
総合型地域スポーツクラブには次のような特徴があります。

- ① ひとつのスポーツ種目だけでなく、複数の種目を行うことができる。
- ② 青少年から高齢者まで、いろいろな世代間の交流ができる。
- ③ 初心者から上級者まで様々な技術・技能の保有者が所属できる。
- ④ 学校施設などを活用した、活動の拠点となるスポーツ施設やクラブハウス等があり、定期的、計画的にスポーツ活動の実施が可能となる。
- ⑤ 質の高いスポーツ指導者を配置し、個々の要望に応じた適切な指導が行われる。
- ⑥ 会費の徴収等により、会員の自主運営が原則として行われる

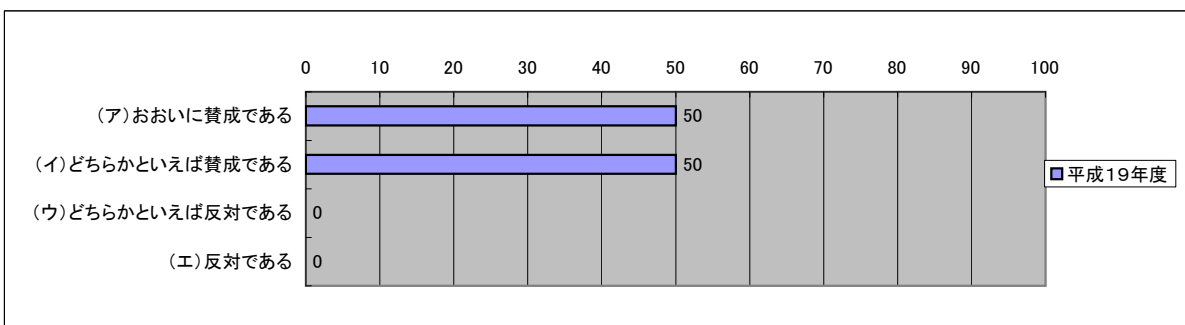
問1 多種目が行えるクラブに対してどう思いますか。



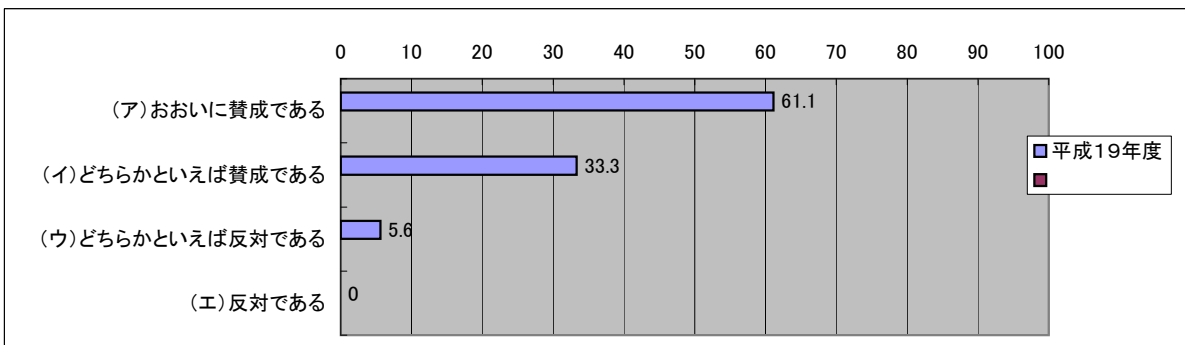
問2 子供から高齢者まで多世代の所属できるクラブに対してどう思いますか。



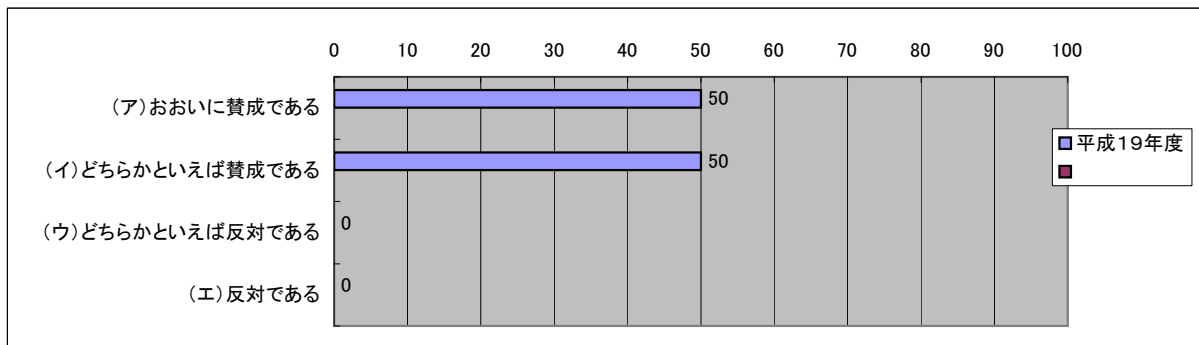
問3 様々な技術・技能レベルの会員で構成されることに対してどう思いますか。



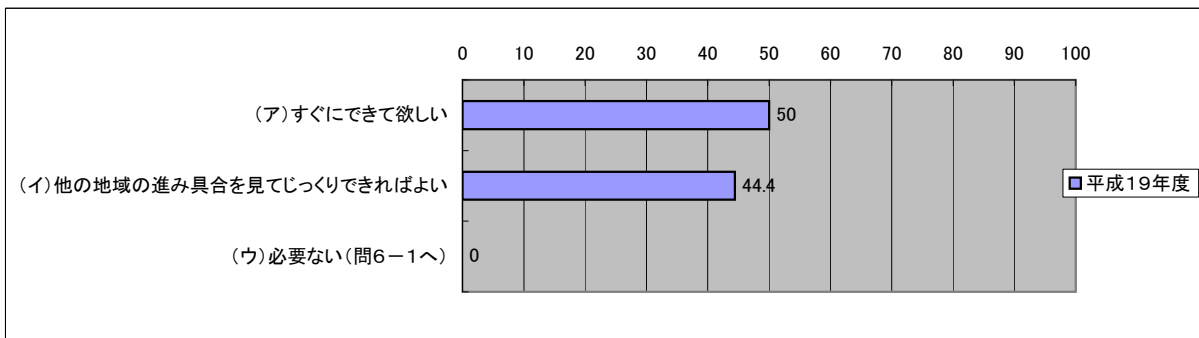
問4 様々な目的意識(楽しむため、健康のため、勝つため等)の会員で構成されることに対してどう思いますか。



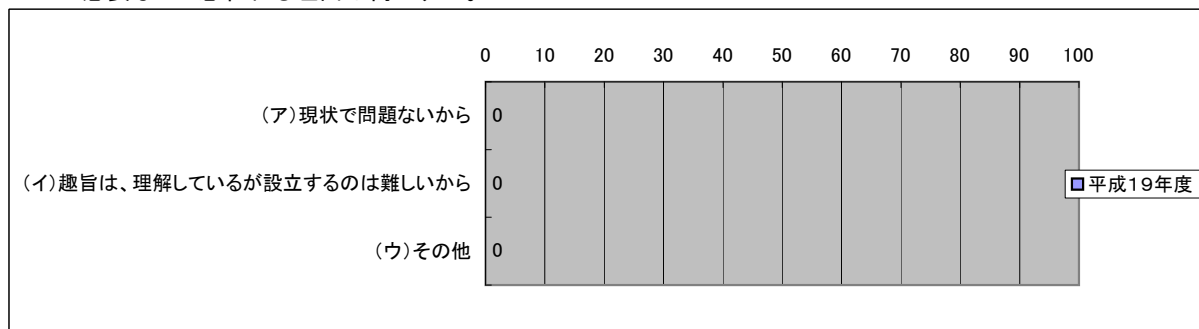
問5 会費を徴収し、自主運営をしていくことに対してどう思いますか。



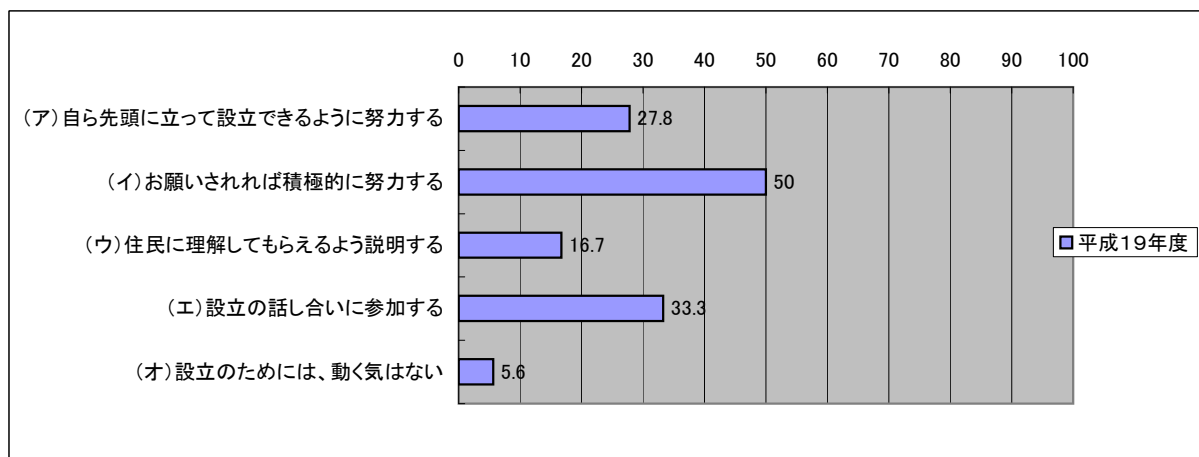
問6 あなたは、総合型地域スポーツクラブがあなたの住む市町村にあればいいと思いますか。



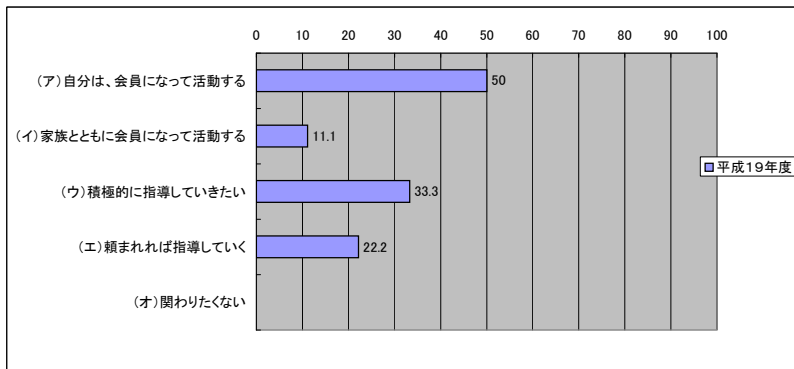
\* 問6で「必要ない」と答えた人のみSQ1に答えて下さい。  
SQ1 必要ないと思われる理由は何ですか。



問7 あなたは、総合型地域スポーツクラブの設立に関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

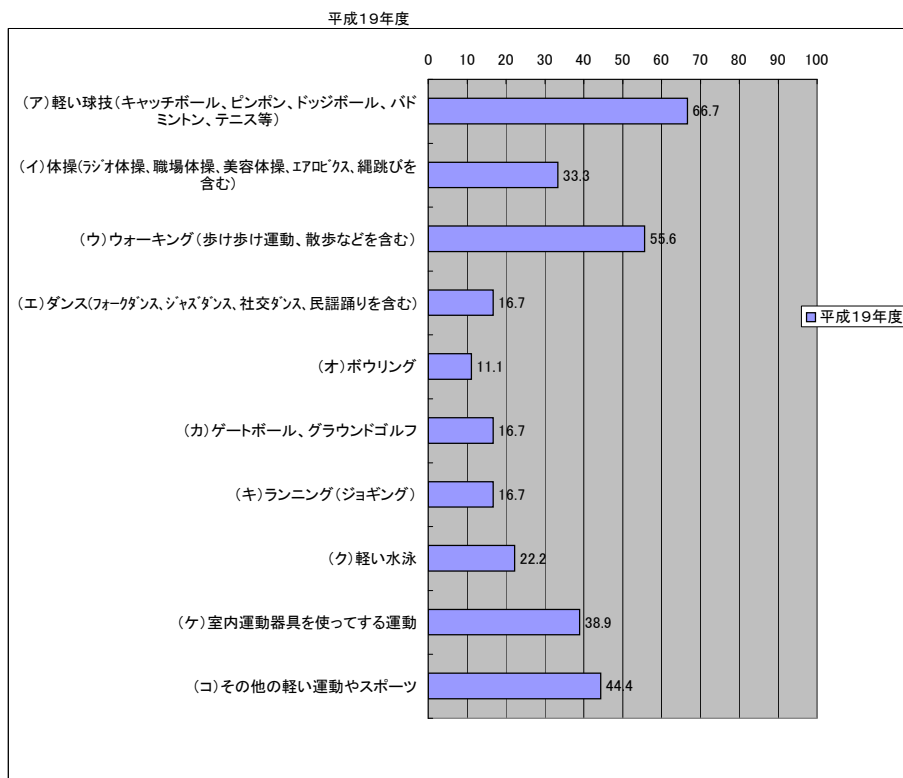


問8 総合型地域スポーツクラブが設立されたら、あなたはどのように関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

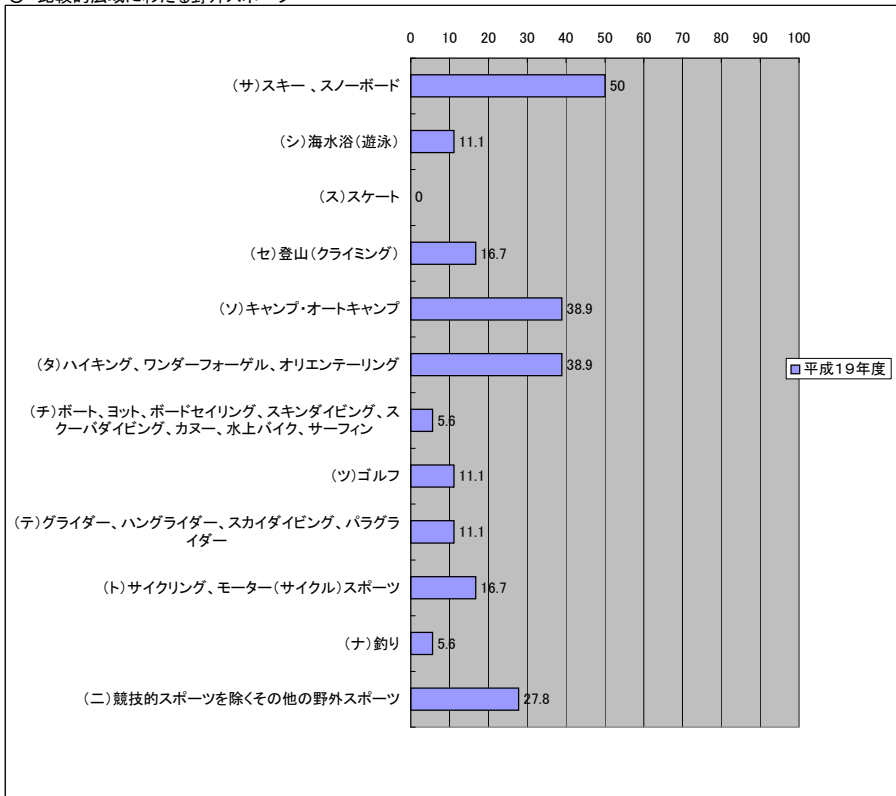


問9 あなたは、現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思う運動やスポーツがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

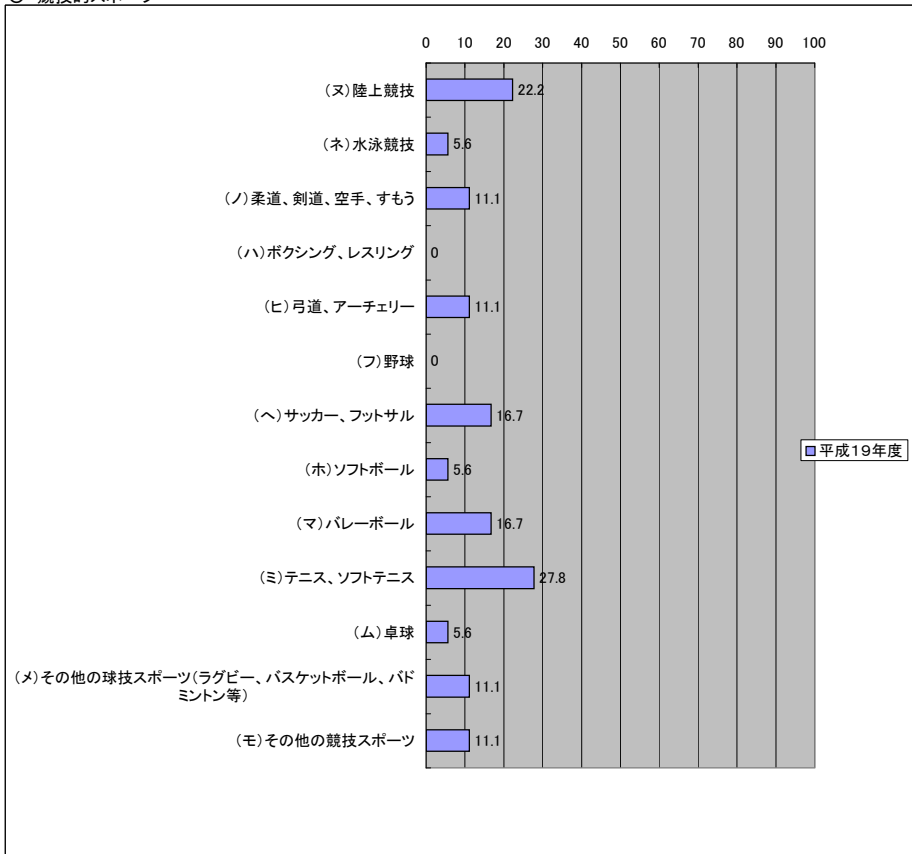
○ 比較的軽いスポーツ



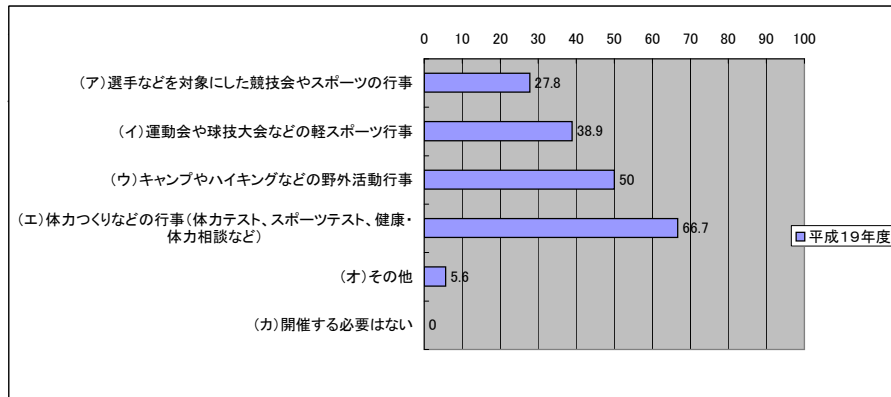
○ 比較的広域にわたる野外スポーツ



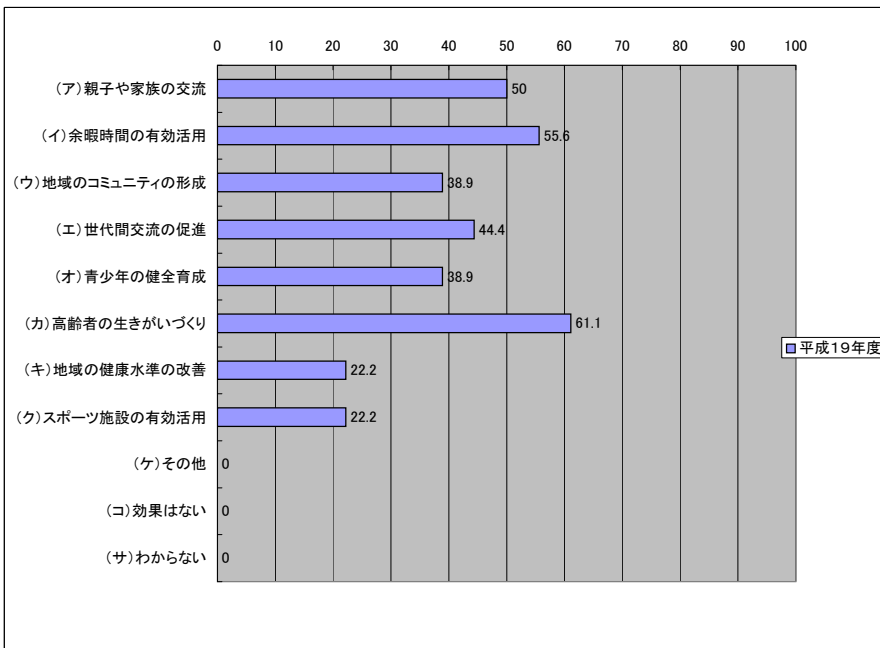
○ 競技的スポーツ



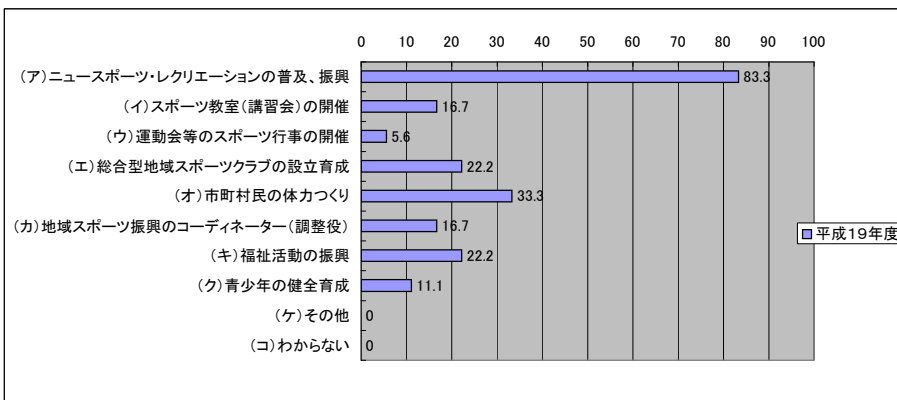
問10 あなたは、地域や地区のスポーツ行事が開催される場合、どのような行事が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものすべてを選んでください。(複数回答)



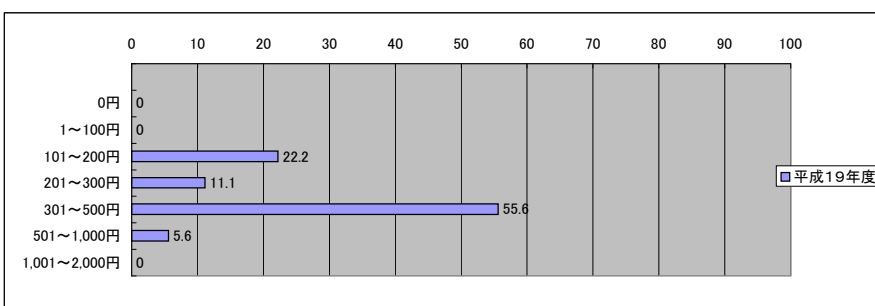
問11 あなたは、地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。次の中からあてはまるものをすべていくつでもあげてください。(複数回答)



問12 今後どのような事に携わっていきたいと思いますか？ (複数回答)

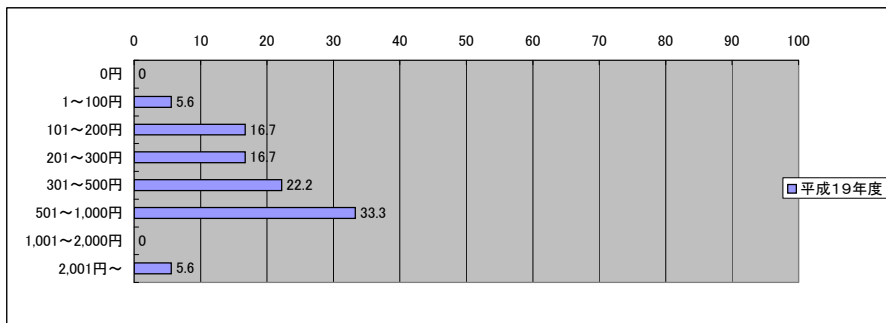


問13あなたが、スポーツ施設を日常利用する場合、個人として1回あたりどの程度費用を負担することが可能ですか。



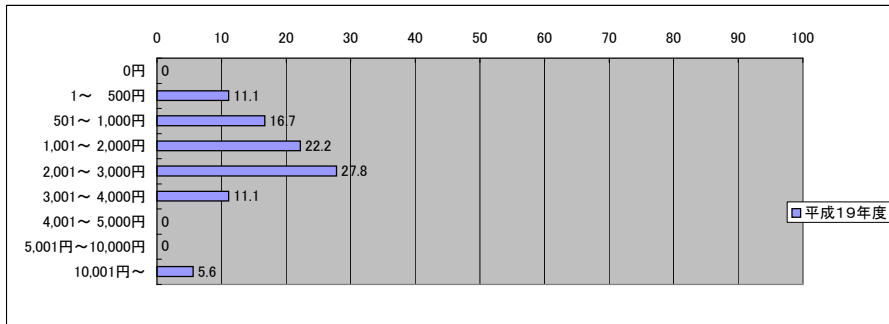


問14あなたは、地域で行われるスポーツ教室に参加する場合、個人として1回あたり、どの程度、費用を負担することが可能ですか。

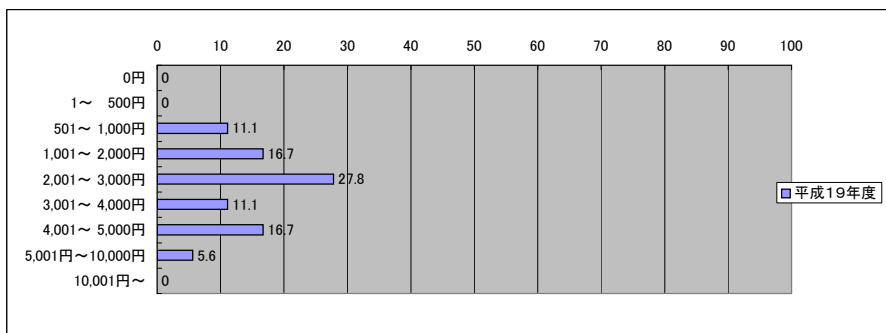


問15 あなたの地域に、総合型地域スポーツクラブがあったら、個人の月会費としてどの程度費用を負担することが可能ですか。

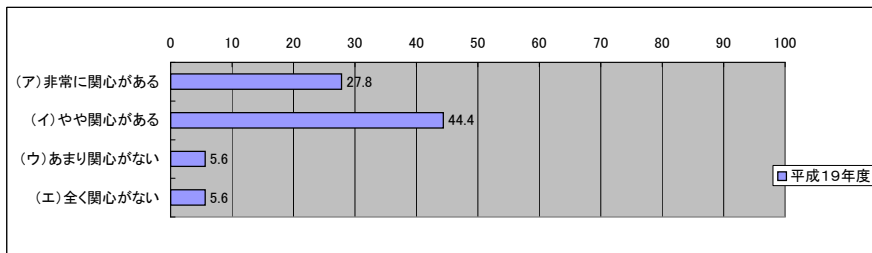
(ア) 指導者等はいない場合



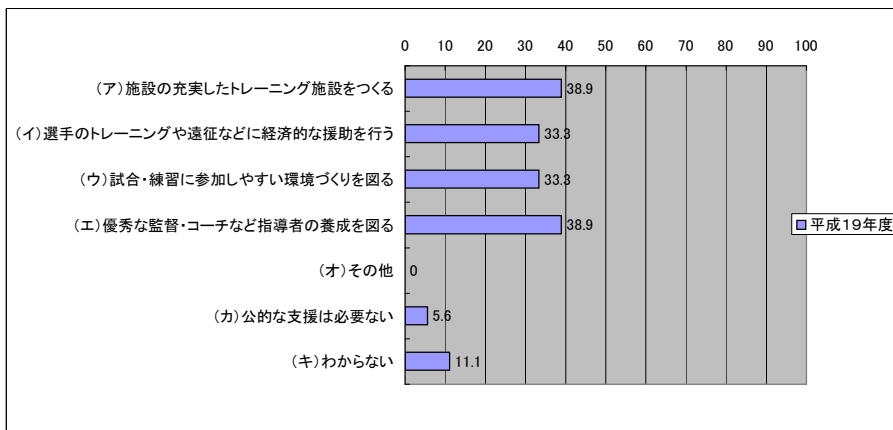
(イ) 指導者がいて指導が受けられる場合



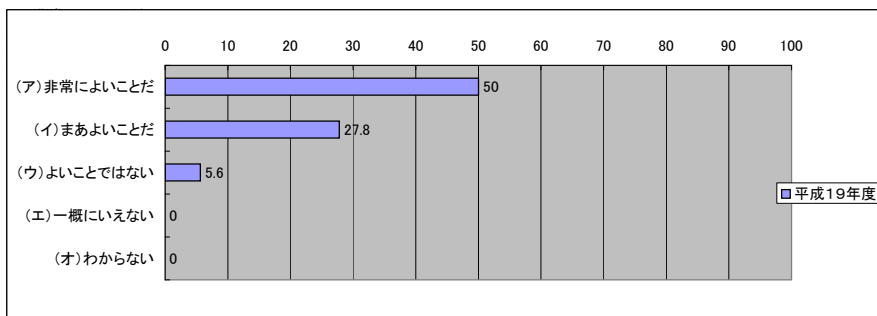
問16あなたは、スポーツの国際大会や全国大会での、山梨県選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



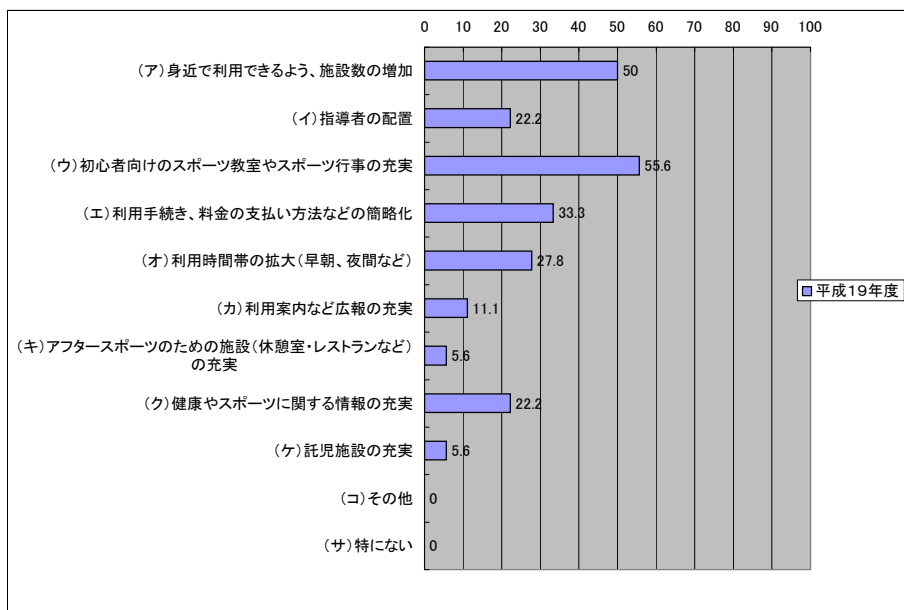
問17 あなたは、山梨県選手が国際大会や全国大会などで活躍するためには、どのような公的支援が必要だと思いますか。(複数回答)



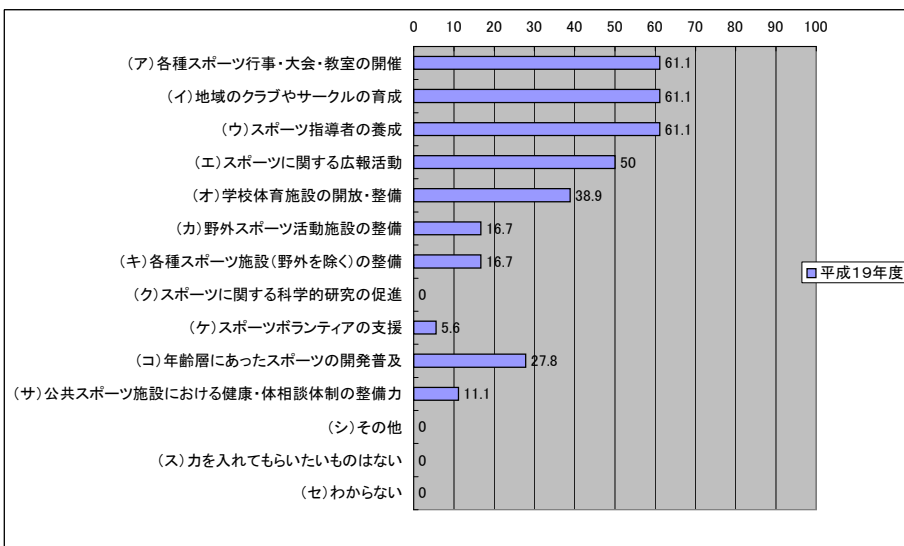
問18 あなたは、山梨県が公的支援をして、スポーツの国際大会や全国大会を誘致・開催することについてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。



問19 あなたは、体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。次の中からあてはまるものをすべてあげてください。(複数回答)

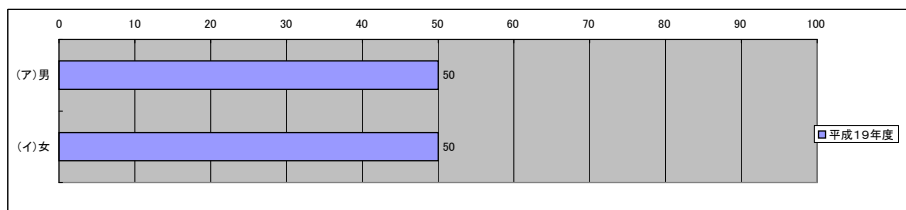


問20 山梨県のスポーツをもっと振興させるためには、県や市町村は今後どのようなことに力をいれるべきですか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答)

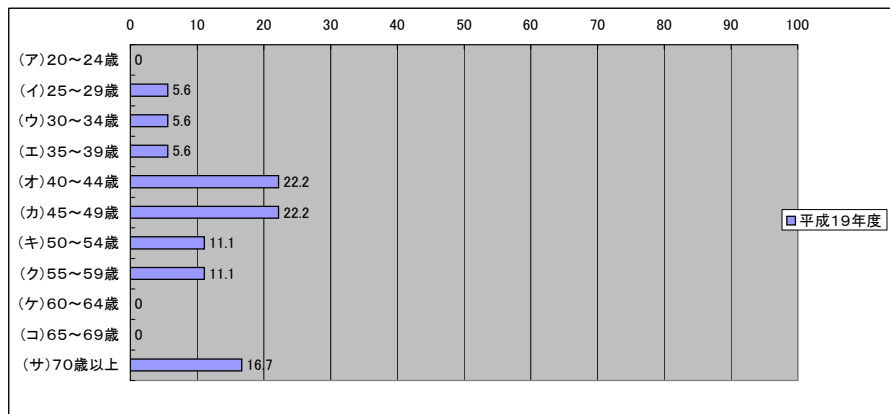


これからの質問は、調査結果を集計して分析するために必要ですので、全員お方が続けてお答えください。

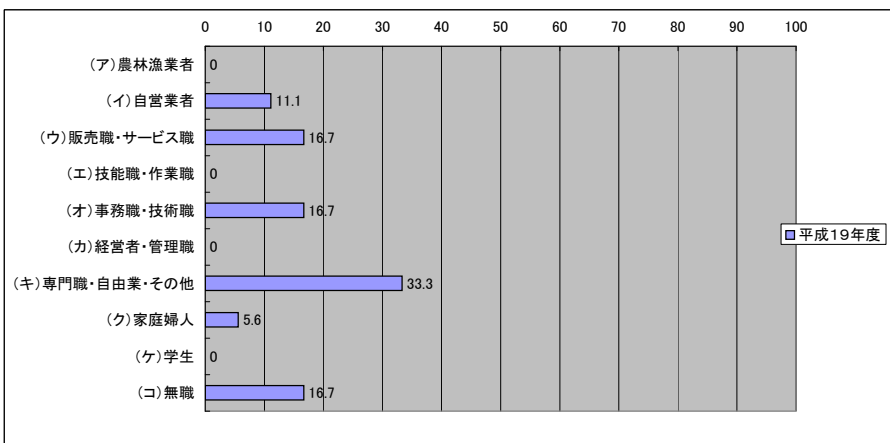
1 あなたの性別は



2 あなたの年齢は



4 あなたは職業(パートを含む)をお持ちですか。次のように分けると、どれにあたりますか。該当するもの1つを選んでください。



# 県民のスポーツに関する意識・活動調査(市町村体育協会関係者)

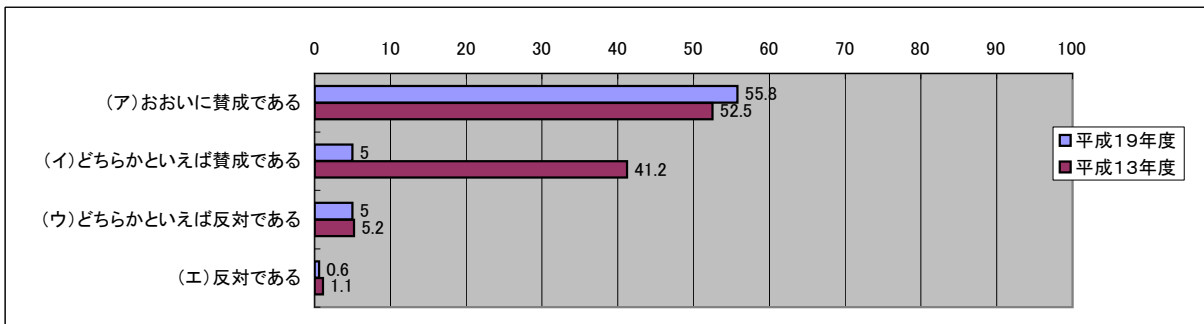
※ 地域におけるスポーツクラブ(サークル)の形態についてお尋ねします。

国のスポーツ振興基本計画の政策目標である「子どもから高齢者・障害者までだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツ活動に参加できる地域社会づくり」の実現のために期待される「総合型地域スポーツクラブ」について、現在、山梨県及び市町村で育成を進めているところです。

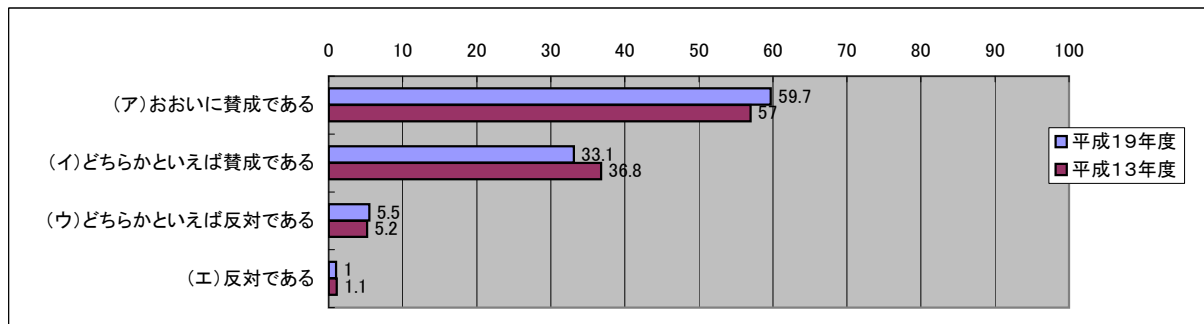
総合型地域スポーツクラブには次のような特徴があります。

- ① ひとつのスポーツ種目だけでなく、複数の種目を行うことができる。
- ② 青少年から高齢者まで、いろいろな世代間の交流ができる。
- ③ 初心者から上級者まで様々な技術・技能の保有者が所属できる。
- ④ 学校施設などを活用した、活動の拠点となるスポーツ施設やクラブハウス等があり、定期的、計画的にスポーツ活動の実施が可能となる。
- ⑤ 質の高いスポーツ指導者を配置し、個々の要望に応じた適切な指導が行われる。
- ⑥ 会費の徴収等により、会員の自主運営が原則として行われる

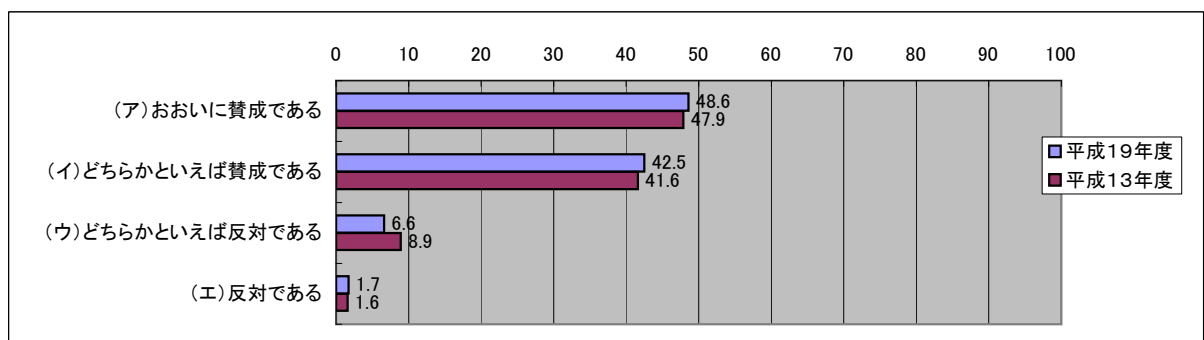
問1 多種目が行えるクラブに対してどう思いますか。



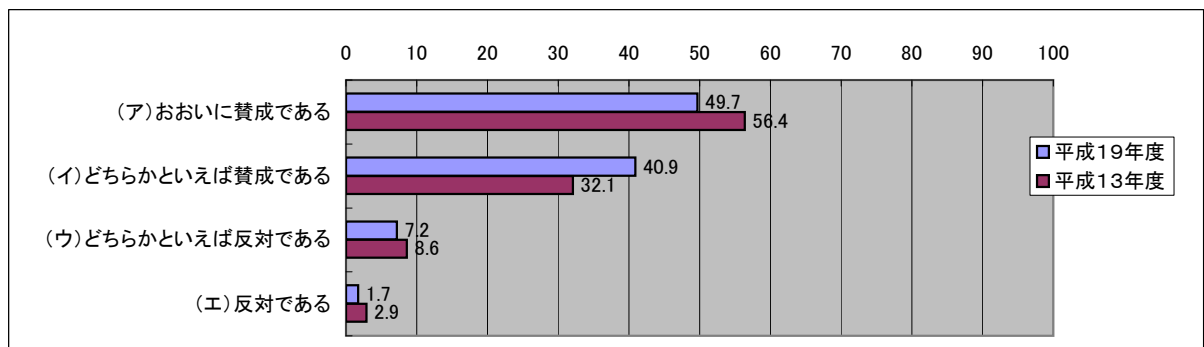
問2 子供から高齢者まで多世代の所属できるクラブに対してどう思いますか。



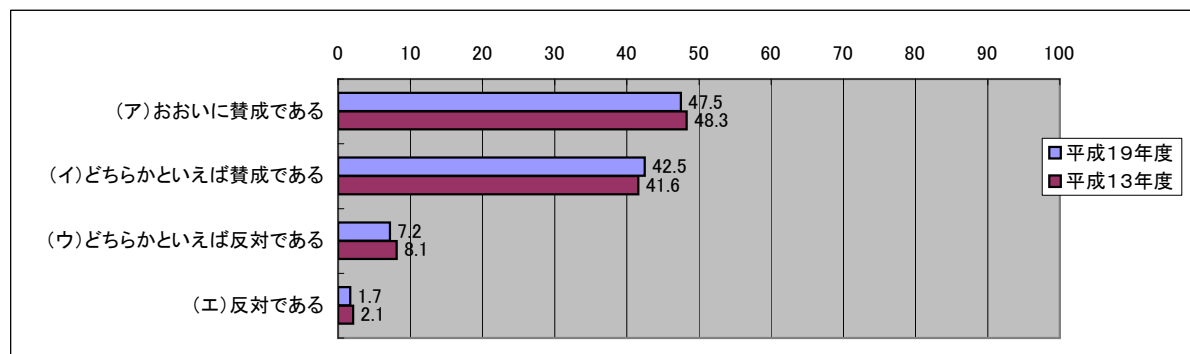
問3 様々な技術・技能レベルの会員で構成されることに対してどう思いますか。



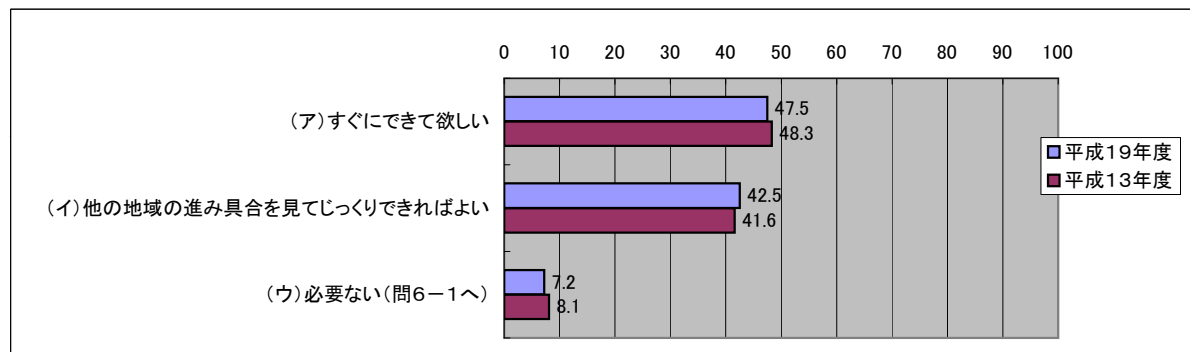
問4 様々な目的意識(楽しむため、健康のため、勝つため等)の会員で構成されることに対してどう思いますか。



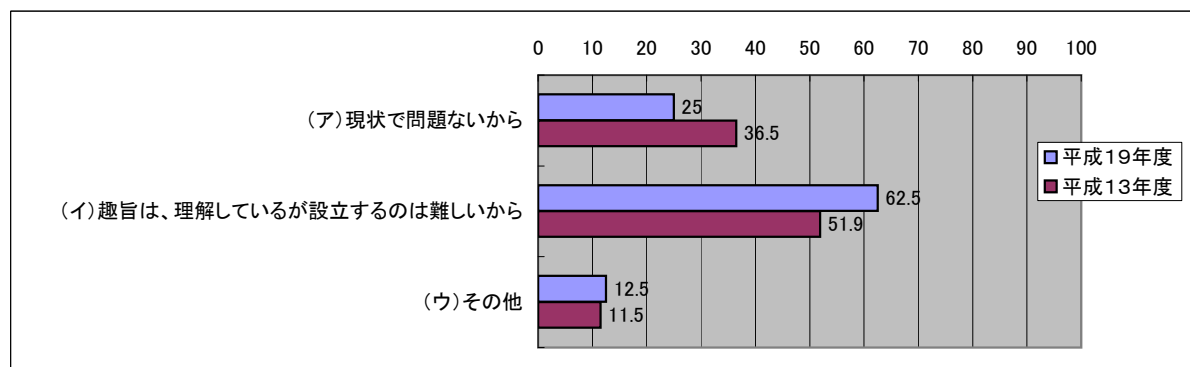
問5 会費を徴収し、自主運営をしていくことに対してどう思いますか。



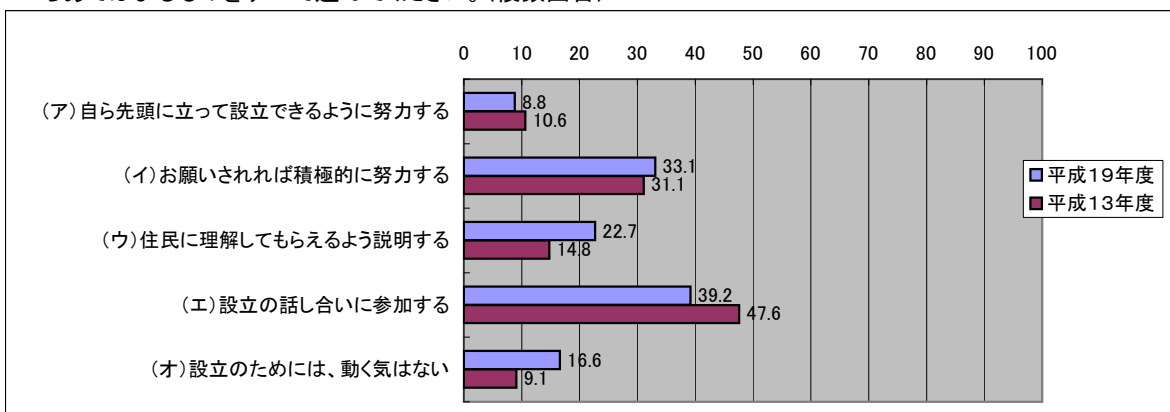
問6 あなたは、総合型地域スポーツクラブがあなたの住む市町村にあればいいと思いますか。



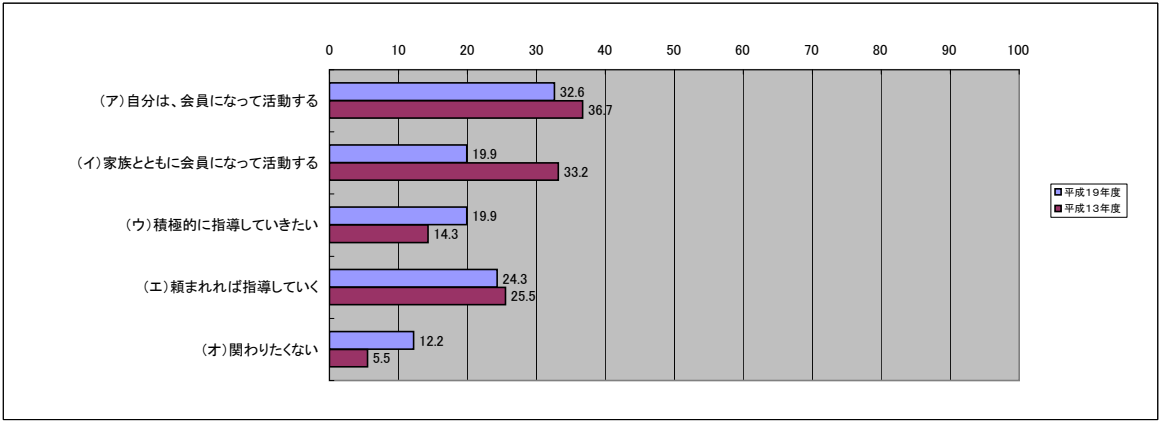
\* 問6で「必要ない」と答えた人のみSQ1に答えて下さい。  
SQ1 必要ないと思われる理由は何ですか。



問7 あなたは、総合型地域スポーツクラブの設立に関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

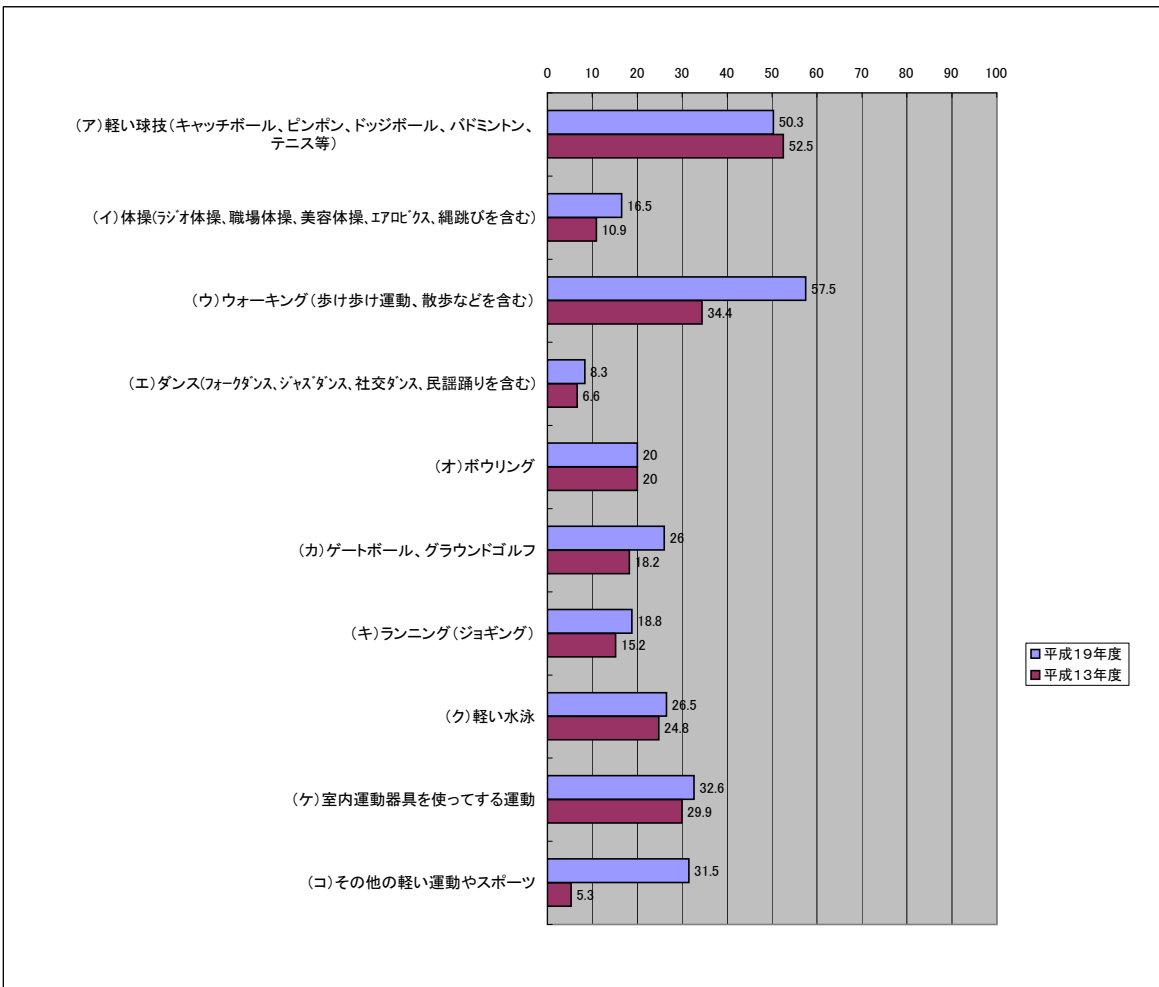


問8 総合型地域スポーツクラブが設立されたら、あなたはどのように関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

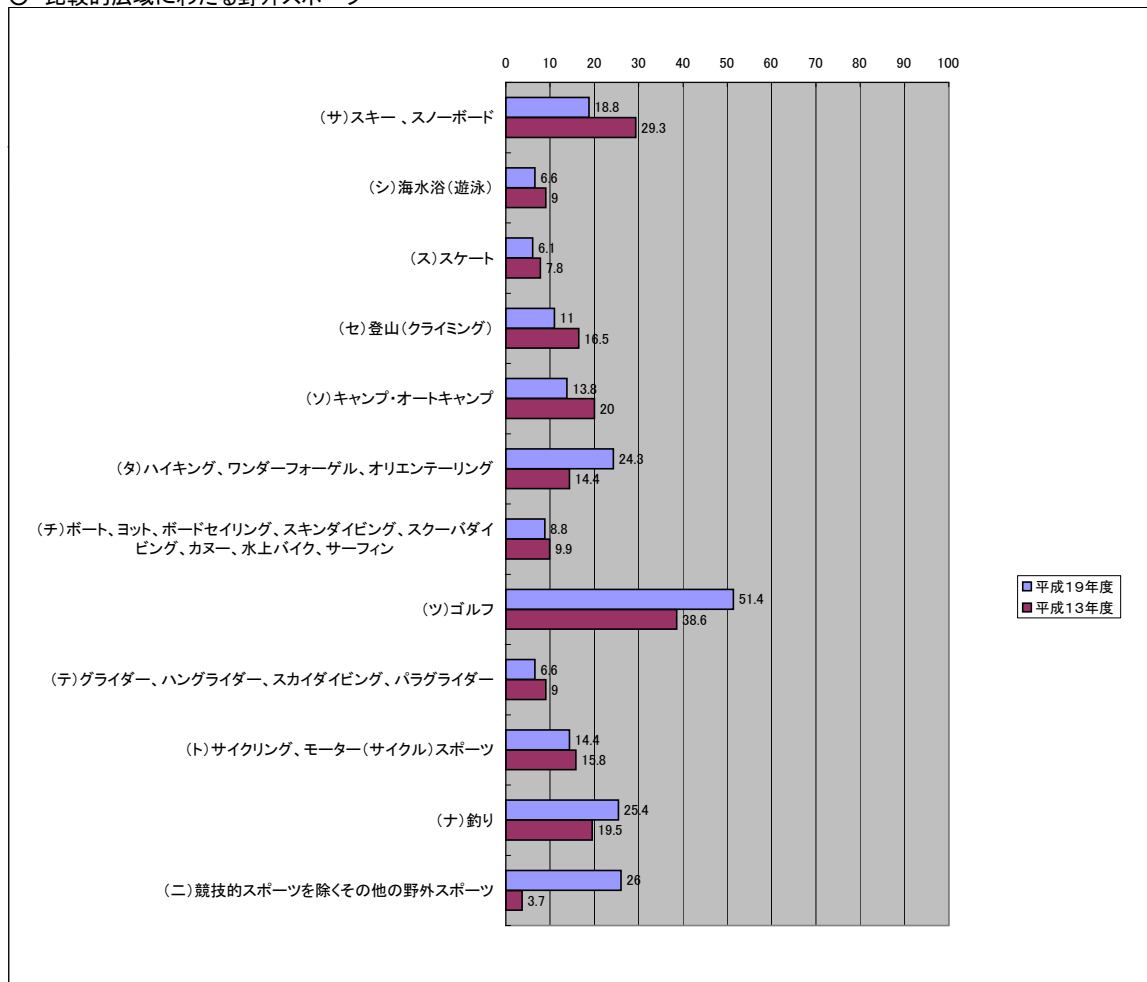


問9 あなたは、現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思う運動やスポーツがありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

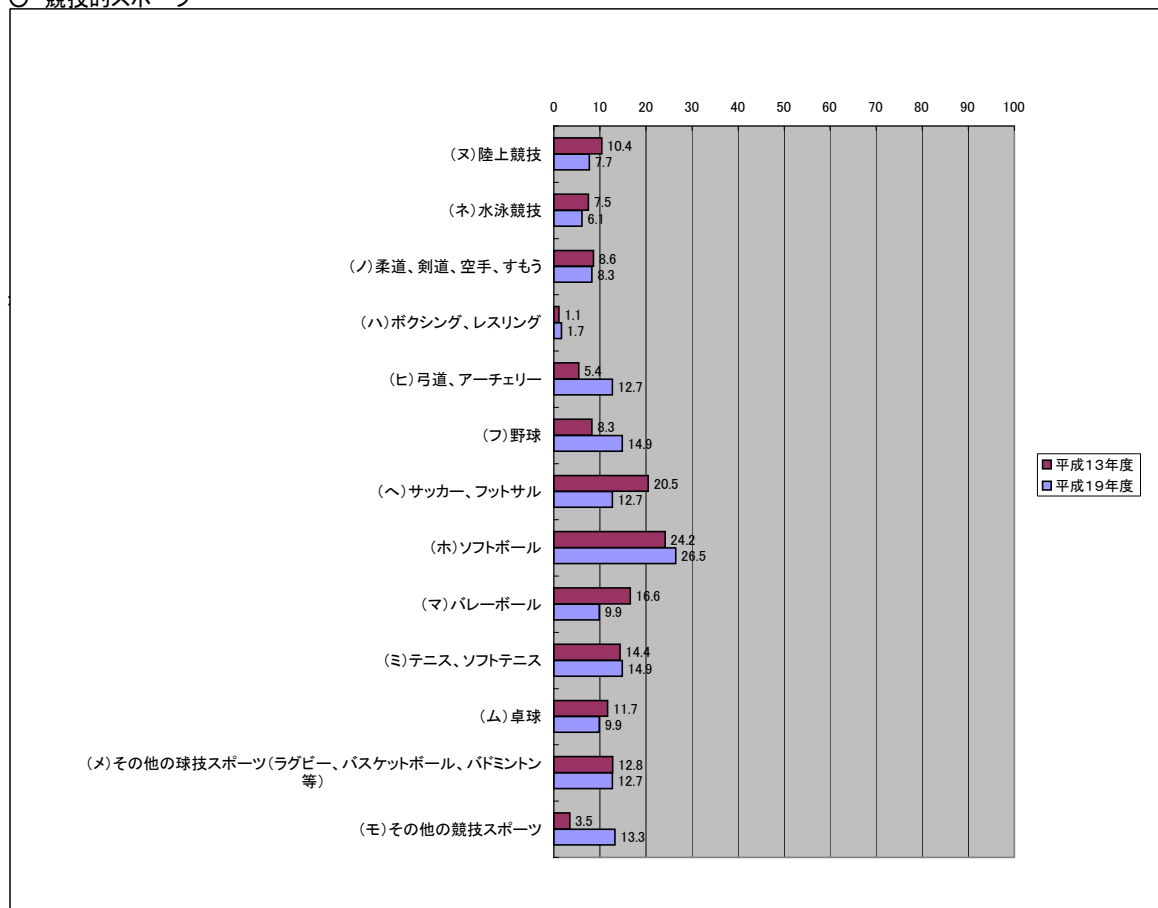
○ 比較的軽いスポーツ



○ 比較的広域にわたる野外スポーツ

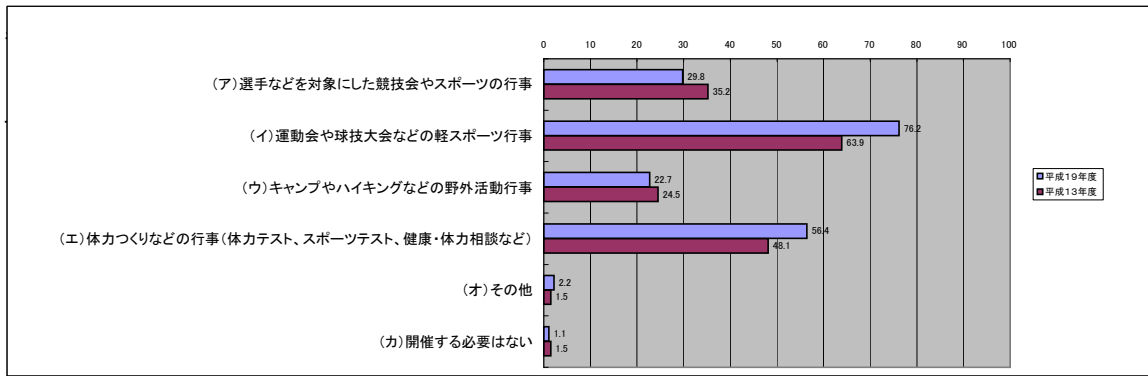


○ 競技的スポーツ

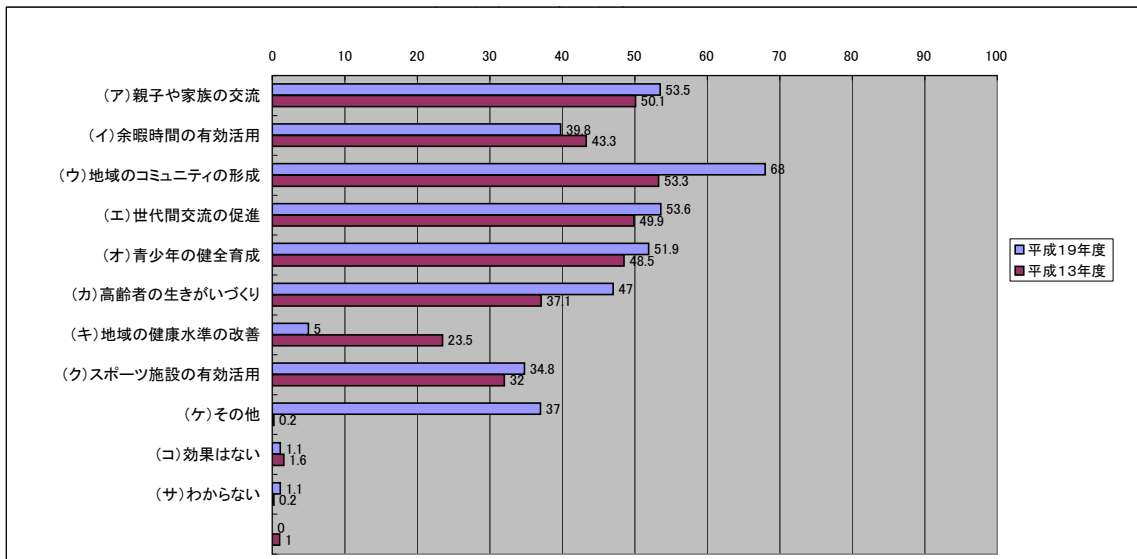




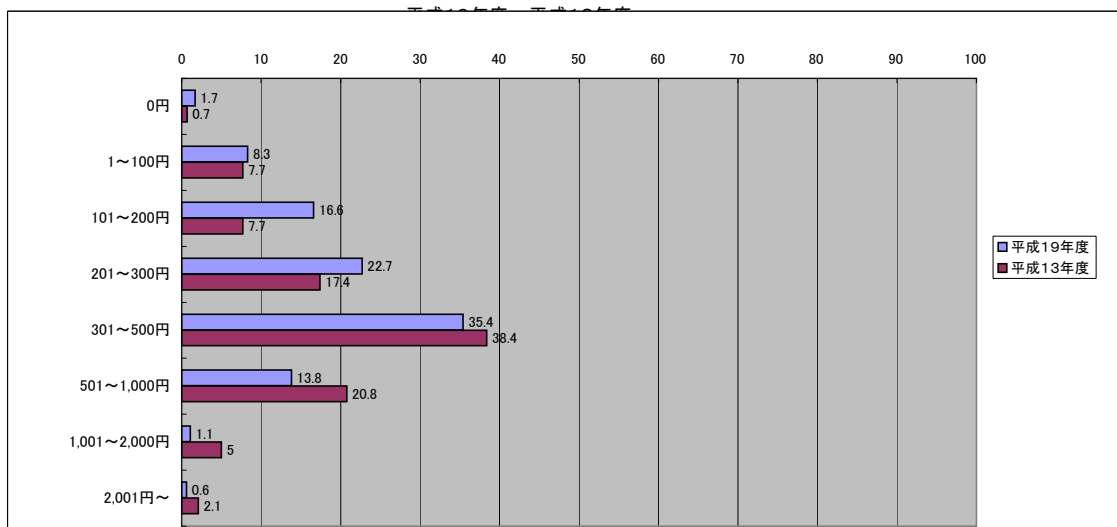
問10 あなたは、地域や地区のスポーツ行事が開催される場合、どのような行事が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものすべてを選んでください。(複数回答)



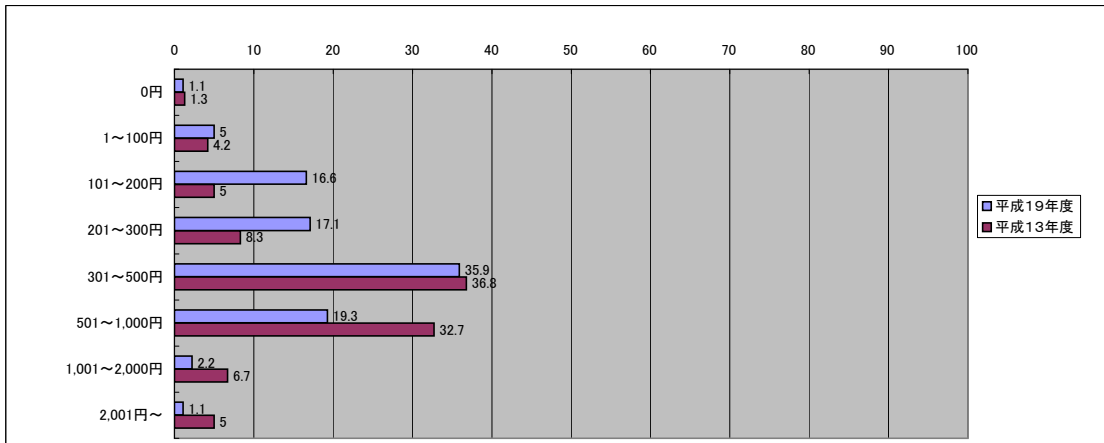
問11 あなたは、地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。次の中からあてはまるものをすべていくつでもあげてください。(複数回答)



問12 あなたが、スポーツ施設を日常利用する場合、個人として1回あたりどの程度費用を負担することが可能ですか。

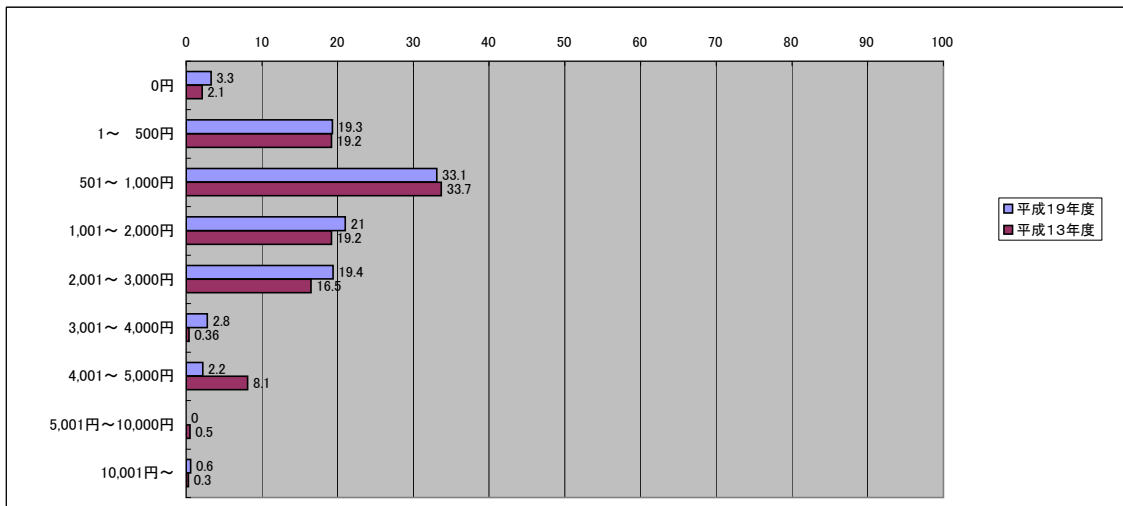


問13 あなたは、地域で行われるスポーツ教室に参加する場合、個人として1回あたり、どの程度、費用を負担することが可能ですか。

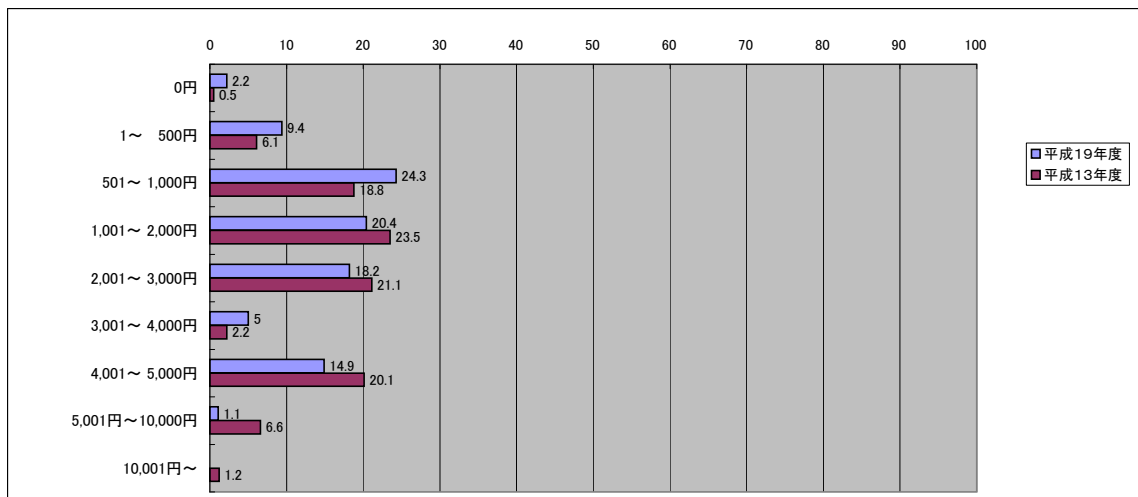


問14 あなたの地域に、総合型地域スポーツクラブがあったら、個人の月会費としてどの程度費用を負担することが可能ですか。

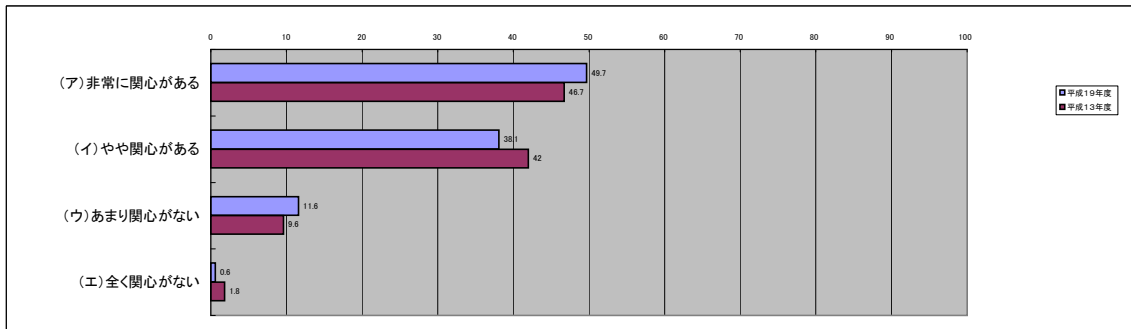
(ア) 指導者等はいない場合



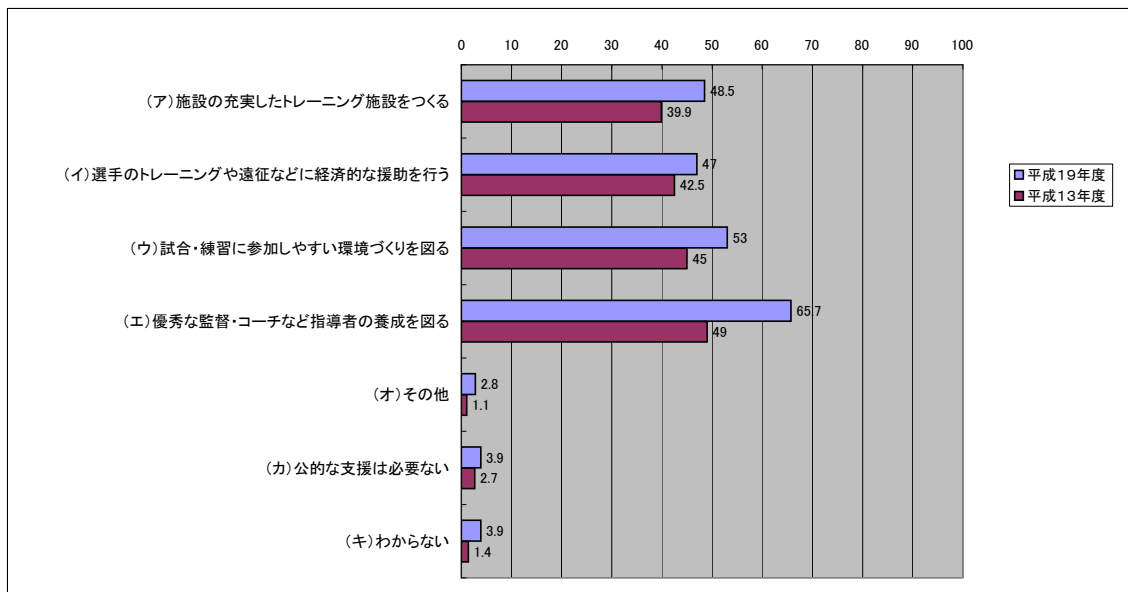
(イ) 指導者がいて指導が受けられる場合



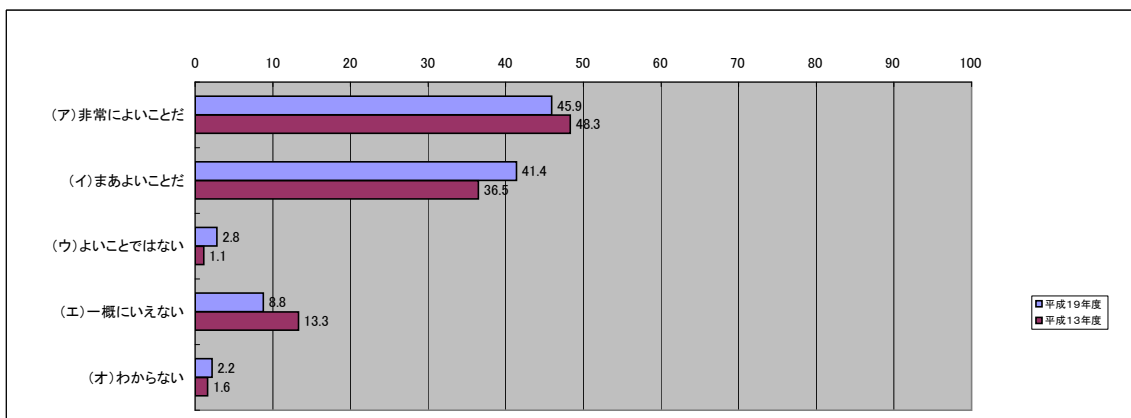
問15 あなたは、スポーツの国際大会や全国大会での、山梨県選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



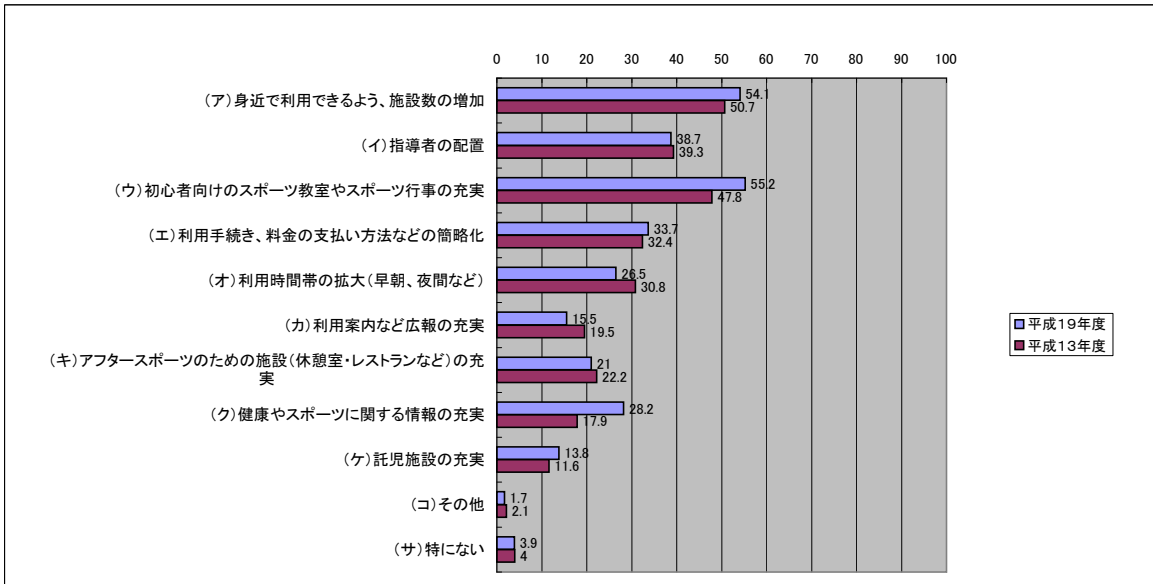
問16 あなたは、山梨県選手が国際大会や全国大会などで活躍するためには、どのような公的支援が必要だと思いますか。(複数回答)



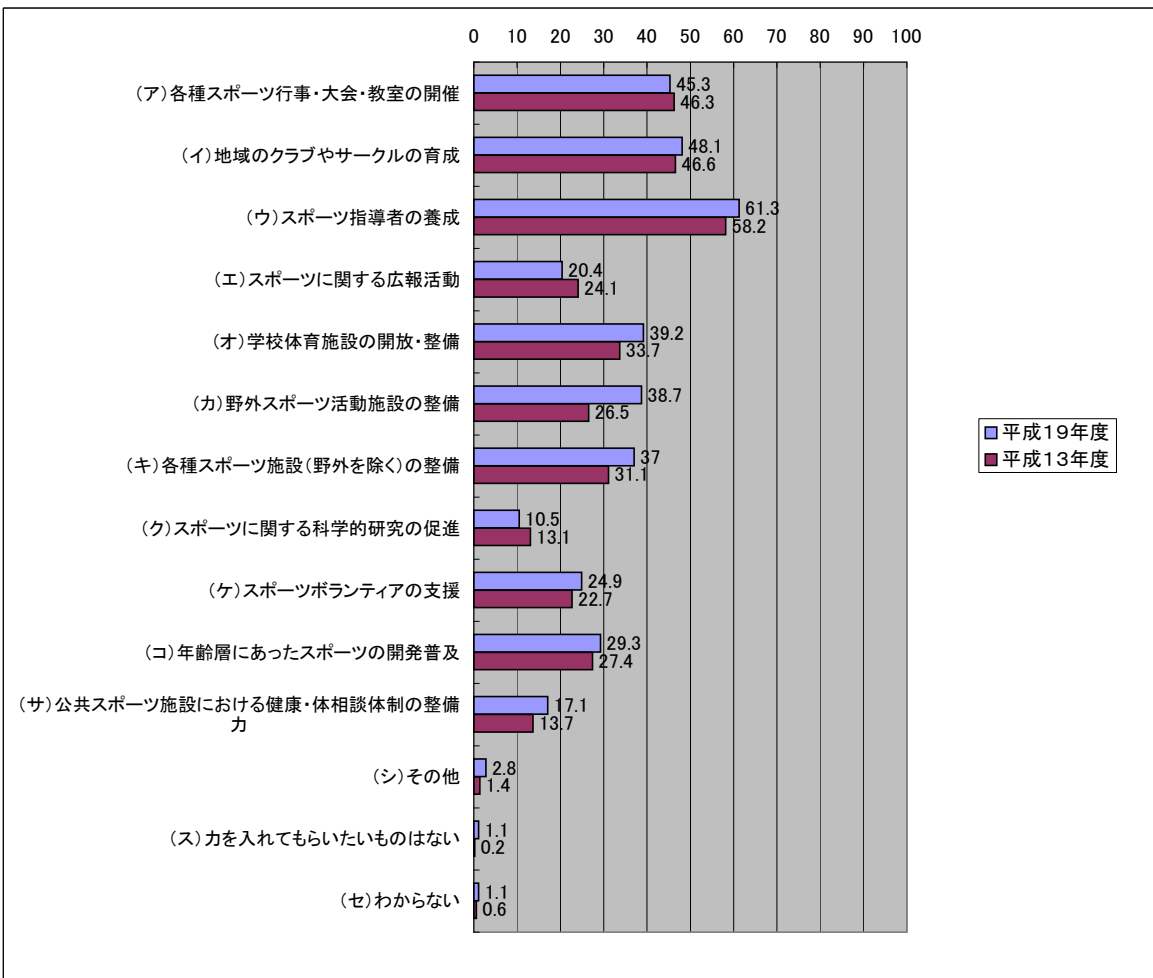
問17 あなたは、山梨県が公的支援をして、スポーツの国際大会や全国大会を誘致・開催することについてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。



問18 あなたは、体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。次の中からあてはまるものをすべてあげてください。(複数回答)

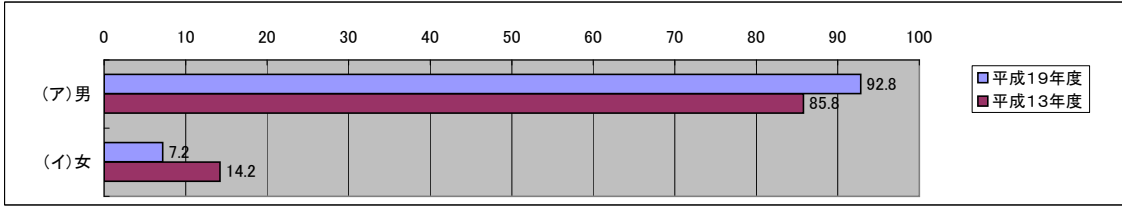


問19 山梨県のスポーツをもっと振興させるためには、県や市町村は今後どのようなことに力をいれるべきですか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答)

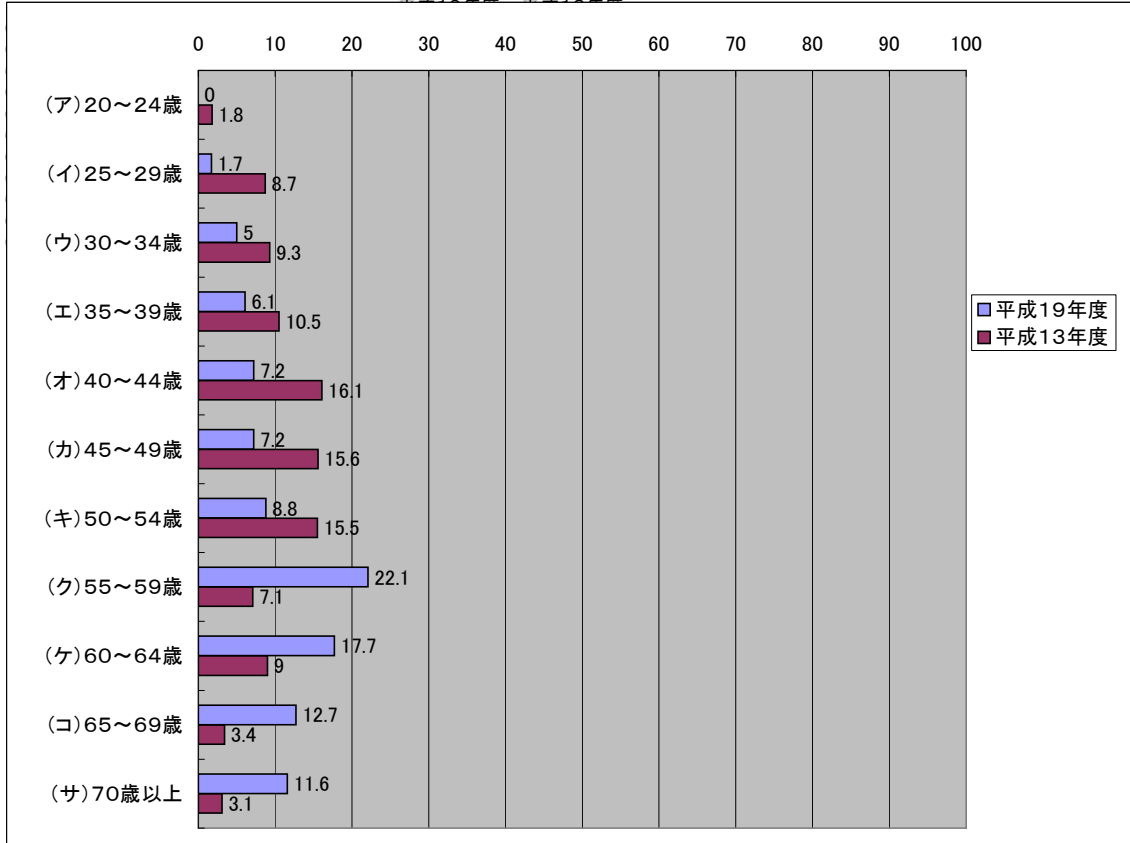


これからの質問は、調査結果を集計して分析するために必要ですので、全員お方が続けてお答えください。

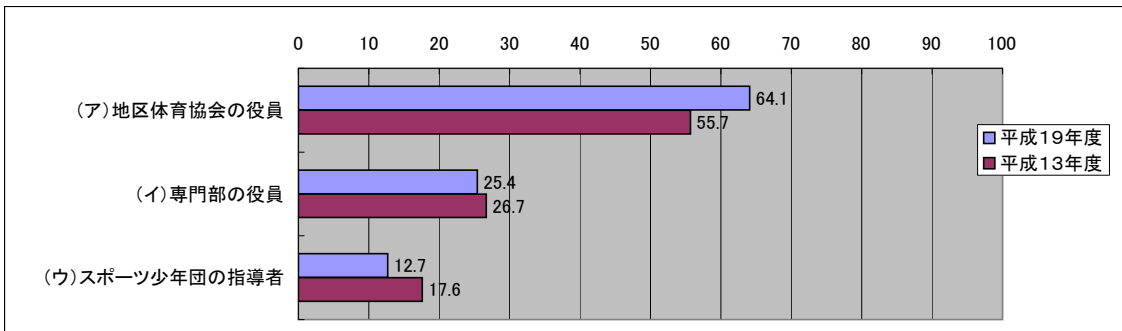
1 あなたの性別は



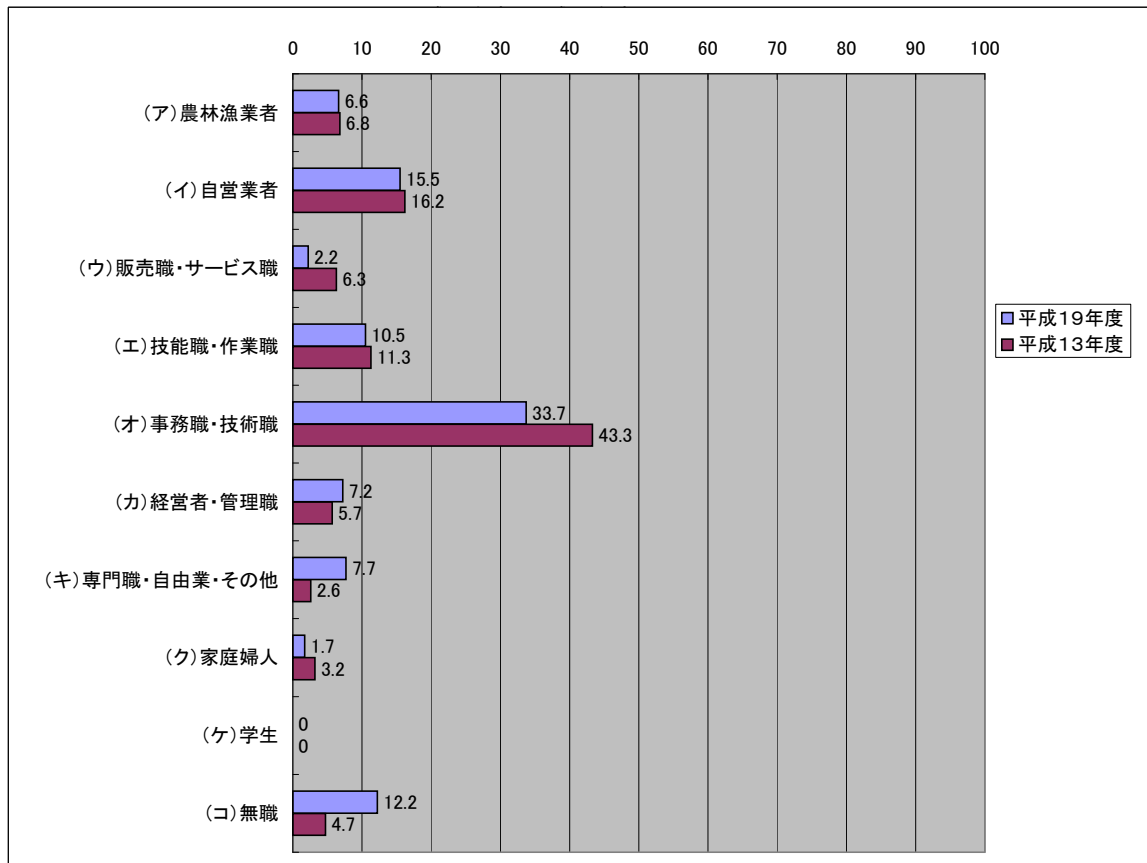
2 あなたの年齢は



3 あなたの体育協会における立場をお聞かせください。



4 あなたは職業(パートを含む)をお持ちですか。次のように分けると、どれにあたりますか。該当するもの1つを選んでください。

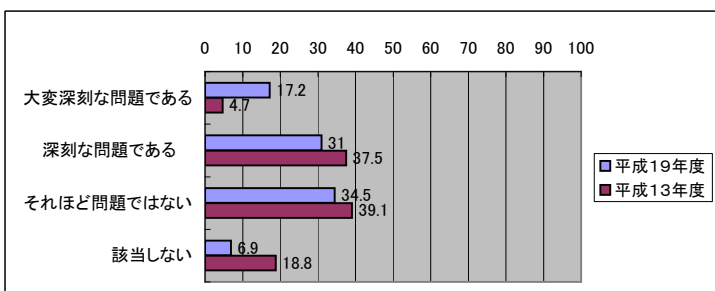


# 県民のスポーツに関する意識・活動調査(市町村教育委員会)

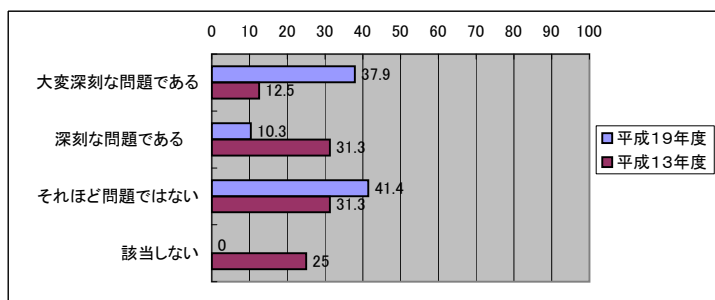
～ スポーツ行政・スポーツ振興に関して ～

問1 現在、あなたの市町村で、スポーツ振興を図る上での課題と思われることがありますか。次の事項について、該当する項目に○をつけてください。なお、該当しない項目については、○をつける必要はありません。

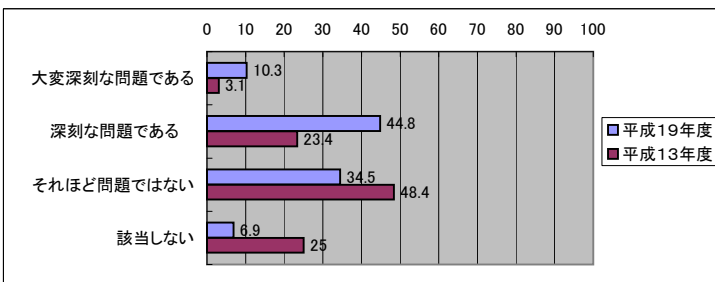
(1) 市町村内全体でスポーツを行う人口が減少していること



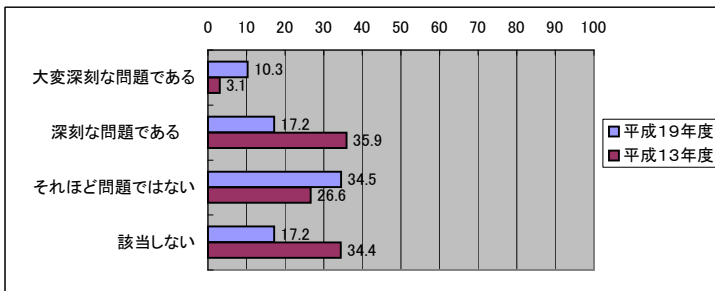
(2) 小中学生でスポーツを行う人が減少していること



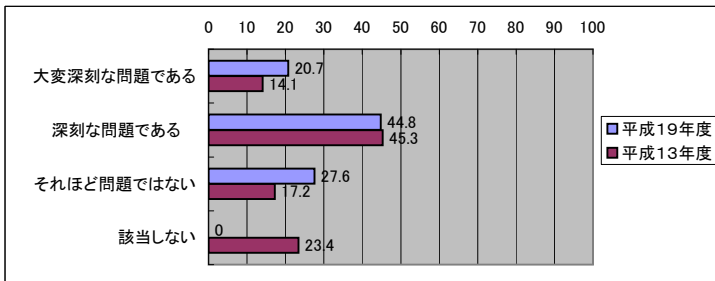
(3) 高齢者でスポーツを行う人が増えないこと



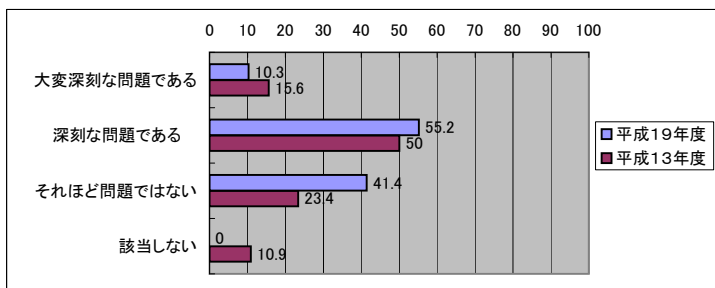
(4) 学校部活動が低迷していること



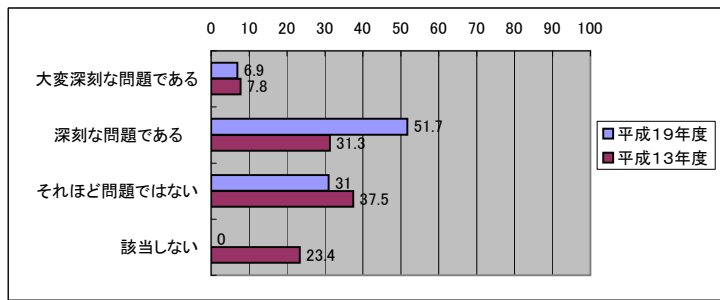
(5) 学校部活動の指導者が少ないこと



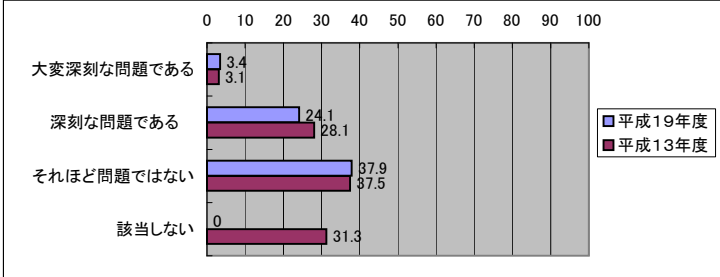
(6) 地域における指導者が少ないこと



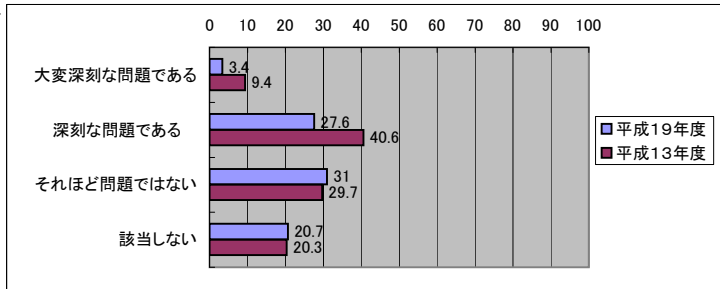
(7) トップレベルを指導できる指導者が少ないこと



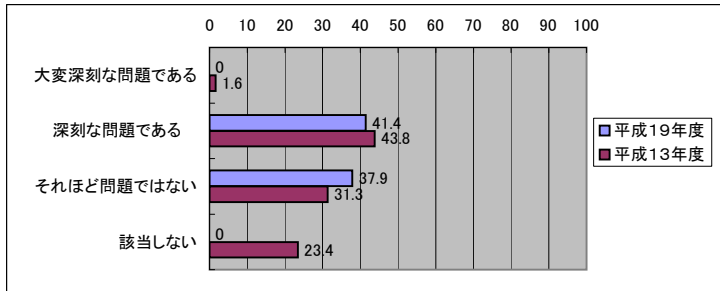
(8) 指導者が活動する機会がないこと



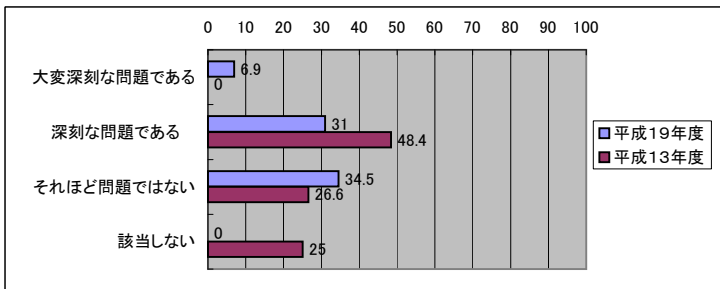
(9) 住民が日常的に利用できる施設が町村内に少ないこと



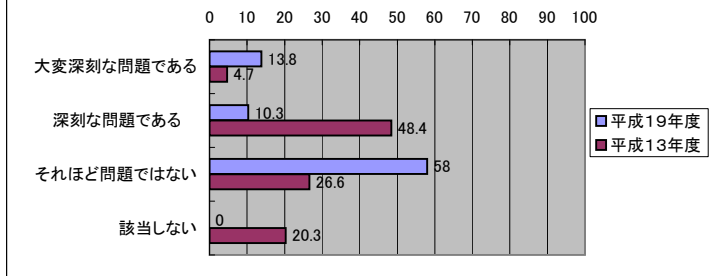
(10) 高齢者や障害者が使いやすい施設が少ないこと



(11) スポーツ医科学の情報や機能が不足していること



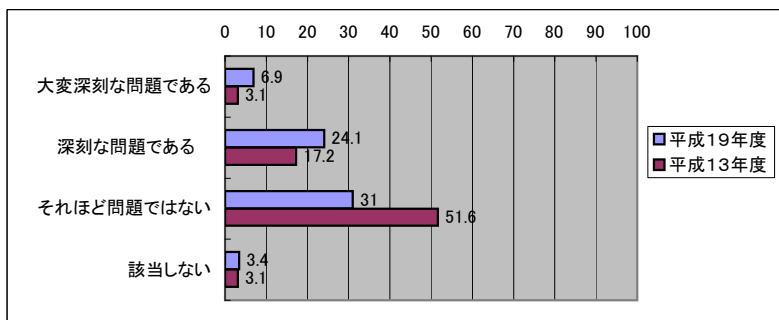
(12) スポーツに関わる予算が少ないこと



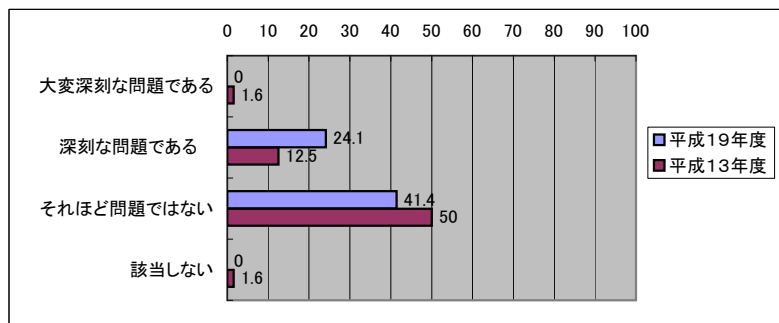


問2 現在、あなたの市町村の社会体育施設の管理・運営に関して、問題や課題となっていることがありますか。  
 次の事項について、該当する項目に○をつけてください。  
 なお、該当しない項目については、○をつける必要はありません。

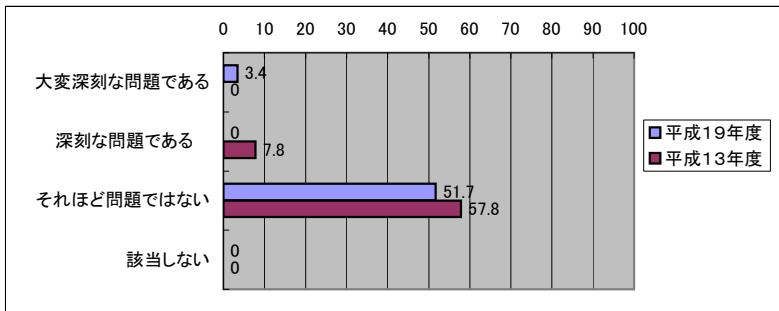
(1) 利用者・利用希望者が少ないこと



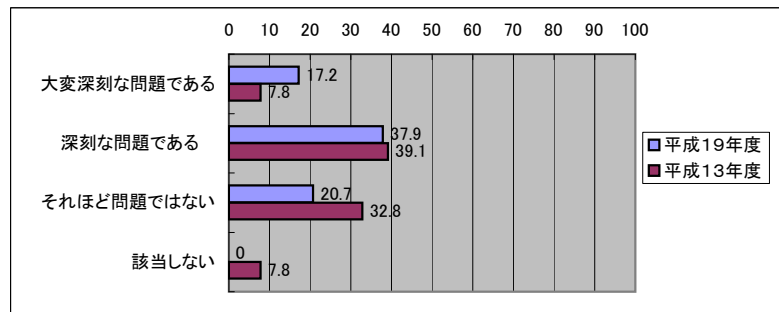
(2) 利用者・利用希望者が多すぎ、対応できないこと



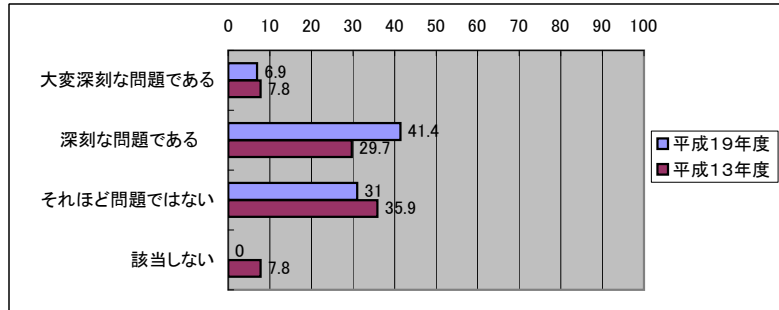
(3) 利用料金が低い(安くできない)こと



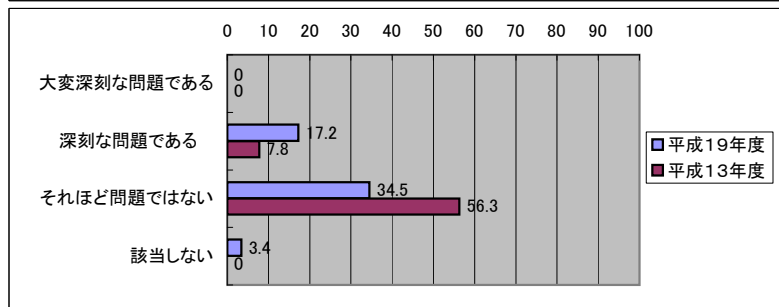
(4) 施設の保全・改修が進まないこと



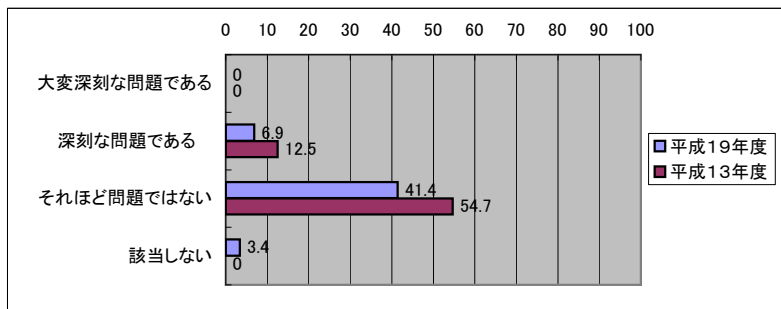
(5) 設備や用具が不足していること



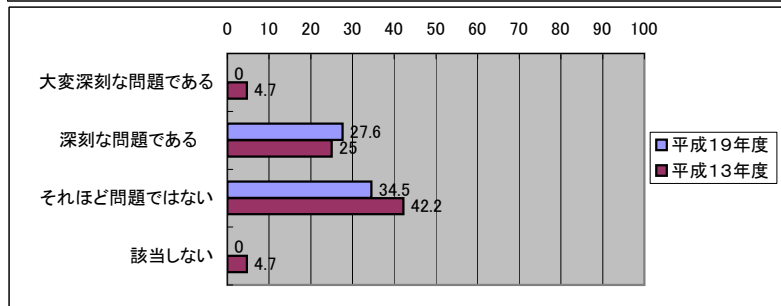
(6) 開館時間が利用ニーズに対応していないこと(開館時間の延長、早朝夜間等)



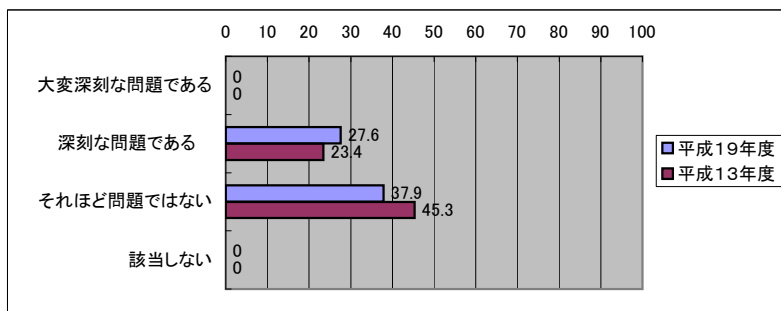
(7) 利用申請手続きが簡便でないこと



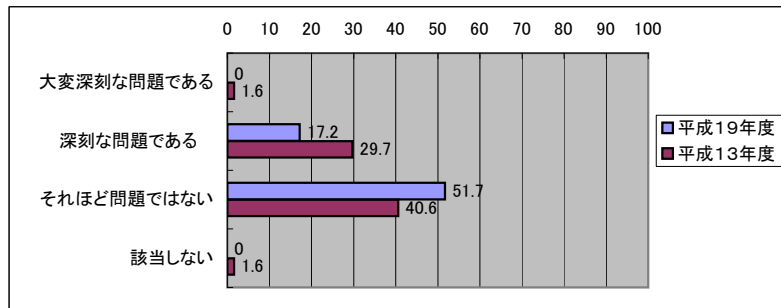
(8) 交通の便が悪いこと・駐車場が狭いこと



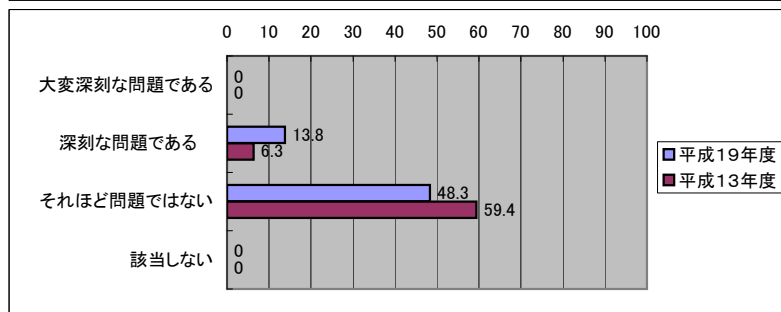
(9) 高齢者や障害者が利用しにくいこと(段差など)



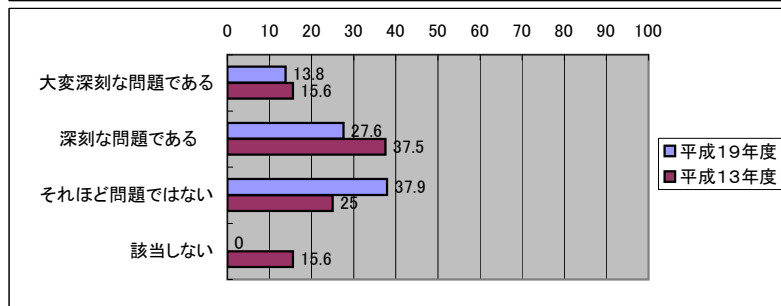
(10) シャワー・喫茶場所などのサービスが提供できないこと



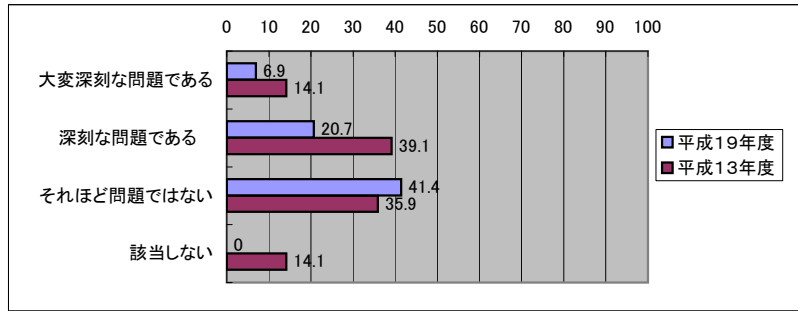
(11) 騒音や照明など周辺住民からの苦情が多いこと



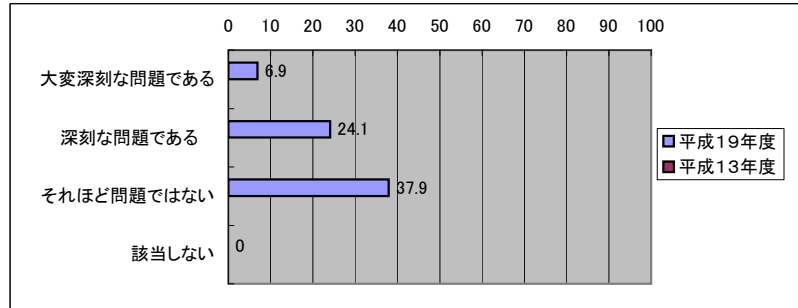
(12) 指導に携わる職員が少ないこと



(13) 事務・管理に携わる職員が少ないこと

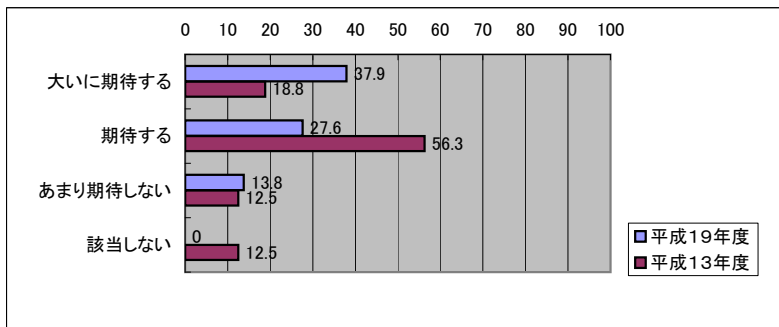


(14) 指定管理の導入に関すること

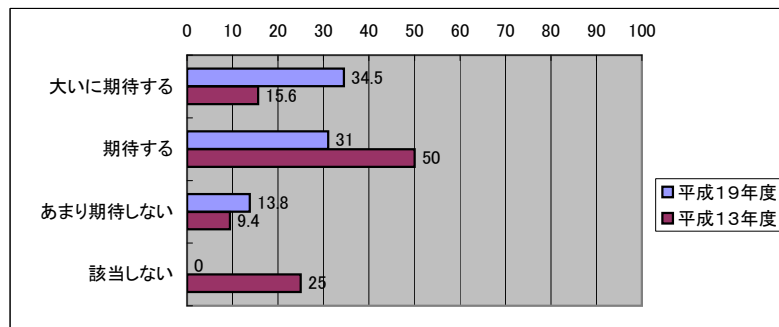


問3 本県のスポーツを一層振興するために、県に期待することは何ですか。該当する項目に○をつけてください。  
 なお、該当しない項目については、○をつける必要はありません。

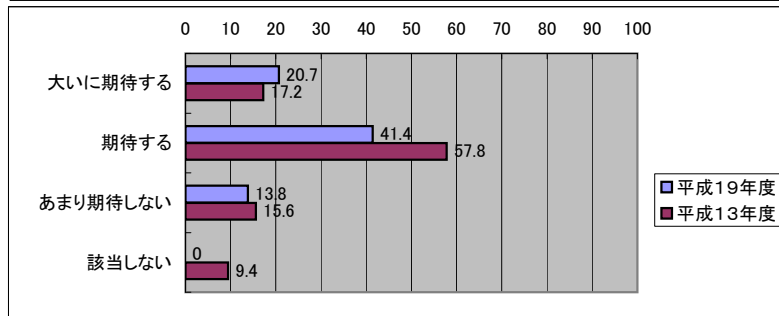
(1) 施設の整備



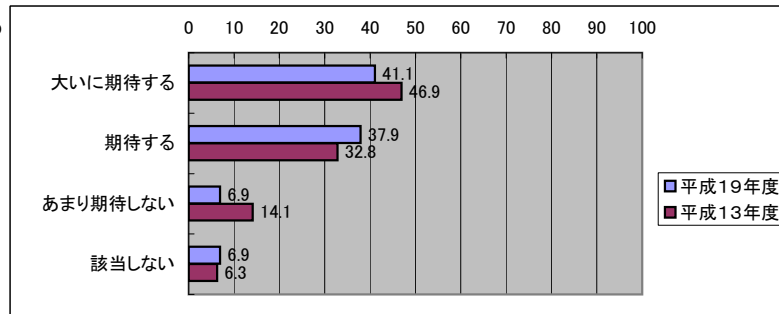
(2) 既存施設の利便性の向上(料金・開館時間など)



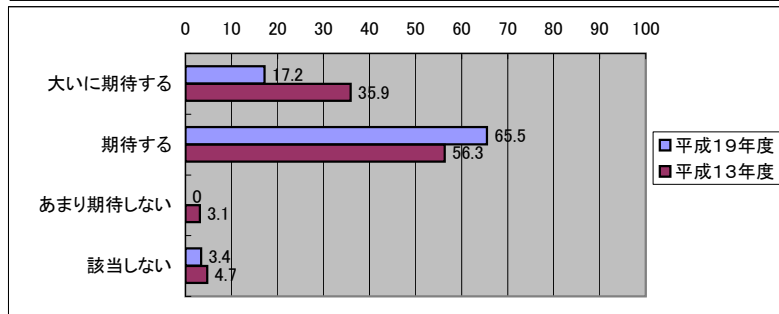
(3) 県内の全施設(公営・民営)の情報ネットワーク化



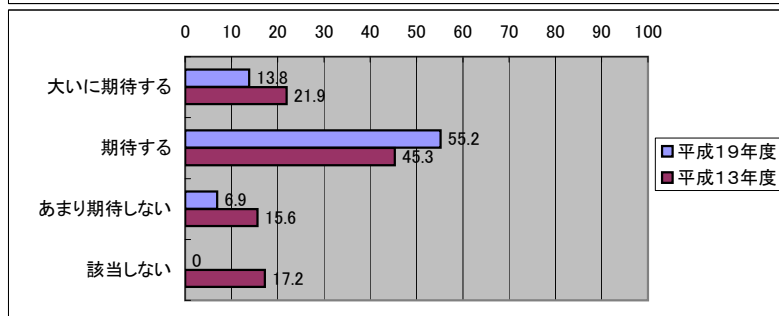
(4) 市町村やスポーツ関係団体に対する資金面での支援



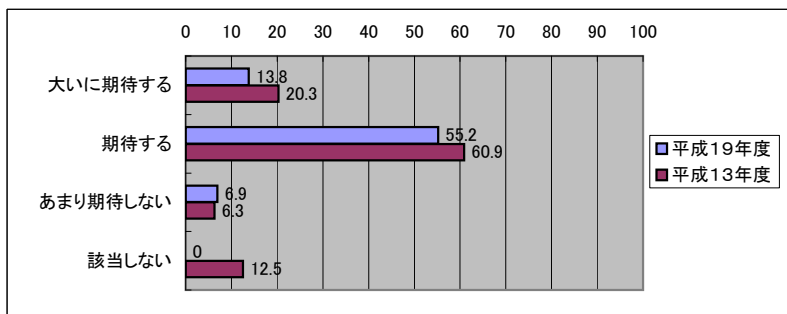
(5) 地域のニーズに即した指導者の養成・確保



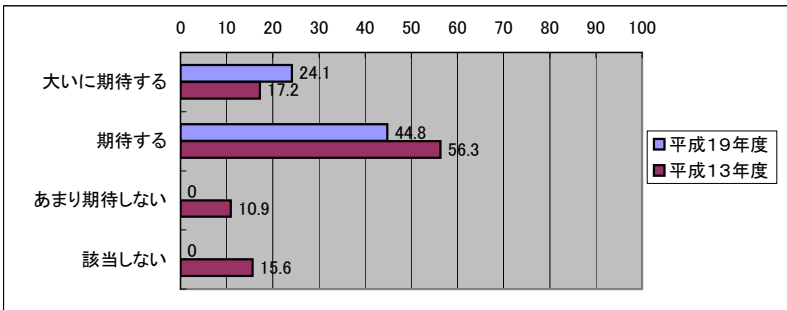
(6) トップレベルの指導者の養成・確保



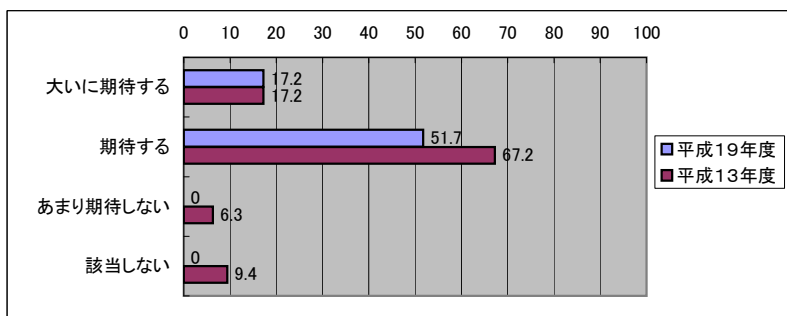
(7) スポーツに関する情報の提供



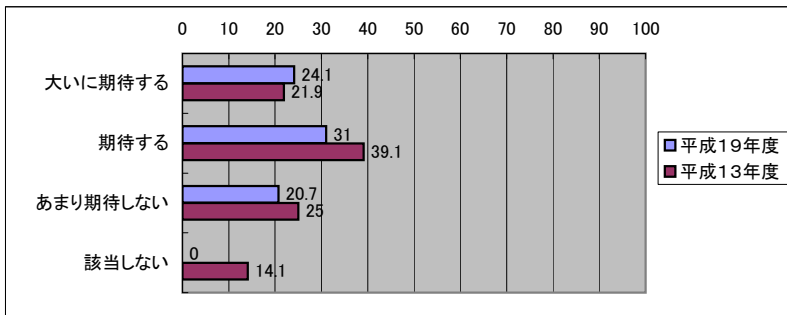
(8) スポーツ振興に関する市町村間の連携促進



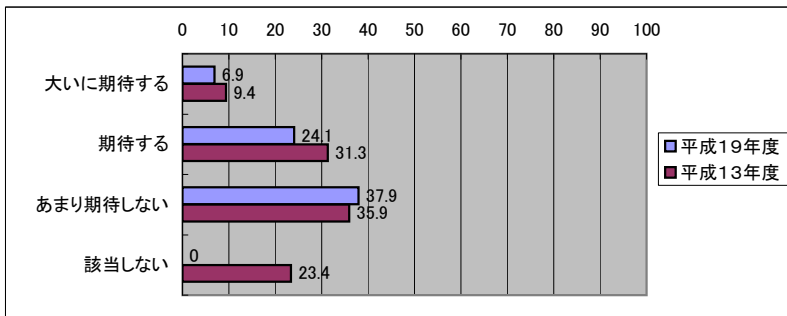
(9) 学校・地域社会・スポーツ団体の連携促進



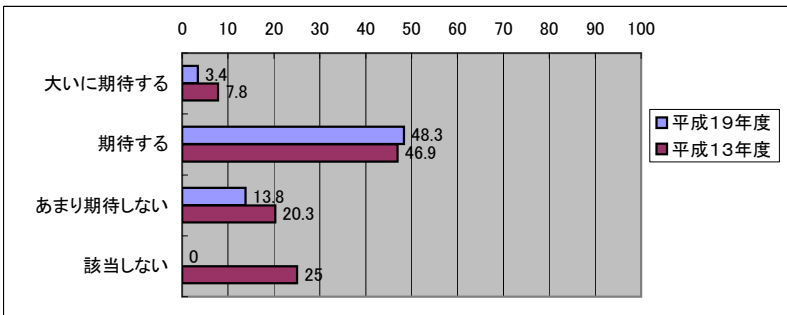
(10) 総合型地域スポーツクラブに関する普及啓発



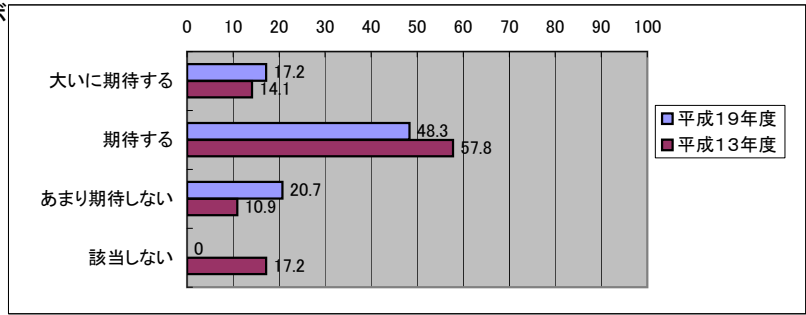
(11) 大規模スポーツ大会の誘致・開催



(12) 高齢者・障害者のスポーツ・レクリエーション大会の開催

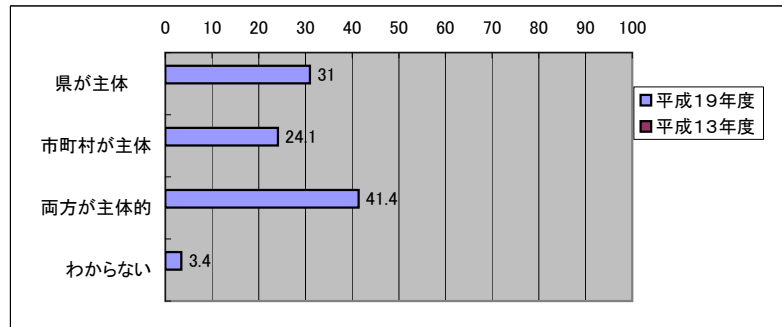


(13) 一般県民のスポーツ活動に対するボランティアの手配

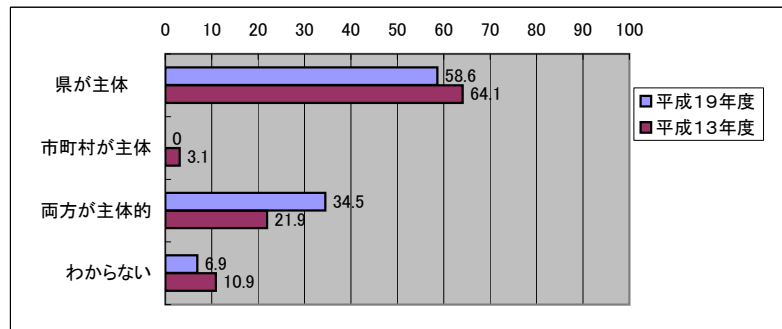


問4 次のスポーツ施策は、県と市町村どちらが主体となって行うべきだと考えますか。該当する項目に○をつけてください。

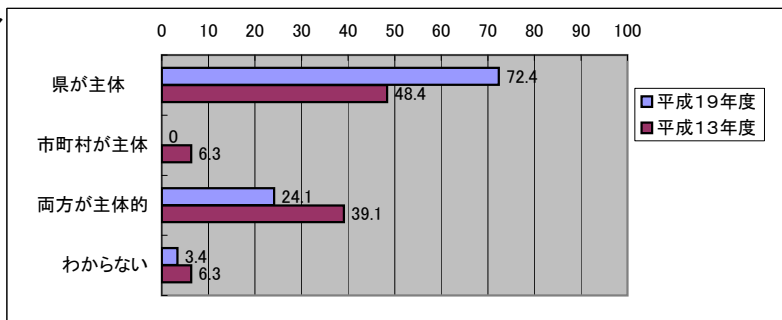
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成



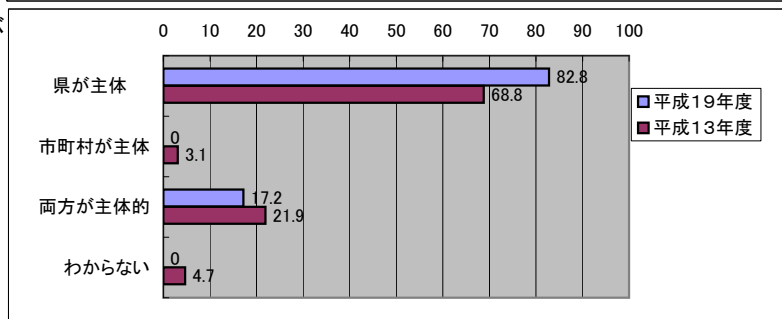
(2) 総合型地域スポーツクラブのNPO法人取得についての助言



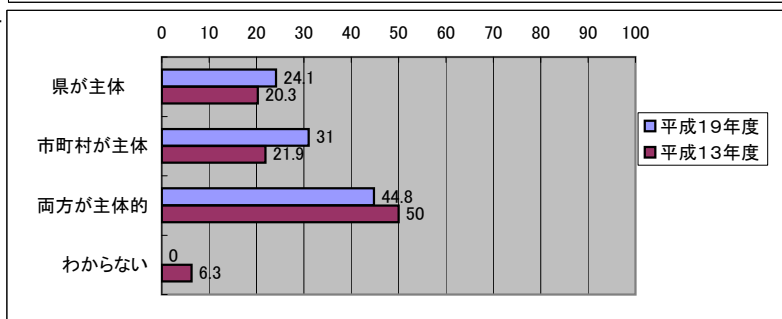
(3) 総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャーの育成



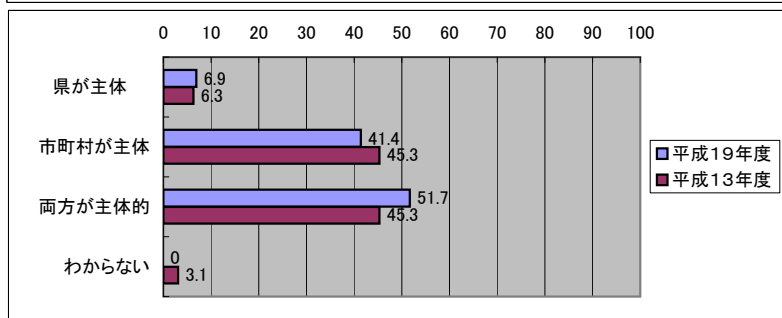
(4) 質の高いスポーツ指導者の配置及び指導者の研修の充実



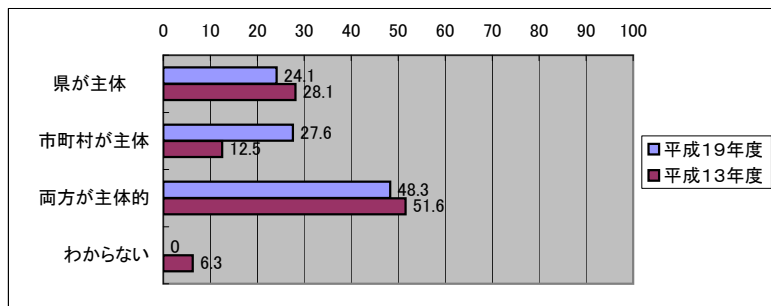
(5) 住民へのスポーツ関連情報を提供するシステムの整備



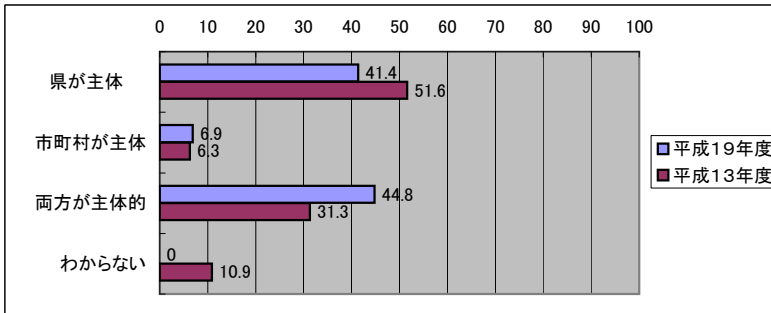
(6) 体育指導委員の資質の向上及び積極的活用



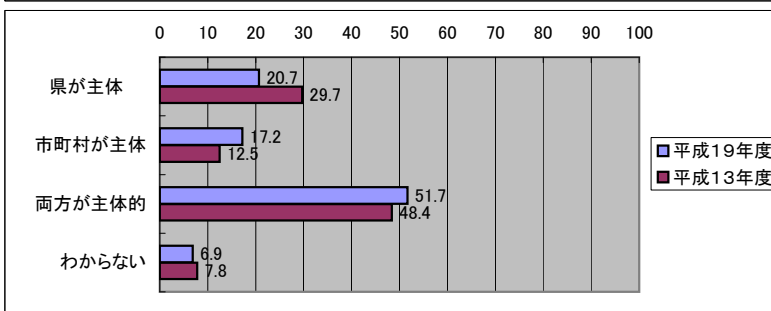
(7) 既存施設のバリアフリー化(高齢者・障害者向け)



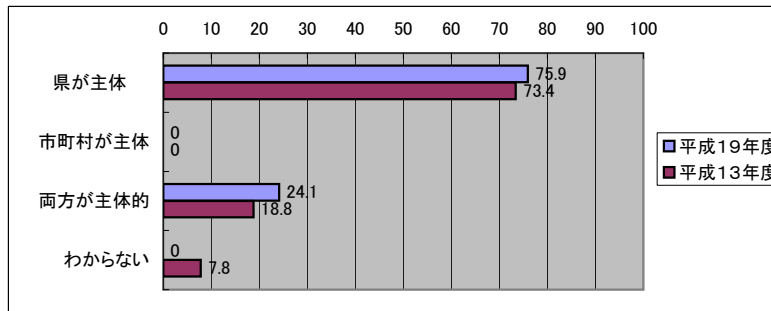
(8) スポーツ大会の誘致・開催



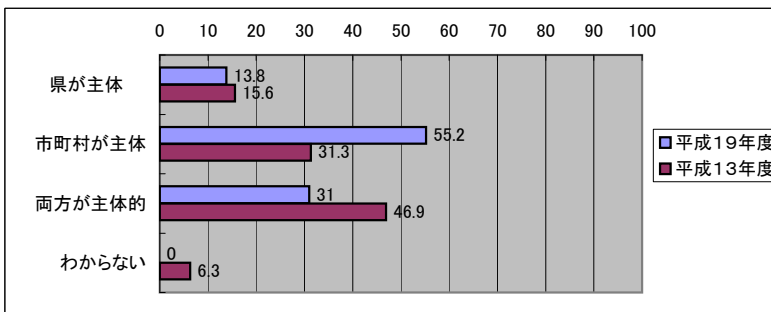
(9) 競技団体・レクリエーション団体の育成・支援



(10) トップレベルの競技者の育成



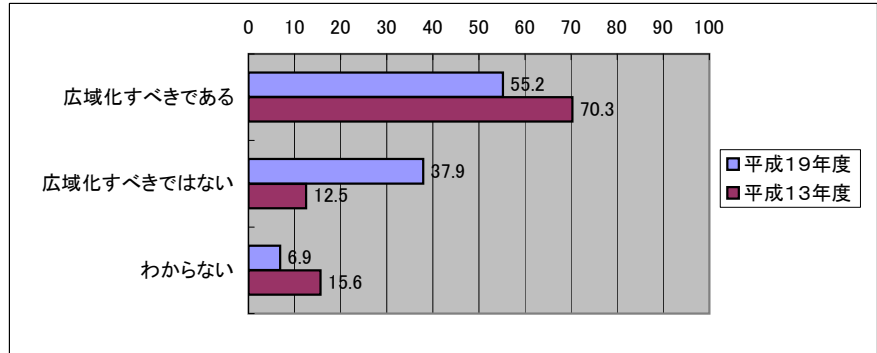
(11) 地域との共同利用に向けて、既存の学校体育施設の整備



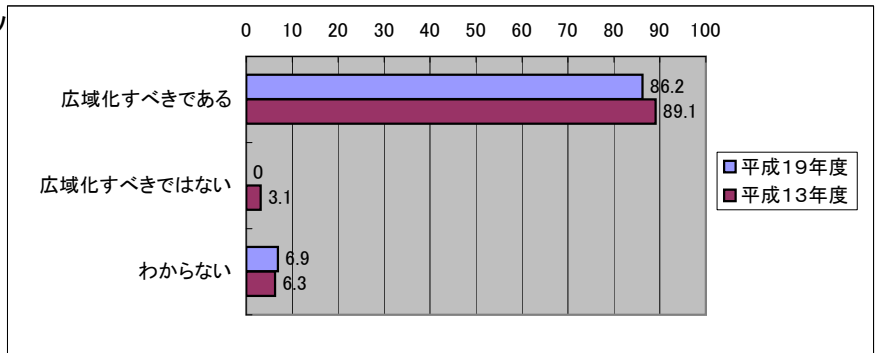


問5 住民の生活行動の広域化や行財政の効率化等への対応として、既存の行政区分を越えた行政の広域化を求める声がありますが、次の項目について、山梨県で郡市町村の枠を越えた広域化を進めるべきだと思いますか。該当する項目に○をつけてください。

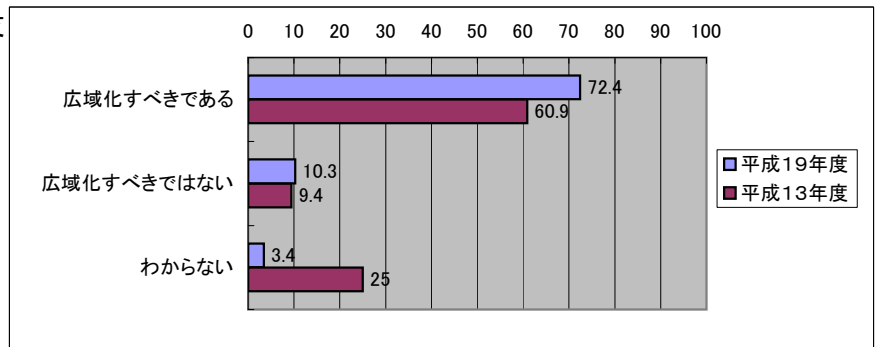
(1) 市町村の公共施設の利用システム



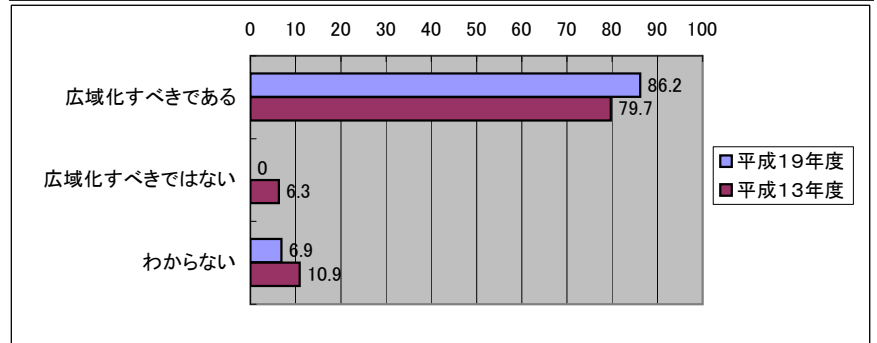
(2) イベントや施設利用に関するスポーツ情報の提供



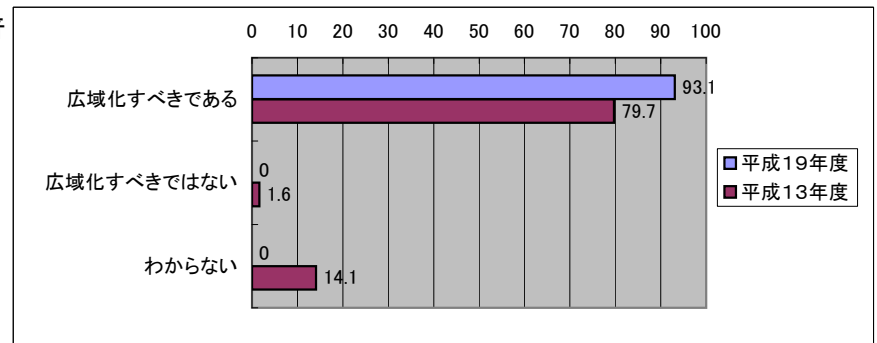
(3) 競技団体やレクリエーション団体の支援・育成



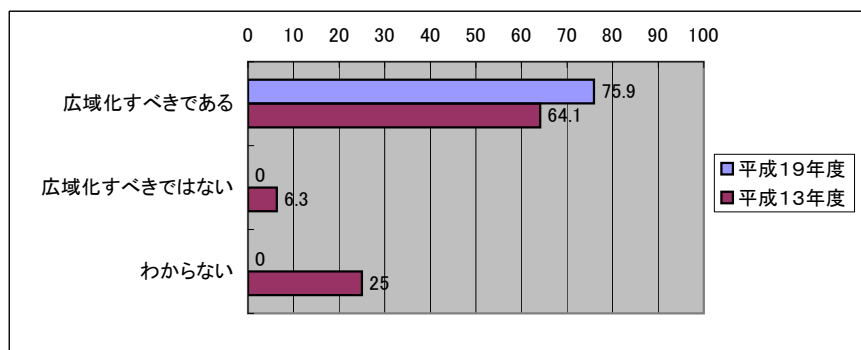
(4) 選手強化・競技力の向上



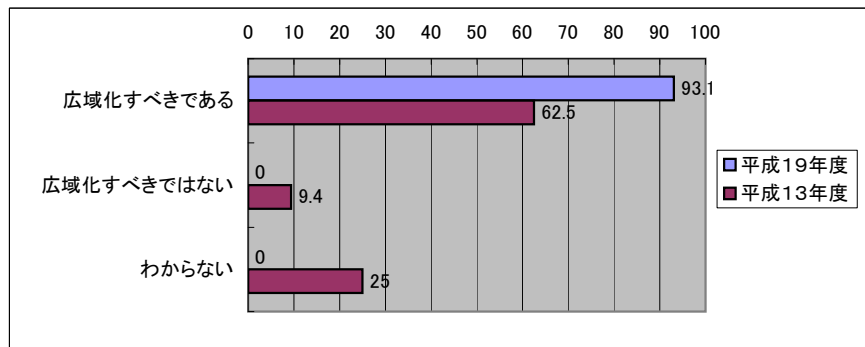
(5) スポーツ人口の拡大や競技種目の普及活動



(6) 競技会や大会の開催・運営

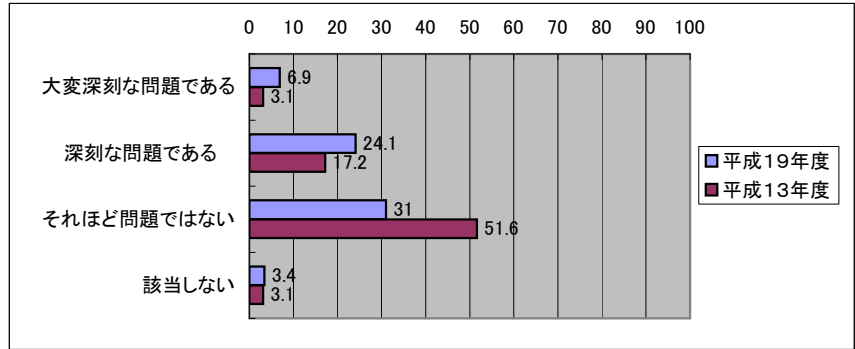


(7) 指導者や審判の養成・派遣

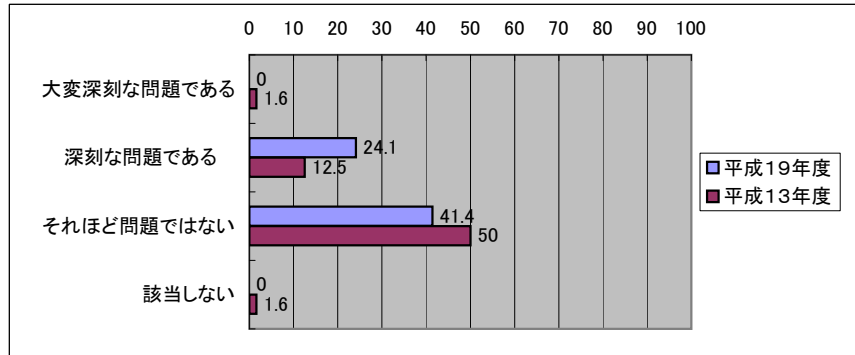


問6 県及び市町村における今後のスポーツ振興のあるべき方向性について、どのようにお考えですか。該当する項目に○をつけてください。

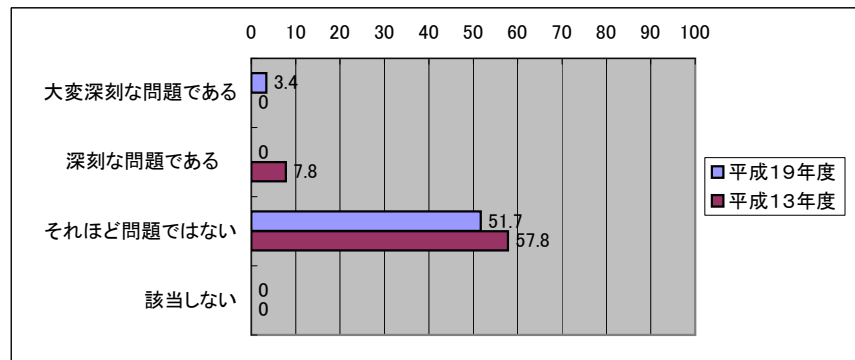
(1) スポーツの振興における県と市町村の役割を明確に分けるべきである



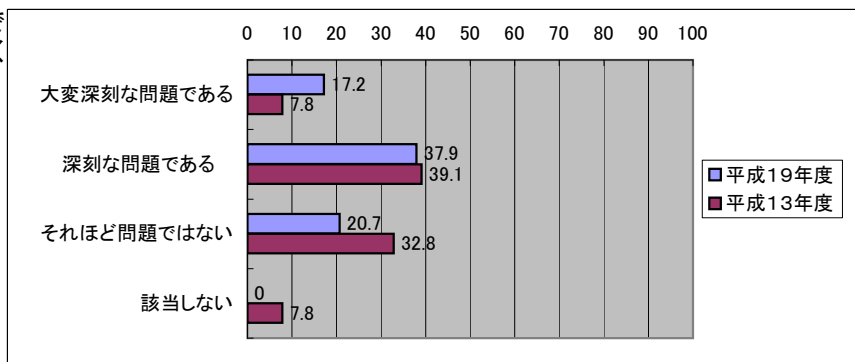
(2) 今後策定するスポーツ振興計画には、数値目標を明示し、その達成度を検証すべきである



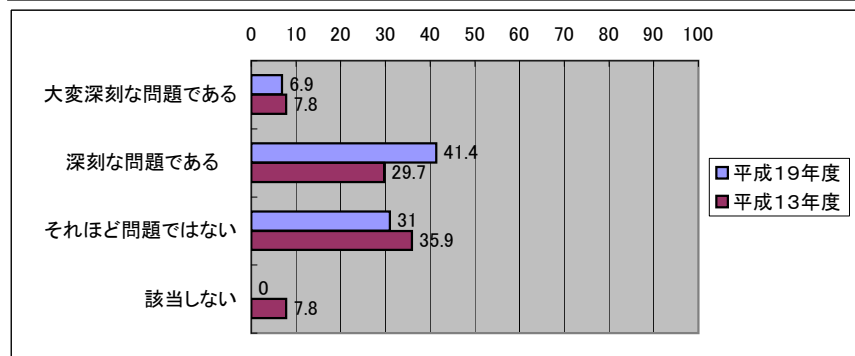
(3) スポーツ振興に関しては、教育委員会だけではなく、全庁的な取り組みとして位置づけるべきである



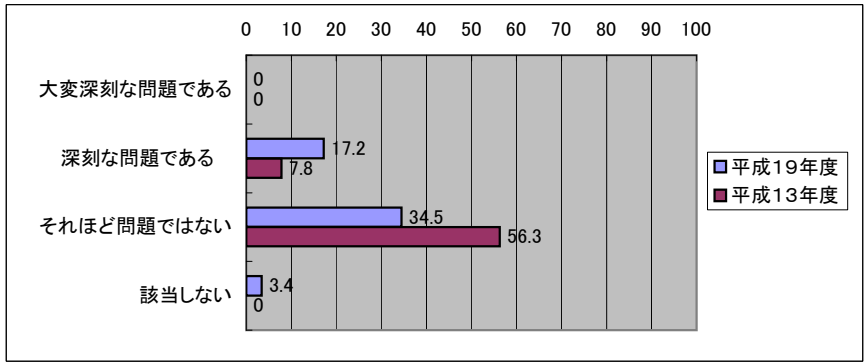
(4) スポーツ振興に関しては、行政だけでなく、民間団体・企業、民間施設とうまく連携して行くべきである



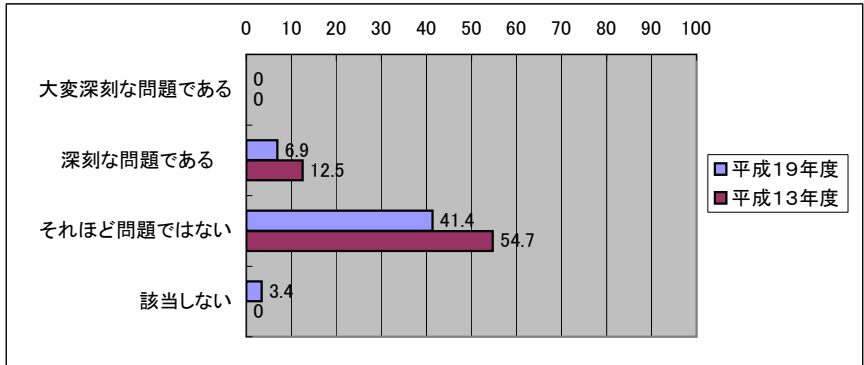
(5) 公共施設の運営など、民間でも担えるスポーツ行政は積極的に委託するべきである



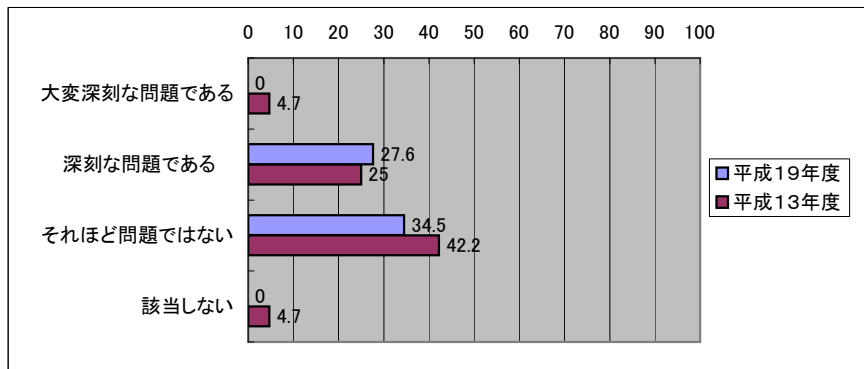
(6) 財源に限られる時代なので、施設整備(ハード)よりもソフト面の整備を重視すべきである



(7) 総合型地域スポーツクラブは、国の到達目標どおり平成22年度までに県内全市町村に少なくとも1つは育成すべきである

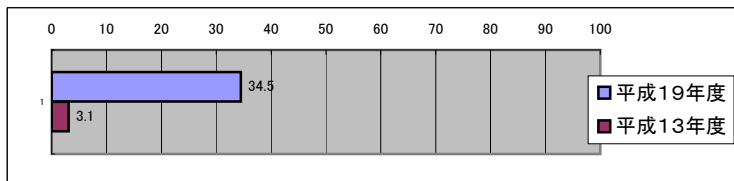


(8) 本県では、広域スポーツセンターは、複数を設置すべきである

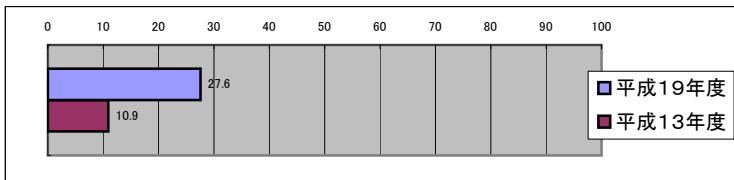


問7 国は、スポーツ振興基本計画(平成12年9月策定)において、平成22年までに全国の各市町村において少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成することを目標としています。あなたの市町村では、最初の総合型地域スポーツクラブの設立目標年度は、いつを予定していますか。

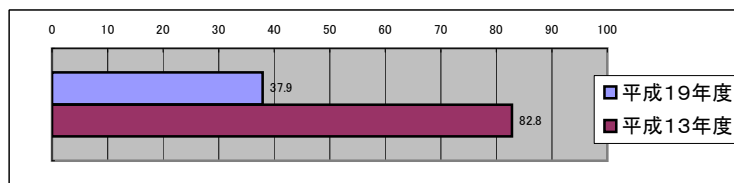
1 すでに設立している



2 目標年度は、平成( )年度としている

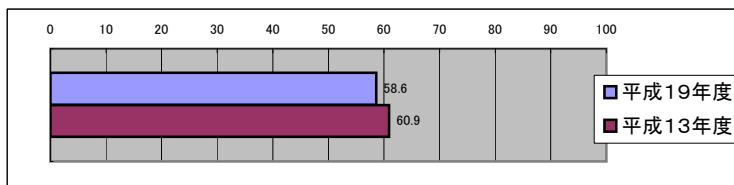


3 具体的な目標年度(予定)はない

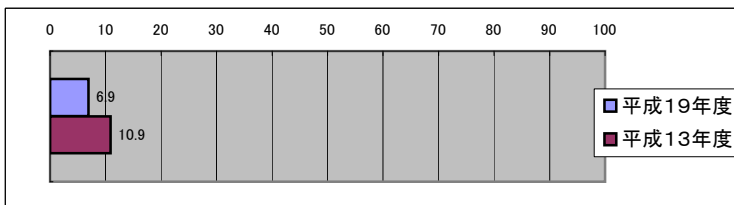


問8 国は、スポーツ振興基本計画(平成18年9月改定)において、成人の週1回以上のスポーツ実施率を、50パーセント(2人に1人)となることを目指しています。あなたの市町村では、今後、成人の週1回以上のスポーツ実施率の目標はどの程度が望ましいとお考えですか。

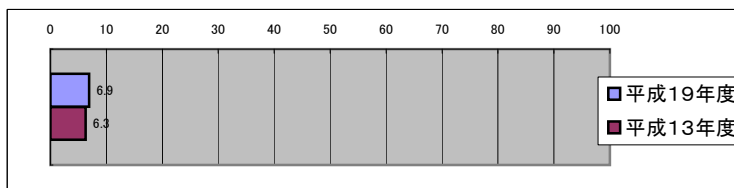
1 50パーセント以上



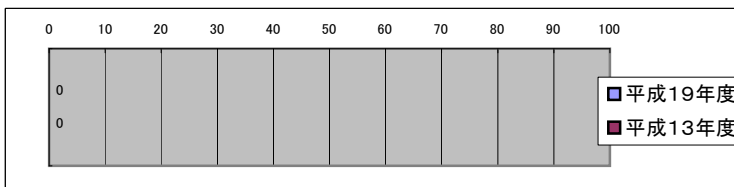
2 60パーセント以上



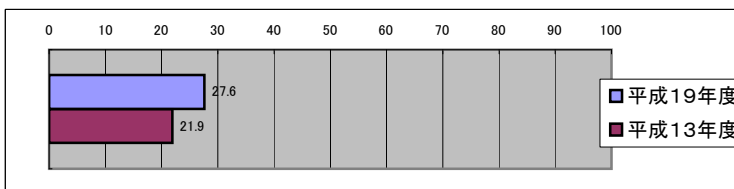
3 70パーセント以上



4 その他



5 わからない



\* その他、スポーツ振興に関する県への要望、県が今後策定するスポーツ振興計画に盛り込むべき方針や内容及びあなたの市町村で現在抱える課題・問題等がありましたら、自由に記述してください。

- ・総合型スポーツクラブの今後について、経営等厳しい状況にあるため、支援等に苦慮している。
- ・社会体育施設の指定管理導入に関して検討しているところであるが、遅々として進まない状況である。
- ・スポーツ施設の老朽化に伴い維持管理、施設不足、財政厳しい中での利用者のニーズにこたえられない。

県民のスポーツに関する意識調査



**山梨県教育庁スポーツ健康課**

〒400-8504 山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL 055-223-1780 FAX 055-223-1786

E-mail [sports@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:sports@pref.yamanashi.lg.jp)